

Microsoft Dynamics CRM Online 入門 自習書

～ カスタマイズ編 ～



※ 本書はクラウド型 Dynamics CRM Online に基づいておりますが、設置型の Dynamics CRM 2013 についてもほぼすべての内容が適用できます。
一部、以下の内容につきましては、クラウド型 Dynamics CRM Online にのみ適用される記述となっております。

- 演習 2. 機能 1. エンティティの追加
 - 設置型 Dynamics CRM 2013 には、作成できるカスタムエンティティの数の制限はございません。
- 演習 3. ワークフロー
 - 設置型 Dynamics CRM 2013 には、作成できるカスタムワークフローの数の制限はございません。

※ 本書は 2013 年 10 月執筆時点での Dynamics CRM Online 製品リリース版に基づいており、機能強化などにより、実際のご利用バージョンでは内容が異なる場合がありますのでご注意ください。

著作権

このドキュメントに記載されている情報（URL 等のインターネット Web サイトに関する情報を含む）は、将来予告なしに変更することがあります。別途記載されていない場合、このソフトウェアおよび関連するドキュメントで使用している会社、組織、製品、ドメイン名、電子メール アドレス、ロゴ、人物、場所、出来事などの名称は架空のものです。実在する名称とは一切関係ありません。お客様ご自身の責任において、適用されるすべての著作権関連法規に従ったご使用を願います。マイクロソフトは、このドキュメントに記載されている内容に関し、特許、特許申請、商標、著作権、またはその他の無体財産権を有する場合があります。別途マイクロソフトのライセンス契約上に明示の規定のない限り、このドキュメントはこれらの特許、商標、著作権、またはその他の無体財産権に関する権利をお客様に許諾するものではありません。

© 2013 Microsoft Corporation. All rights reserved.

Microsoft、Microsoft Dynamics、Microsoft Dynamics のロゴ、Active Directory、Internet Explorer、MSDN、Microsoft Office Outlook、Windows Live、および Windows Server は、マイクロソフト グループの商標です。

その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

目次

はじめに	1
自習書の概要	2
演習 1. 画面のカスタマイズ	5
機能 1. フォームにコンポーネントを追加	7
機能 2. 検索型フィールドの追加	18
機能 3. フォームのコンポーネント	28
機能 4. サブグリッドの追加	38
機能 5. 複数のフォーム	45
機能 6. モバイル用フォーム	52
機能 7. ビュー	57
機能 8. グラフ	68
演習 2. エンティティのカスタマイズ	77
機能 1. エンティティの追加	79
機能 2. エンティティ間の関連付け	92
機能 3. フィールドの追加	100
機能 4. フィールドの属性詳細	105
機能 5. オプションセット	111
演習 3. ワークフロー	119
機能 1. ワークフロー	121
演習 4. ダイアログ	148
機能 1. ダイアログ	150
演習 5. Web リソース	183
機能 1. Web リソース	185
演習 6. ダッシュボード	190
機能 1. ダッシュボード	192
演習 7. レポート	208
機能 1. レポート	210
演習 8. 投稿	227
機能 1. 投稿の構成	229
ユーザー間	235
機能 2. コミュニケーション	235
Tips	238
まとめ	239

はじめに

Microsoft Dynamics CRM Online（以下、Dynamics CRM）はお客様の最初のコンタクトから営業活動、購入後のアフターサービスに至るまでの顧客の全体像を把握できる統合型 CRM ソリューションです。Dynamics CRM には、営業、サービスおよびマーケティング向けのモジュールがあり、各ビジネスプロセスを強化します。

この自習書では、Dynamics CRM におけるシステム管理者またはシステムカスタマイザが行うカスタマイズ内容を、機能の観点から可能な限り網羅して説明します。Dynamics CRM Online の導入評価、または機能調査などの手助けになれば幸いです。

- ※ この自習書では、B2B モデルを想定した構成となっておりますが、B2C モデルでも利用することができます。
- ※ この自習書では、Dynamics CRM の機能をより深くご理解いただくため、Dynamics CRM の全機能を網羅したものではなく、最も利用される機能に焦点を絞って確認していただきます。

自習書の概要

カスタマイズ編では、主に Internet Explorer を利用します。

■ カスタマイズ編の対象者

Dynamics CRM 評価メンバー

Dynamics CRM 導入メンバー

Dynamics CRM 管理者

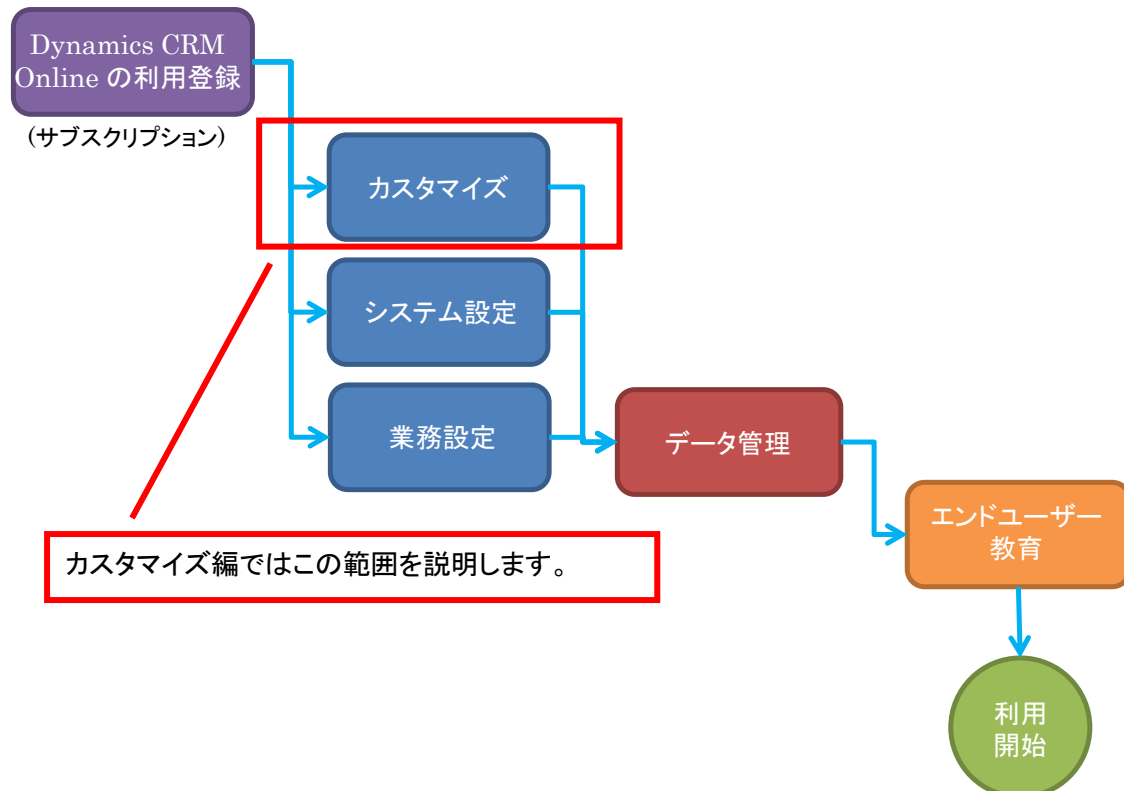
■ カスタマイズ編で使用するソフトウェア

Microsoft Dynamics CRM

Microsoft Internet Explorer 8

Microsoft Excel 2007

■ Dynamics CRM 導入の流れ

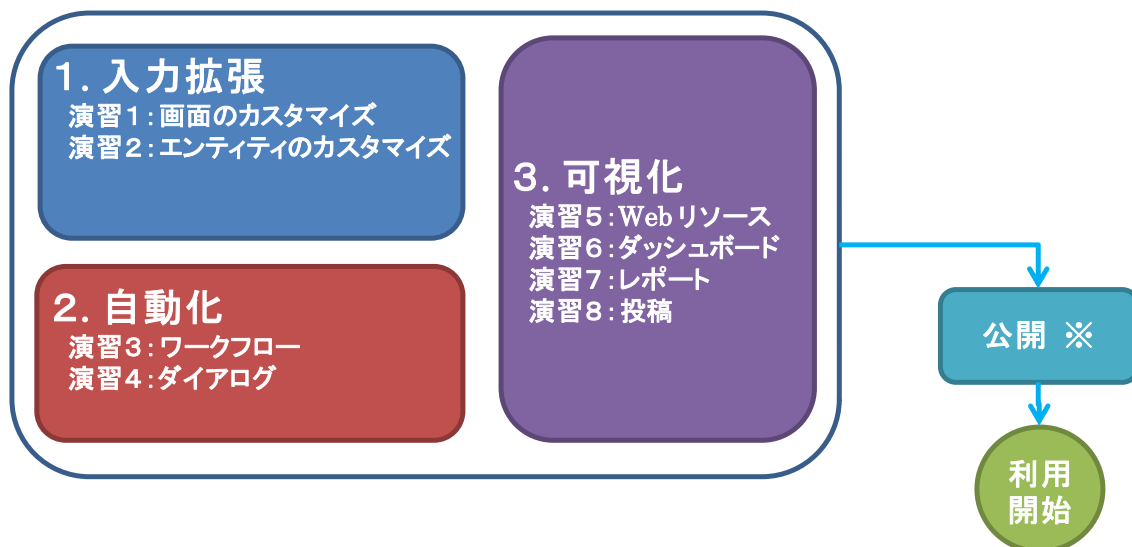


■ カスタマイズ編 演習の範囲

カスタマイズは Dynamics CRM 組織全体に影響するため、[システム管理者]または[システムカスタマイザ]のセキュリティロール、あるいはこれらと同等の特権が必要です。各演習にて十分な権限を有するユーザーを想定して操作手順や機能を確認します。

この自習書で扱う演習は、以下の 8 つのテーマを想定しております。

- 画面のカスタマイズ
- エンティティのカスタマイズ
- ワークフロー
- ダイアログ
- Web リソース
- ダッシュボード
- レポート
- 投稿



※ システムに対するカスタマイズを実施した後、それを有効にし、エンドユーザーが利用出来るようにするためには[公開]が必要です。具体的な手順は各演習にて確認します。

1. 入力拡張

演習 1. 画面のカスタマイズ

この演習で、あなたがシステムカスタマイザとなって、フォーム、ビューやグラフなど画面に関わる項目のカスタマイズを実施します。

◆ 演習のゴール

Dynamics CRM の以下の機能を理解します。

- フォーム
- ビュー
- グラフ

1. 入力拡張

演習1: 画面のカスタマイズ



営業担当者とマーケティング担当者で違う入力フォームを使いたい。



取引先担当者の一覧に役職も表示したい。



◆ 用語説明

演習 1 で使用する用語について説明します。

[エンティティ]

エンティティとは Dynamics CRM で管理するデータの種類の種類です。

例えば、[取引先企業]エンティティで企業情報が管理されます。

[フォーム]

1 レコードのデータの値を表示したり、編集したりするための画面です。

[フィールド]

エンティティごとに定義されたデータ項目のことです。

例えば、取引先企業エンティティにおける”取引先企業名”などです。

[ビュー]

複数のレコードを一覧表示する画面です。レコードの抽出条件を内部で管理しています。

[グリッド]

フォームの中で、データを表形式で一覧表示するフォームコンポーネントです。

[検索] (フィールドの種類)

他のエンティティを参照しているフィールドのことです。(英語では Lookup です。)

フォームでは虫眼鏡ボタンが表示され、参照しているエンティティのレコードを検索し、選択することができます。

[共有]

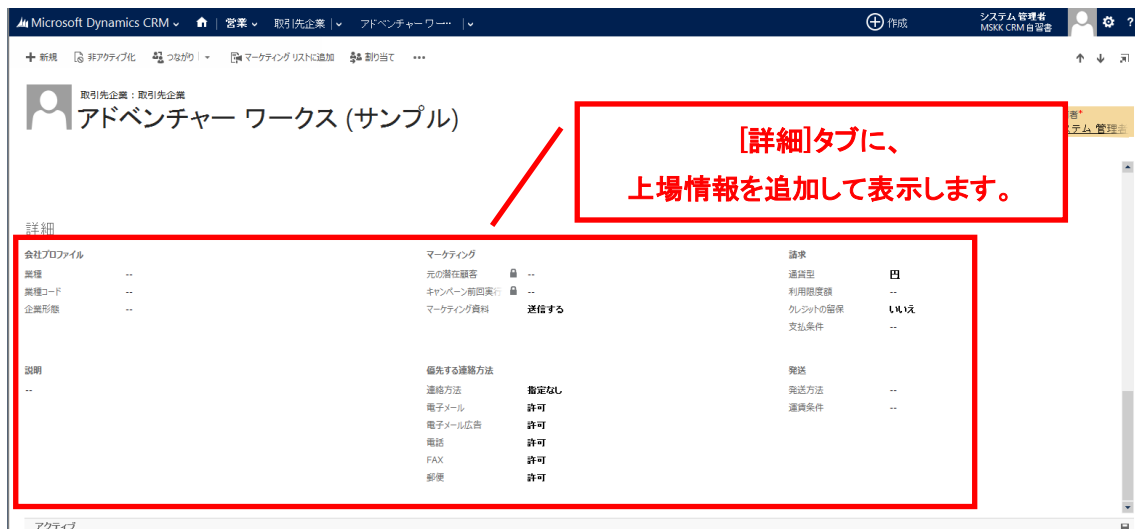
個人が作成したビューやグラフなどを、自分だけでなく他の人が使用できるように権限を与えることを指します。権限を与える先はユーザーあるいはチームを選択できます。

機能1. フォームにコンポーネントを追加

本節で、Dynamics CRM にあるフォームにフィールドを追加する手順を確認していただきます。

以下、取引先企業のフォームを例に、[詳細]タブに企業の上場情報を表示するようにフィールドを追加します。

追加する手順は、まずフィールドを配置するためのセクションを追加した上で、次にフィールドそのものを追加します。

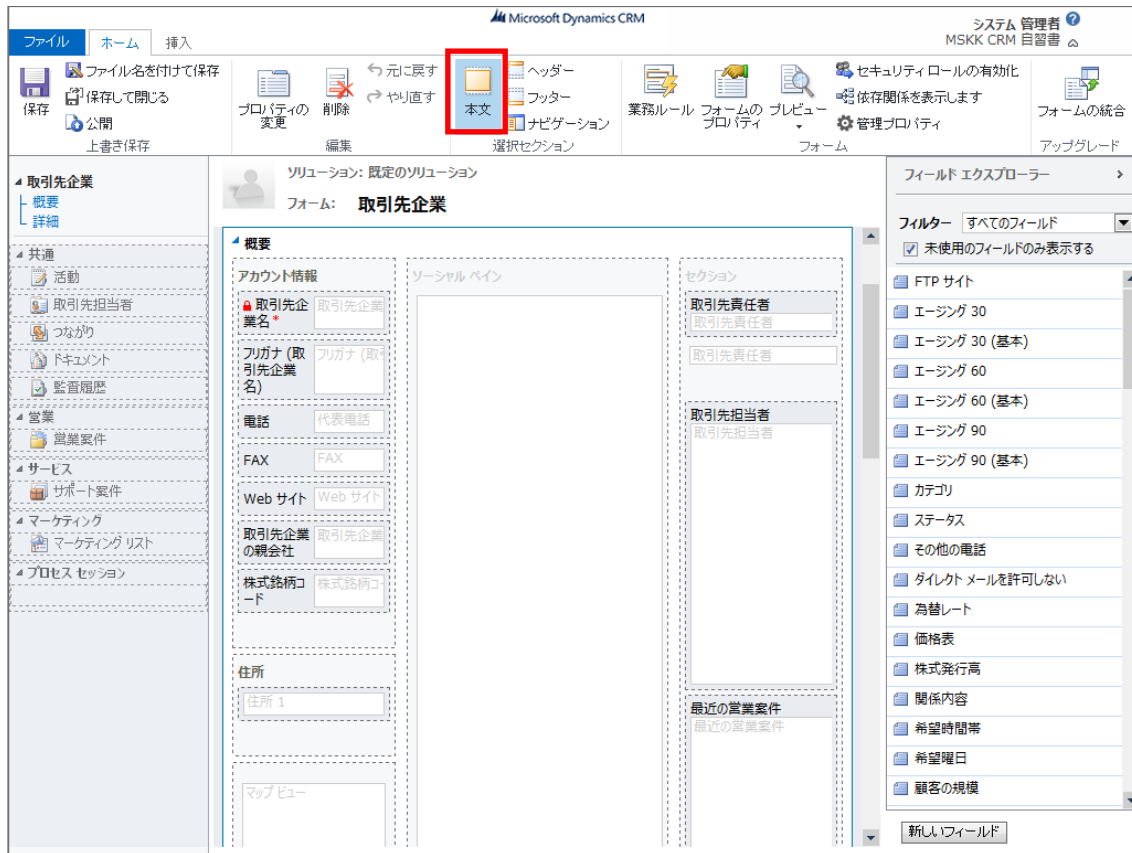


1. いずれかの取引先企業のレコードを参照する詳細画面にて、コマンドバーの[フォーム]ボタンをクリックします。



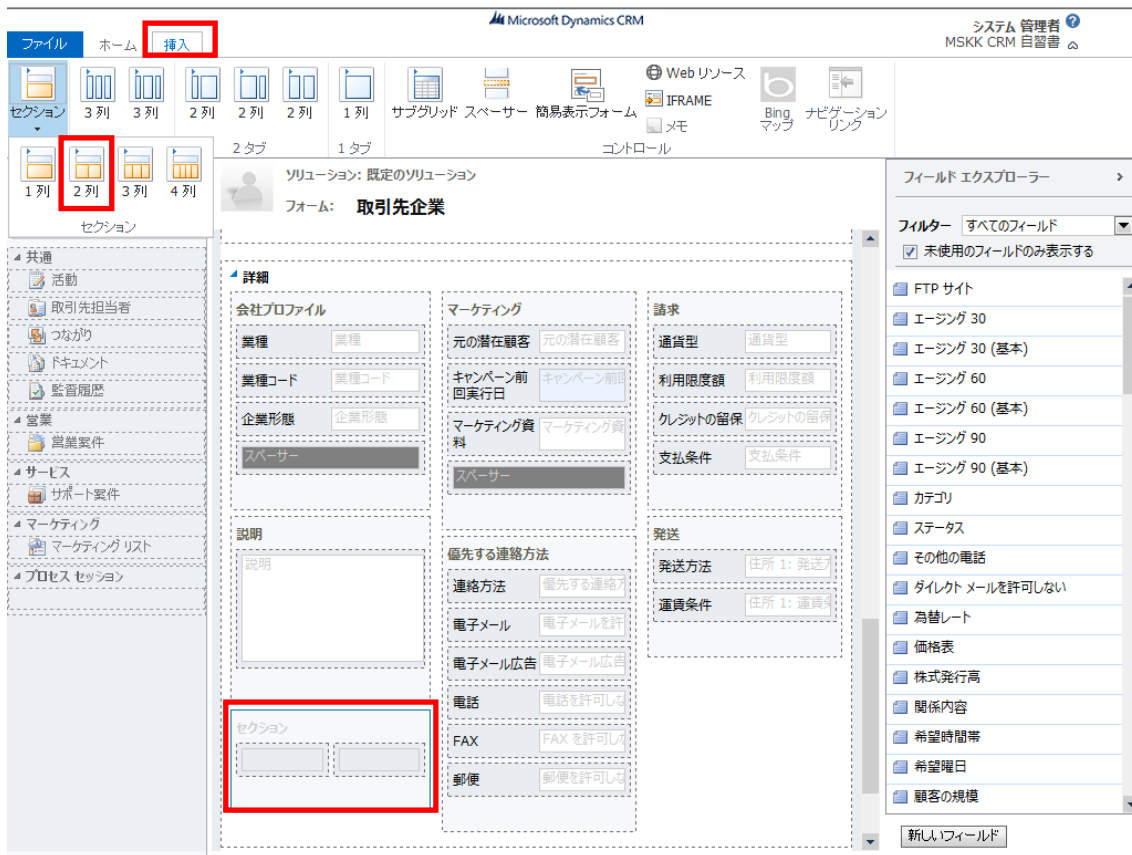
[フォーム]は、[システム管理者]または[システム カスタマイザ]のセキュリティロール、あるいはこれらと同等の特権をもつユーザーでログインした場合に表示されます。

2. フォームのカスタマイズ画面が開きます。既定では[本文]部分が選択された状態です。



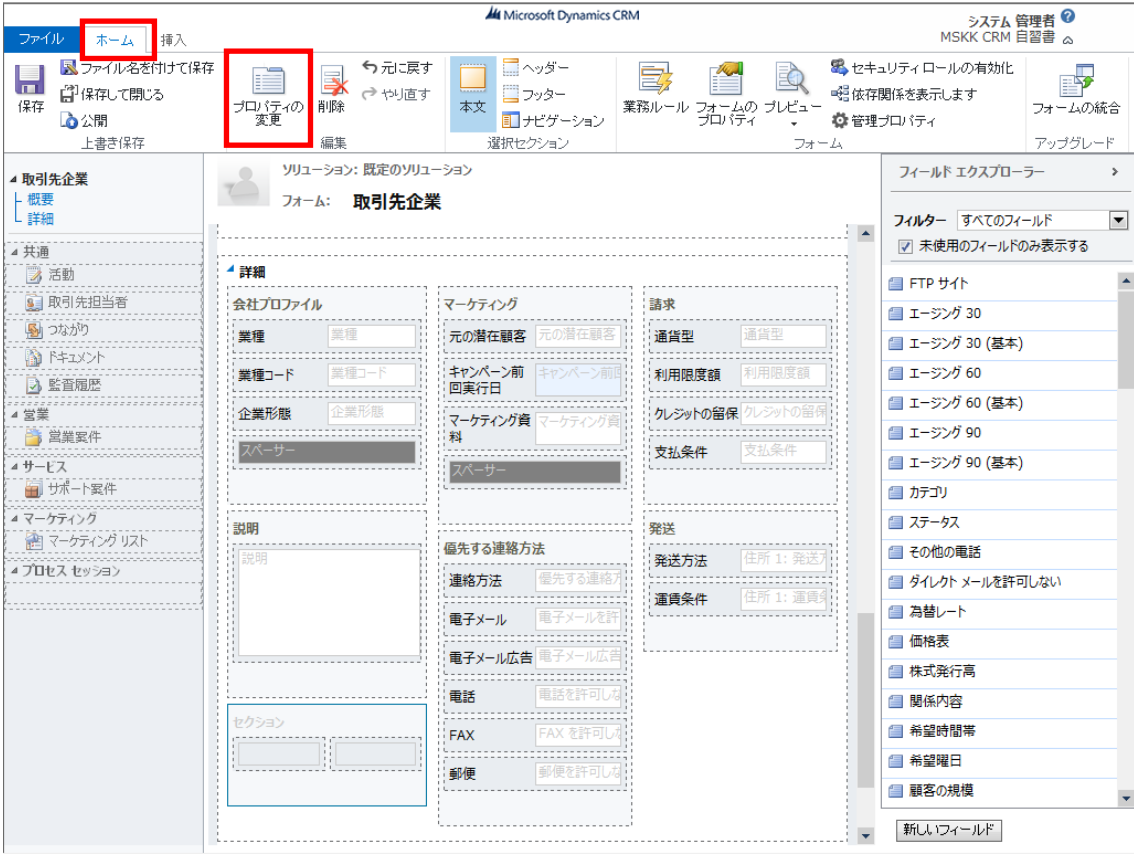
※ [本文]の他に、[ヘッダー]、[フッター]や[ナビゲーション]を選択して、それぞれをカスタマイズすることができます。詳細は 17 ページをご参照ください。

3. [本文]を[詳細]タブが表示されるようにスクロールした上、[詳細]タブをクリックします。その後、リボンメニューの[挿入]にある[セクション]の[2 列]をクリックして、2 列のセクションを追加します。



※ セクションを追加すると、必ず該当タブの末尾に挿入されます。

4. 新たに追加したセクションを選択したままで、リボンの[ホーム]タブにある[プロパティの変更]ボタンをクリックします。



5. [セクションのプロパティ]ダイアログで、以下の値を入力して、[OK] ボタンをクリックします。

項目	値	説明
名前	stock_info_section	コンポーネントの名前です。 フォーム内で一意である必要があります。
ラベル	上場情報セクション	フォームに表示される文言です。
このセクションのラベルをフォーム上に表示	チェック	ラベルを表示する場合はチェックします。
セクションの上端に線を表示する	チェック	セクションの上端に線を表示する場合はチェックします。

セクションのプロパティ

このセクションのプロパティを変更します。

表示

形式

名前

一意の名前を指定してください。

名前 *

stock_info_section

ラベル *

上場情報セクション

☒ このセクションのラベルを フォーム 上に表示

☒ セクションの上端に線を表示する

フィールド ラベルの幅

フィールド ラベル領域の幅をピクセル単位で指定します。

幅 *

115

表示

このセクションの既定の表示を指定します。

☒ 既定で表示する

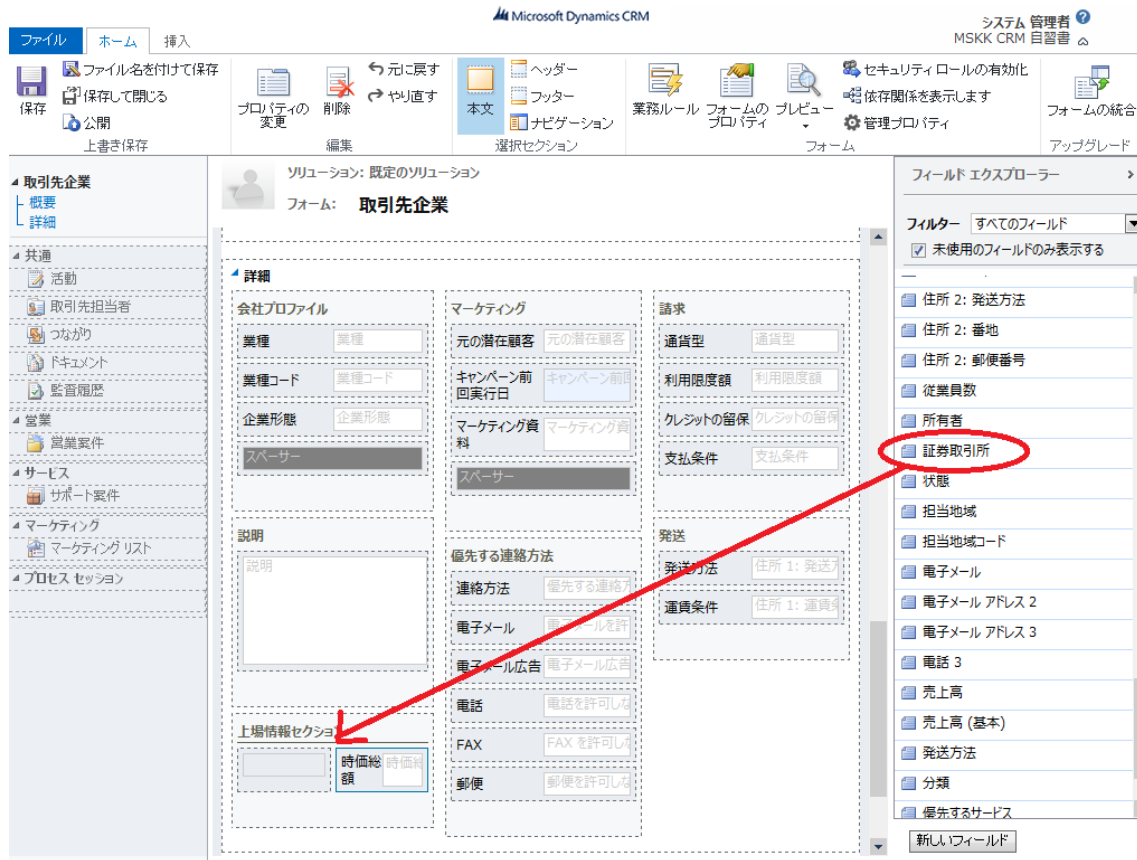
☐ フォーム 上でこのセクションをロックします。

OK

キャンセル

※ これにてセクションの追加が完了しました。これ以降はフィールドを追加します。

6. 画面右側の[フィールドエクスプローラー]から必要なフィールドをドラッグ・アンド・ドロップで
上場情報セクションに配置します。



※ この例では[時価総額]と[証券取引所]の2つのフィールドを配置します。

7. 必要なフィールドを配置した後、[上場情報]セクションを[説明]セクションより前に表示したいので、[上場情報]セクションをドラッグして、[説明]セクションより前になるよう配置します。

The screenshot displays the Microsoft Dynamics CRM interface for customizing the '取引先企業' (Business Partner) form. The left sidebar shows the navigation pane with sections like '取引先企業' (Business Partner), '共通' (Common), '営業' (Sales), 'サービス' (Service), 'マーケティング' (Marketing), and 'プロセス' (Process). The main area shows the '取引先企業' form with various sections: '会社プロフィール' (Company Profile), 'マーケティング' (Marketing), '請求' (Billing), '優先する連絡方法' (Preferred Contact Method), and '発送' (Shipping). The '上場情報' (Listing Information) section is highlighted with a red box, indicating it is being moved to a position before the '説明' (Description) section. The right sidebar shows the 'フィールド エクスプローラー' (Field Explorer) with a list of fields, including '住所 2: 発送方法' (Address 2: Shipping Method), '住所 2: 番地' (Address 2: City), '住所 2: 郵便番号' (Address 2: Zip Code), '従業員数' (Number of Employees), '所有者' (Owner), '状態' (Status), '担当地域' (Responsible Region), '担当地域コード' (Responsible Region Code), '電子メール' (Email), '電子メール アドレス 2' (Email Address 2), '電子メール アドレス 3' (Email Address 3), '電話 3' (Phone 3), '売上高' (Sales Amount), '売上高 (基本)' (Sales Amount (Basic)), '発送方法' (Shipping Method), '分類' (Category), '優先するサービス' (Preferred Service), and '優先するユーザー' (Preferred User). The '新しいフィールド' (New Field) button is visible at the bottom of the field explorer.

8. 画面レイアウトの変更が完了しましたら、[保存]ボタンをクリックした上、[公開]します。

Microsoft Dynamics CR

ファイル ホーム 挿入

保存 ファイル名を付けて保存 保存して閉じる 公開 上書き保存

プロパティの変更 削除 編集 元に戻す やり直す

本文 ヘッダー フッター ナビゲーション 選択セクション

取引先企業

概要 詳細

共通

活動

取引先担当者

つながり

ドキュメント

監査履歴

営業

営業案件

サービス

サポート案件

マーケティング

マーケティング リスト

プロセス セッション

ソリューション: 既定のソリューション

フォーム: 取引先企業

詳細

会社プロフィール

業種 業種

業種コード 業種コード

企業形態 企業形態

スペーサー

マーケティング

元の潜在顧客 元の潜在顧客

キャンペーン前 回実行日 キャンペーン前

マーケティング資 料 マーケティング資

料

スペーサー

上場情報セクション

証券取 引所 証券取 引所

時価総 額 時価総 額

優先する連絡方法

連絡方法 優先する連絡方

電子メール 電子メールを許

9. [公開]が完了した後、再度取引先企業のフォームを開き直しますと、[上場情報]セクションが表示されていることが確認できます。

Microsoft Dynamics CRM | 営業 | 取引先企業 | アドベンチャーワークス | 作成 | システム管理者 | MSXX CRM 管理者

+ 新規 | 非アクティブ化 | つながり | マーケティング リストに追加 | 割り当て | ...

取引先企業：取引先企業
アドベンチャー ワークス (サンプル)

売上高 ¥60,000 | 従業員数 4,300 | 所有者* システム 管理

詳細

会社プロフィール	マーケティング	請求
業種 --	元の潜在顧客 --	通貨単位 円
業種コード --	キャンペーン前回実行 --	利用限度額 --
企業形態 --	マーケティング資料 送信する	クレジットの担保 はい
		支払条件 --

上場情報セクション

証券取引所 --	時間総額 --	優先する連絡方法
		連絡方法 指定なし
		電子メール 許可
		電子メール広告 許可
		電話 許可
		FAX 許可
		郵便 許可

送信

発送	発送方法 --
送信条件 --	

アクティブ

- ※ 画面に配置した[フィールド]を選択して、[プロパティの変更]をクリックすることによって、[フィールド]のプロパティを変更できます。

フィールドのプロパティ

?

このフィールドのプロパティを変更します。

表示

形式

詳細

イベント

業務ルール

ラベル

フォームのフィールドのラベルを指定してください。

ラベル* 時価総額

☒ フォームでラベルを表示する

フィールドの動作

フィールドレベルの動作を指定してください。

☐ フィールドが読み取り専用

ロック

フォーム上でこのフィールドをロックするかどうかを指定してください。

☒ フォーム上でこのフィールドをロックする

このフィールドはフォームから削除できません。

表示

このコントロールの既定の表示を指定します。

☒ 既定で表示する

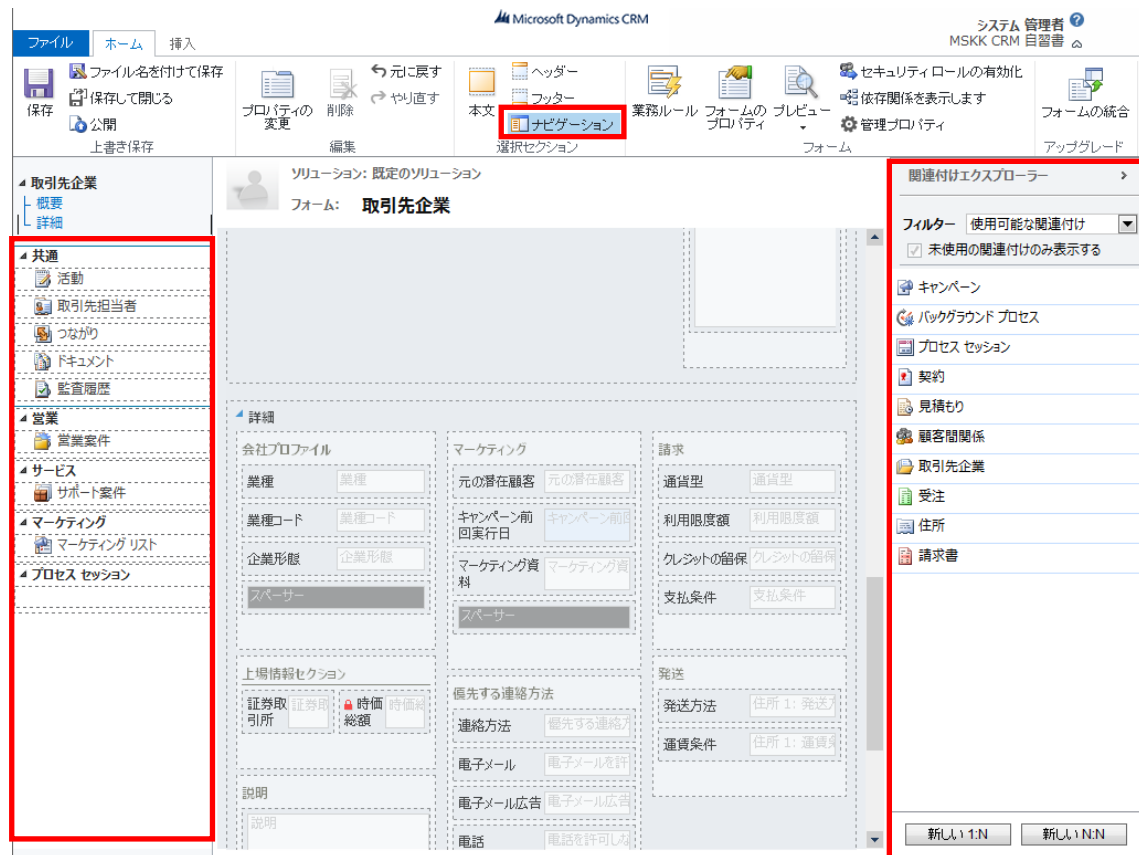
OK

キャンセル

- ◆ タブを切り替えることによって、他のプロパティを編集することができます。[形式]でレイアウトの調整、[詳細]タブでエンティティ情報の確認、[イベント]タブでJavaScript を利用したクライアント動作定義ができます。
- ◆ [フィールドの動作]セクションにある[フィールドが読み取り専用]に設定することによって、このフォームを利用するユーザーがこのフィールドを入力できなくなります。複数フォームを利用する事によって、利用シーンに応じユーザーのデータ入力を制限することができます。
- ◆ [ロック]セクションにある[フォーム上でこのフィールドをロックする]にチェックしたときに、このフィールドをフォームから削除することができません。

※ 前述の例はフォームの[本文]部分のカスタマイズでした。その他に、[ナビゲーション]、[ヘッダー]や[フッター]を選ぶことによって、それぞれのセクションにコンポーネントにフィールドを配置したり、解除したりすることが可能です。

下図は[取引先企業]の[ナビゲーション]を選択して、編集する画面を示しています。右側の[関連付けエクスプローラー]に挿入できる関連付けエンティティが表示されています。[関連エクスプローラー]からエンティティをドラッグ・アンド・ドロップで[ナビゲーション]に配置することができます。すでに配置されているエンティティもドラッグ・アンド・ドロップで位置を調整することが可能です。



以上、フォームにセクションやフィールドを追加する手順を、[取引先企業]のフォームに[上場情報]を表示する例で確認していただきました。入力フィールドの他、Dynamics CRM では検索型のフィールドをサポートしています。次節で詳しく確認していただきます。

機能 2. 検索型フィールドの追加

Dynamics CRM は入力フィールドの他、検索型フィールドをフォームに表示することができません。

以下、[取引先企業]と[製品]の両方のデータを登録し、画面に一回で表示するように、[営業案件]のフォームをカスタマイズします。[営業案件]のフォームに、新たに[製品]フィールドを作成して、フォームに表示するシナリオを想定しています。

カスタマイズを実施した後、[営業案件]のフォームに[製品]の検索フィールドを追加します。また、[製品]の虫眼鏡ボタンをクリックすると、すでに設定してある[ソースキャンペーン]の製品に属している[製品]のデータを絞り込んだ上で表示します。

Microsoft Dynamics CRM 2016
受注としてクローズ
受注としてクローズ
営業案件の再計算
印刷
製品 SKU JJ202 の...
作成
システム管理者
MSK CRM 管理者

+ 新規
受注としてクローズ
受注としてクローズ
営業案件の再計算
印刷
製品 SKU JJ202 の...
作成
システム管理者
MSK CRM 管理者

営業案件: 営業案件
製品 SKU JJ202 の 6 個の受注 (サンプル)
ここに[製品]を追加します。

見込みありと評価 (アクティブ)
提案作成
提案

取引先担当者の特定
クリックして入力してください
取引先企業の特定
クリックして入力してください
購入時期
今年

確定予算金額
¥30,000
支払方法
クリックして入力してください
見積書の取得
クリックして入力してください

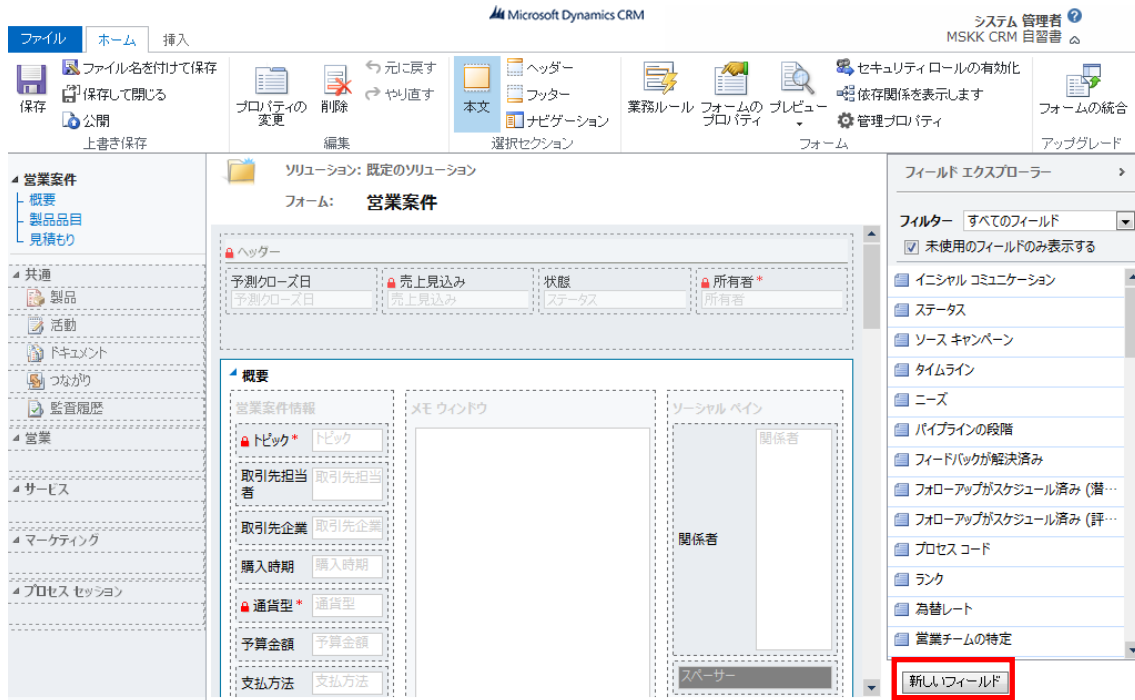
概要
トピック
取引先担当者
取引先企業
購入時期
通貨
予算金額
支払方法
説明
製品 SKU JJ202 の 6 個の受注 (サンプル)
ここに検索を入力してください
検索
両方
自動検索
ユーザー検索
製品 SKU JJ202 の 6 個の受注 (サンプル)
営業案件: システム 管理者 が 取引先企業 フォークラム (サンプル) に関して作成しました。
製品 SKU JJ202 の 6 個の受注 (サンプル) のウォール上
2013/10/23 16:57
関係者
名前
ロール
関係者が見つかりません。
現在の状況
若年層顧客の間で売上が低下。
営業チーム
名前
ロール
営業チーム メンバーが見つかりません。
オプション

1. いずれかの[営業案件]のレコードを参照する詳細画面にて、「…」にある[フォーム]ボタンをクリックします。



※ [フォーム]は、[システム管理者]または[システム カスタマイザ]のセキュリティロール、あるいはこれらと同等の特権をもつユーザーでログインした場合に表示されます。

2. [フォーム]のカスタマイズ画面が開きます。[製品]フィールドは存在しないため、[フィールドエクスプローラー]にある[新しいフィールド]をクリックして、フィールドを追加します。



※ この例では、フォームのカスタマイズ画面からフィールドを追加しています。エンティティのカスタマイズ画面からもフィールドを追加することができます。詳細については「演習 2 エンティティのカスタマイズ」の「機能 3 フィールドの追加」(100 ページ)をご参照ください。

3. [フィールド: 新規の営業案件]ダイアログが開きます。以下のようにデータを入力して、[保存して閉じる]ボタンをクリックします。

項目	値	説明
表示名	製品	フォームで表示される名前を入力します。
名前	product	フィールドの名前です。エンティティ内で一意である必要があります。
説明	製品のみを入力するフィールドです。	フィールドの説明を入力します。
種類	検索	「演習 2 エンティティのカスタマイズ」(77 ページ)の「機能 4 フィールドの属性詳細」の「2 種類」(105 ページ)をご参照ください。
ターゲットレコードの種類	製品	検索するエンティティを選択します。

ファイル 保存して閉じる ヘルプ(H)

フィールド
新規の営業案件

ソリューションの操作: 既定のソリューション

全般

スキーマ

表示名 * 製品 フィールド要件 * 任意出席者

名前 * new_product 検索可能 はい

フィールド セキュリティ ☐ 有効にする ☒ 無効にする

監査 * ☒ 有効にする ☐ 無効にする

説明 製品のみを入力するフィールドです。

エンティティおよびフィールドとプログラムで対話する方法については、次を参照してください [Microsoft Dynamics CRM SDK](#)

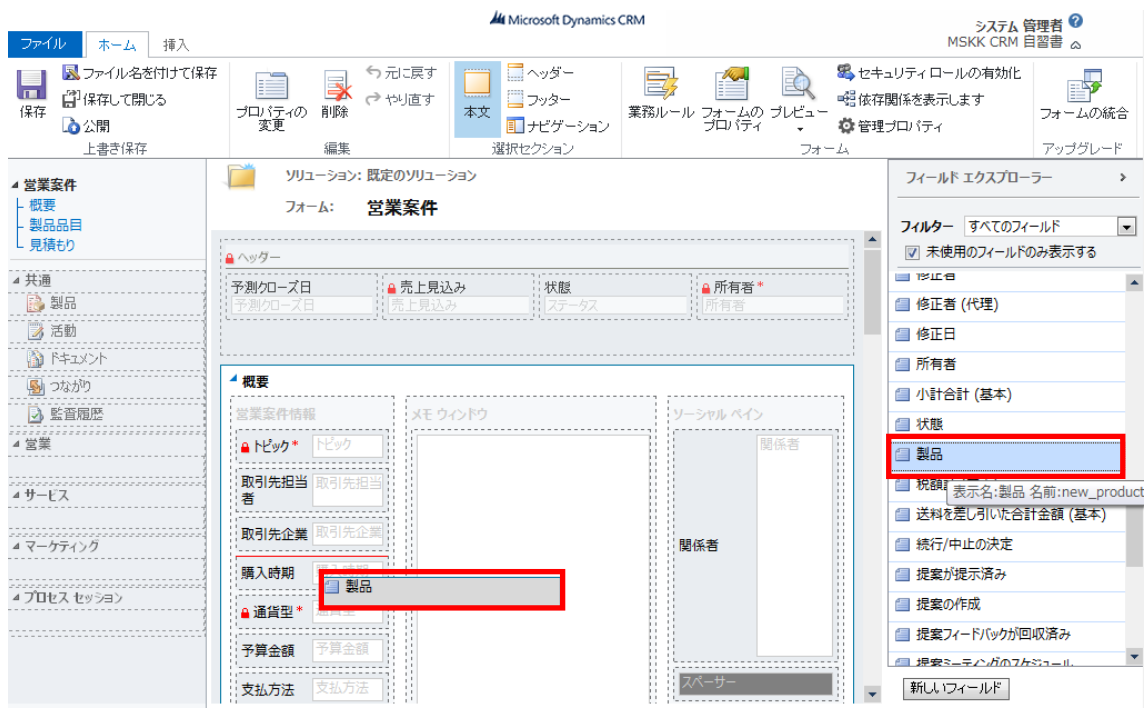
種類

種類 * 検索

ターゲットレコードの種類 * 製品

関連付け名 * new_product_opportunity_product

4. “製品”フィールドが[フィールド エクスプローラー]に表示されます。それをドラッグ・アンド・ドロップで、[購入時期]の下に配置します。



5. 追加した“製品”フィールドをクリックした後、[プロパティの変更]をクリックすると、[フィールドのプロパティ]ダイアログが表示されます。[関連レコードのフィルタリング]を編集します。その後、[OK] ボタンをクリックします。

項目	値	説明
次の条件を満たすレコードのみ表示する	チェック	データを絞り込んだ上で検索ダイアログを表示する場合はチェックします。
(営業案件の関連エンティティ)	ソースキャンペーン(営業案件)	現在エンティティの絞り込み条件に使うフィールドを選択します。
(ソースキャンペーンの関連エンティティ)	キャンペーン(製品)	検索するエンティティが対応しているフィールドを選択します。

フィールドのプロパティ

?

このフィールドのプロパティを変更します。

表示
形式
詳細
イベント
業務ルール

表示
このコントロールの既定の表示を指定します。
☒ 既定で表示する

関連レコードのフィルタリング
☒ 次の条件を満たすレコードのみ表示する:

ソース キャンペーン (営業案件)

が次の値を含む

キャンペーン (製品)

☒ ユーザーがフィルターを無効にできる

追加のプロパティ
☒ 検索ダイアログで検索ボックスを表示する
既定のビュー

製品検索ダイアログ ビュー

ビュー セレクタ

すべてのビューを表示

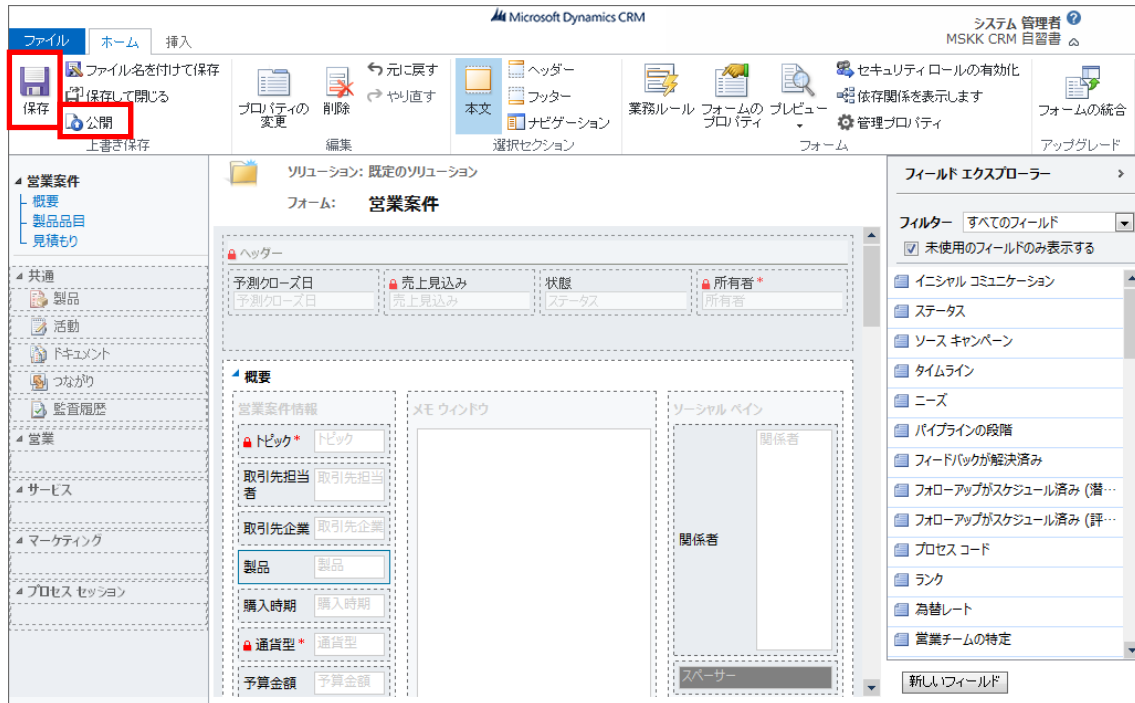
すべての製品
価格表のある製品
製品検索ダイアログ ビュー
非アクティブな製品

OK

キャンセル

- ※ タブを切り替えることによって、他のプロパティを編集することができます。[形式]でレイアウトの調整、[詳細]タブでエンティティ情報の確認、[イベント]タブでJavaScriptを利用したクライアント動作定義ができます。
- ※ [フィールドの動作]セクションのチェックを設定して、独自のフィールド動作を指定できます。

6. [フィールドのプロパティ]ダイアログを閉じた後、[保存]と[公開]ボタンをクリックして、フォームのカスタマイズ画面を閉じます。



7. カスタマイズを公開した後に、[営業案件]のフォームを開き直して、[製品]フィールドが表示されていることを確認します。

The screenshot shows the Microsoft Dynamics CRM interface. The top navigation bar includes 'Microsoft Dynamics CRM', '営業案件', and '製品 SKU JJ202 の...'. The main title is '製品 SKU JJ202 の 6 個の受注 (サン...)'. Below the title, there are tabs for '見込みありと評価 (アクティブ)', '提案作成', '提案', and '閉じる'. The '見込みありと評価 (アクティブ)' tab is selected, showing a table with columns for '取引先担当者の特定', '取引先企業の特定', '購入時期', '推奨予算金額', '支払方法', and '意思決定者の特定'. The '製品' field is highlighted with a red box. The '概要' section shows the '製品 SKU JJ202 の 6 個の受注 (サン...)' and the '関係者' section shows the '名前' and 'ロール' fields.

8. [製品]の虫眼鏡ボタンをクリックすると候補値が列挙され、さらに[他のレコードの検索]をクリックすると[レコードの検索]ダイアログが開きます。

製品
購入時期
通貨型*
予算金額
支払方法
説明

液晶テレビ
001
他のレコードの検索
1 結果 + 新規

レコードの検索

検索条件を入力してください。

検索 製品

検索場所 製品検索ダイアログビュー

検索 レコードの検索

製品名 ↑	ID
✓ 液晶テレビ	001

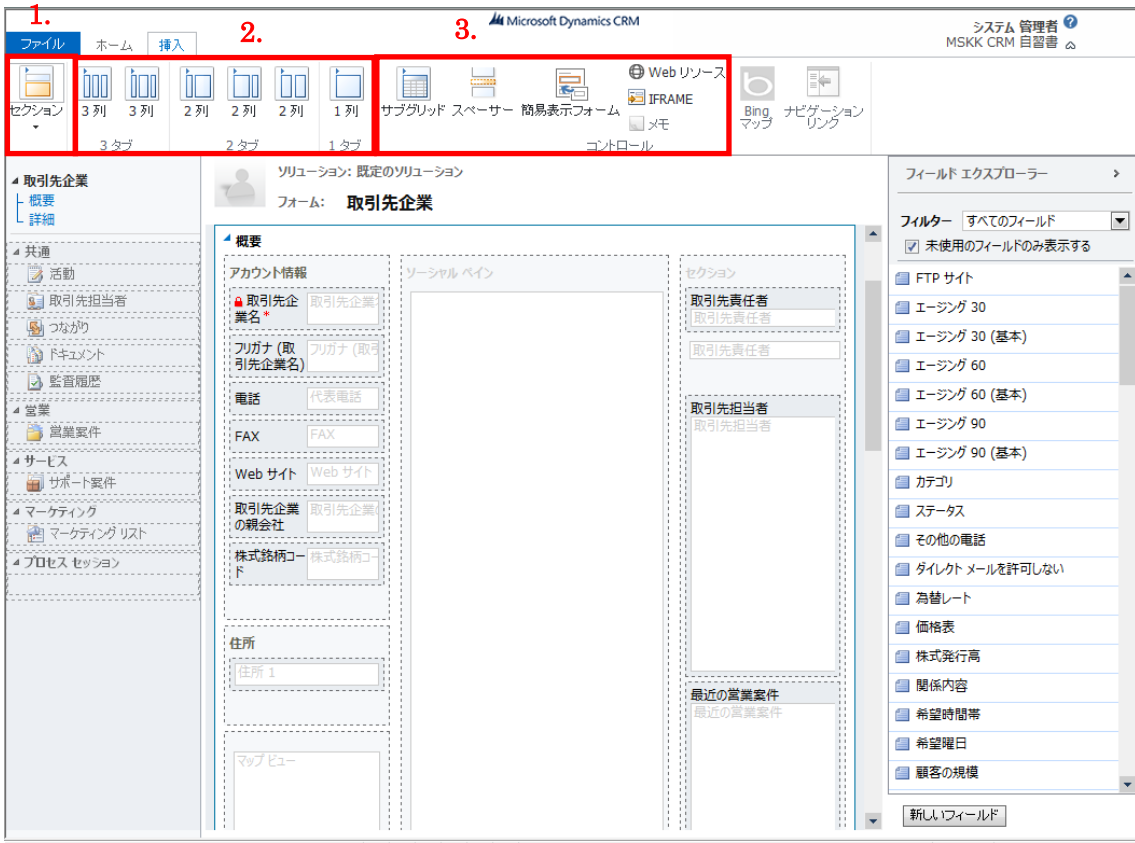
1 - 1 / 1 (1 個選択済み) 1 ページ

新規(N) 追加 キャンセル(C) 値の削除







前述 2 節はセクションやフィールドをメインに機能を確認していただきました。その他に、タブ、サブグリッドなど、フォームに配置できるコンポーネントが多数あります。次節でそれぞれのコンポーネントの用途とその属性を詳しく確認していただきます。

機能 3. フォームのコンポーネント

フォームに配置できるコンポーネントはセクションやフィールドの他に、タブとコントロールがあります。コントロールの中、よく使われるものは[サブグリッド]、[Web リソース]や[スペーサー]があります。



※ フォームに配置できるコンポーネント

コンポーネント	コントロール	アイコン	説明
1. セクション	—	—	[タブ]の中に配置します。 [セクション]は複数のフィールドまたはコントロールをグルーピングして表示したり、一括して位置を変換したりすることができます。
2. タブ	—	—	フォームに配置します。 [タブ]はユーザー操作で、閉じたり開いたり表示を切り替えることができます。
3. コントロール	(1) サブグリッド	 サブグリッド	[セクション]に配置します。 指定エンティティのレコードの一覧を表形式で表示します。
	(2) スペーサー	 スペーサー	[セクション]に配置します。 [スペーサー]を利用することで、レイアウトを調整することができます。
	(3) 簡易表示フォーム	 簡易表示フォーム	[セクション]に配置します。 関連エンティティの情報を読み取り専用で表示することができます。 詳細は新機能編をご参照下さい。
	(4) Web リソース	 Web リソース	[セクション]に配置します。 Dynamics CRM に登録してある [Web リソース]をフォームに挿入できます。
	(5) Bing マップ	 Bing マップ	[セクション]に配置します。 CRM 2013 on-premise では CRM のフォーム内に地図が表示されます。CRM Online Fall '13では、住所の文字列のリンクをクリックすると別ウィンドウが開いて、Bing Maps の地図が表示されます。標準のフォームでは取引先企業と取引先担当者で配置されています。
	(6) ナビゲーションリンク	 ナビゲーション リンク	[ナビゲーション]領域に配置します。 Web リソースや外部 URL へのリンクを配置できます。

次ページ以降でそれぞれの詳細を確認していきます。

1. セクション

[セクション]はタブに配置します。[セクション]は複数のフィールドまたはコントロールをグルーピングして表示したり、一括して位置を変換したりすることができます。

セクションが、下図のように表示されます。



2. タブ

[タブ]はフォームに配置します。

[タブ]はユーザー操作で、閉じたり開いたりすることができます。

タブは下図のように表示されます。

The screenshot shows the Microsoft Dynamics CRM interface. At the top, there is a navigation bar with 'Microsoft Dynamics CRM' and various icons. Below it, a breadcrumb trail shows '営業' > '取引先企業' > 'アドベンチャーワークス (サンプル)'. The main content area displays a form for 'アドベンチャーワークス (サンプル)'. The form has two tabs: '概要' (Overview) and '詳細' (Details). The '概要' tab is currently selected and highlighted with a red box, with a red arrow pointing to it from the label '開いているタブ' (Open Tab). The '詳細' tab is also highlighted with a red box, with a red arrow pointing to it from the label '閉じたタブ' (Closed Tab). The '概要' tab contains a table with columns for '会社プロフィール', 'マーケティング', and '請求'. The '詳細' tab contains a table with columns for '上場情報セクション', '優先する連絡方法', and '発送'.

会社プロフィール		マーケティング		請求	
業種	--	元の潜在顧客	...	通貨型	円
業種コード	--	キャンペーン前回実行	...	利用限度額	--
企業形態	--	マーケティング資料	送信する	クレジットの留保	はい
				支払条件	--

上場情報セクション		優先する連絡方法		発送	
証券取引所	--	時間地額	--	発送方法	--
				運賃条件	--

説明		指定なし			
		連絡方法	許可		
		電子メール	許可		
		電子メール広告	許可		
		電話	許可		
		FAX	許可		
		郵便	許可		

3. コントロール

(1) サブグリッド

[サブグリッド]は[セクション]に配置します。[サブグリッド]を利用して、指定エンティティのレコード一覧を表示することができます。

詳細な追加手順や画面での表示は「機能 4 サブグリッドの追加」(38 ページ)をご参照ください。

(2) スペーサー

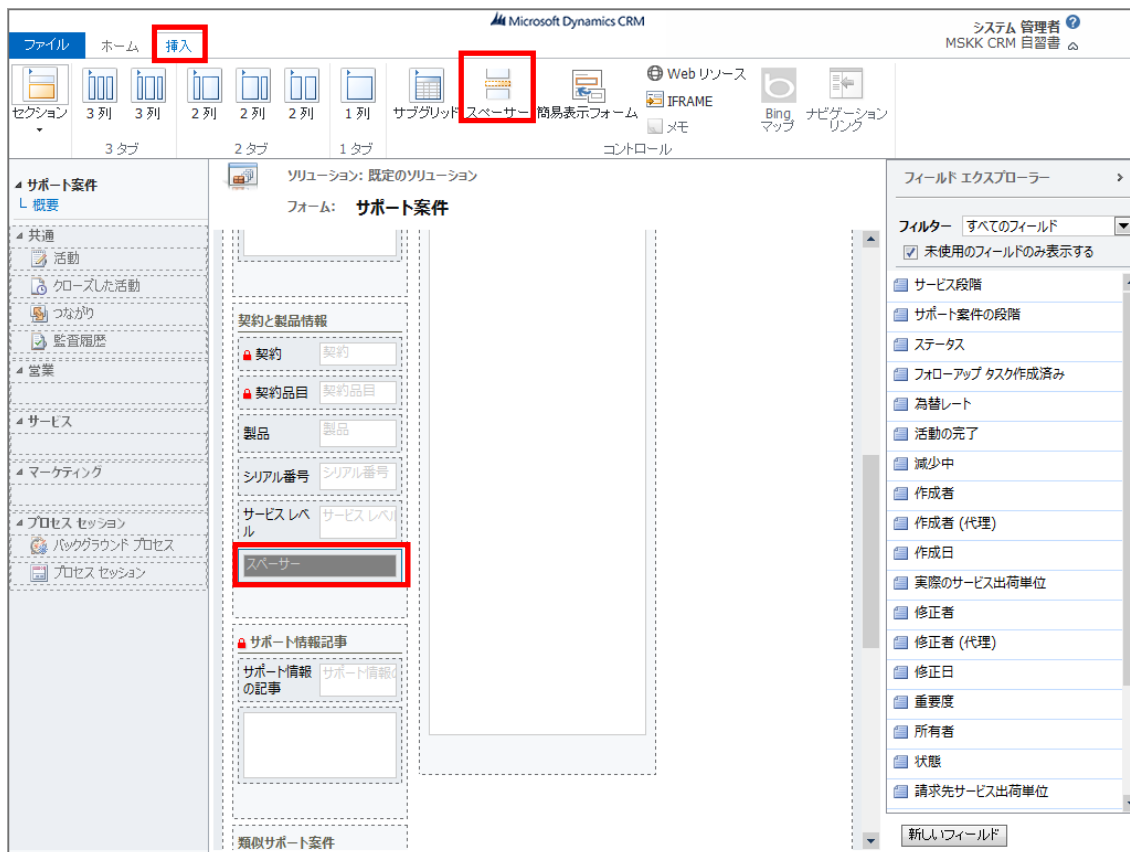
セクションに配置します。[スペーサー]を利用することで、レイアウトの細かな調整をすることができます。

Dynamics CRM のフォームにあるコンポーネントは隙間を空けずに配置されます。隙間を空けてコンポーネントをフォームに配置したい場合は[スペーサー]を利用します。

下図のように、[サポート案件]フォームで、[契約と製品情報]セクションと[サポート情報記事]セクションの間に、隙間を空けたいシナリオを例に、[スペーサー]の利用手順を確認していただきます。

The screenshot shows the Microsoft Dynamics CRM interface for a 'Support Case' (サポート案件). The title is 'Services Required (Sample)' (サービスが必要 (サンプル)). The form is divided into several sections: 'Contract and Product Information' (契約と製品情報), 'Support Information Article' (サポート情報記事), and 'Support Case Details' (サポート案件の詳細). A red box highlights the gap between the 'Contract and Product Information' and 'Support Information Article' sections, with a red arrow pointing to it and a text box saying 'この間に隙間を空けたい' (I want to create a gap here).

1. [フォーム]のカスタマイズ画面で、[スペーサー]を追加したい[セクション]をクリックした上、[挿入]タブの[スペーサー]アイコンをクリックします。その後、[ホーム]タブにて、カスタマイズを[保存]して、[公開]します。



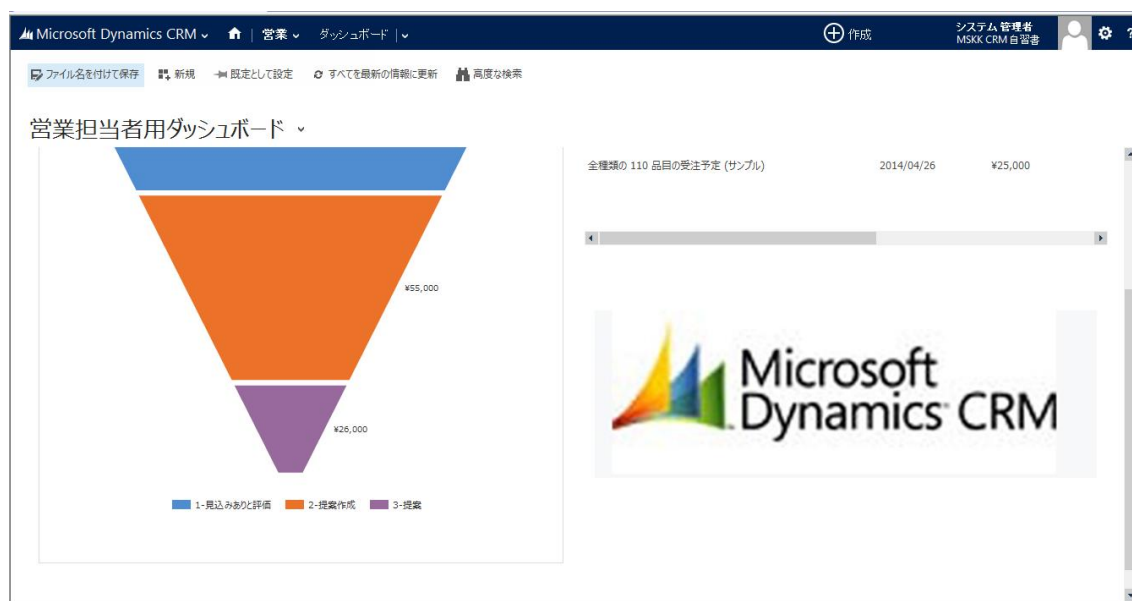
2. [スペーサー]を挿入した後、[サポート案件]のフォームを開き直しますと、下記のようになります。

The screenshot shows the Microsoft Dynamics CRM interface for a 'Support Case' (サポート案件). The form title is 'サービスが必要 (サンプル)' (Service Required (Sample)). The form is in 'Edit' mode. The 'Support Case' (サポート案件) tab is selected. The 'Service Required' (サービスが必要) section is expanded, showing a list of 'Service Required' (サービスが必要) items. A red box highlights a custom field labeled 'スペーサー' (Spacer) in the list. A red arrow points to this field from a red box containing the text 'スペーサーあり' (Spacer present).

(3) Web リソース

セクションに配置します。Dynamics CRM に登録してある [Web リソース]をフォームに挿入できます。

下図で、Dynamics CRM ロゴを [Web リソース]として Dynamics CRM に登録した上で、[ダッシュボード]のフォームに表示した場合の例を示しています。

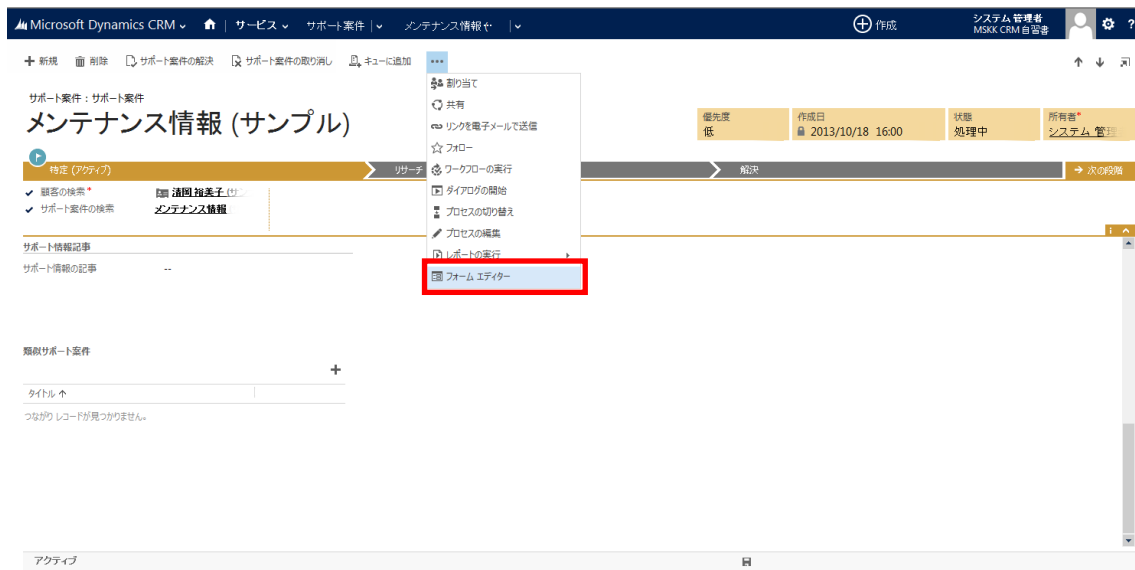


※ [Web リソース]自体を Dynamics CRM に登録する手順は、「演習 5 Web リソース」(183 ページ)をご参照ください。

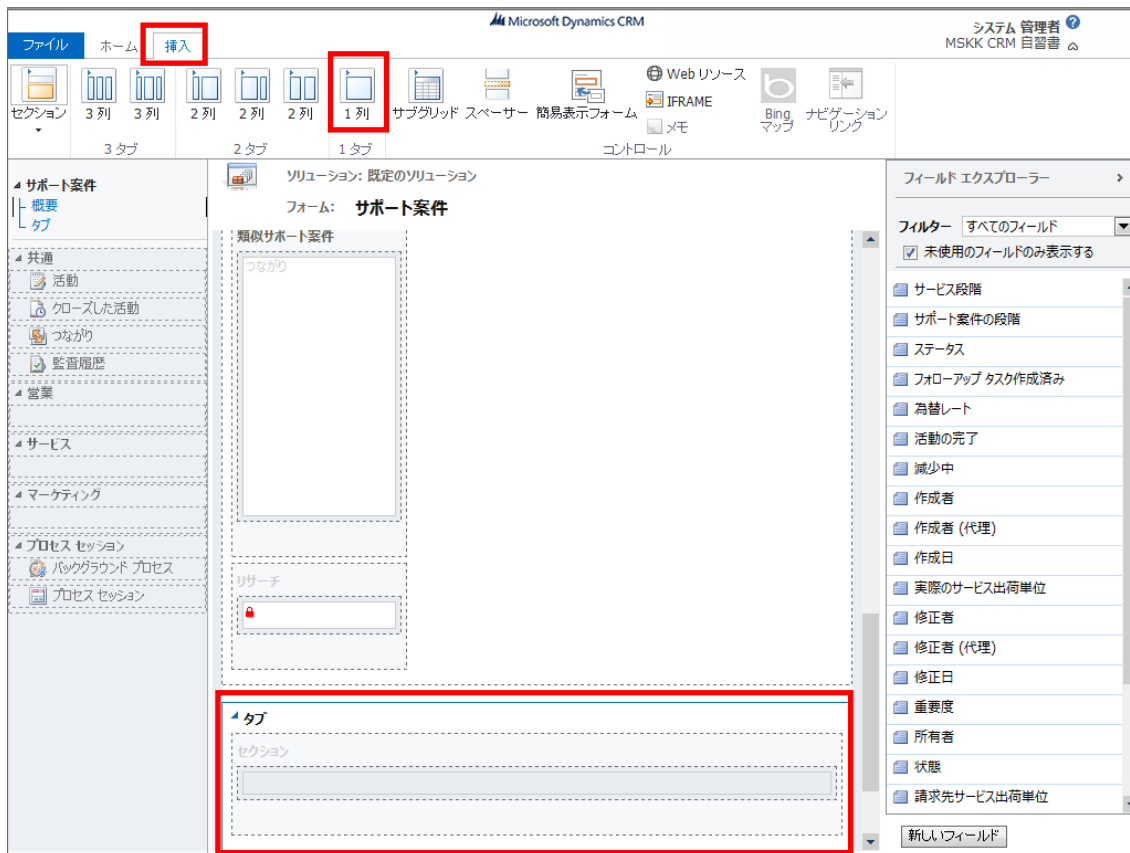
機能 4. サブグリッドの追加

以下、フォームに[サブグリッド]を追加する手順を確認していただきます。[サポート案件]のフォームに、“電話（関連）”のサブグリッドを追加して、指定サポート案件に関連してあるすべての電話を表示するシナリオを想定しています。

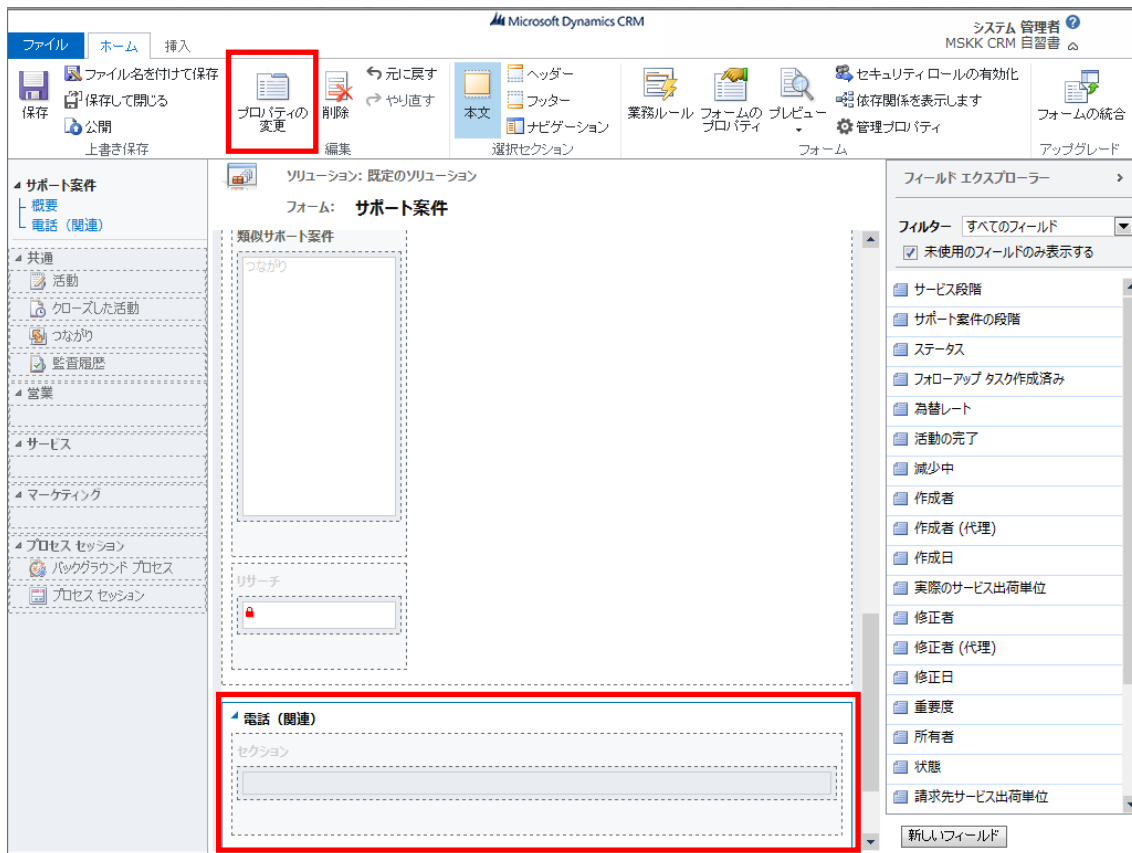
1. いずれかの[サポート案件]を開いた上で、コマンドバーの[フォームエディター]ボタンをクリックします。



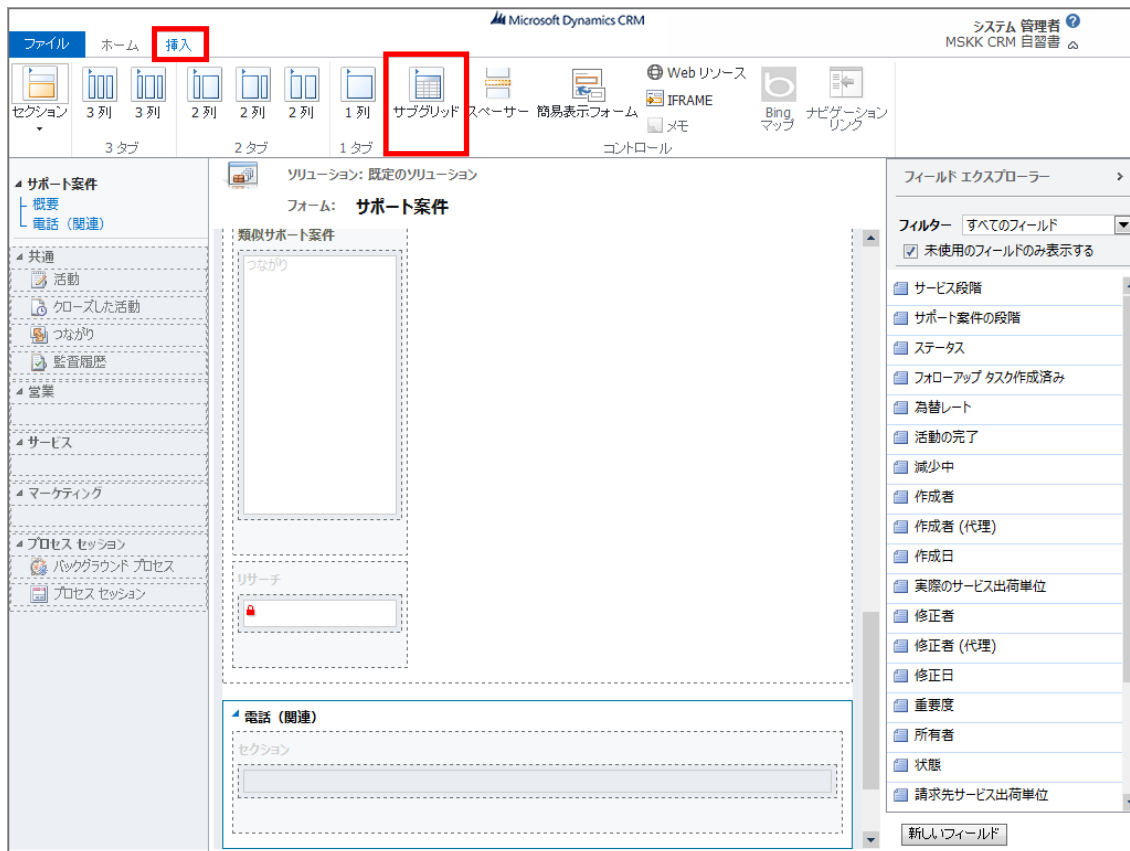
2. [フォーム: サポート案件]ダイアログが開きます。[挿入]→[1 列(タブ)]の順にクリックして、電話のサブグリッドを配置する[タブ]を追加します。



3. 新たに追加した[タブ]をクリックした上で、[プロパティの変更]をクリックします。[タブのプロパティ]ダイアログで、[ラベル]を“電話(関連)”に変更して、[OK]ボタンをクリックします。



4. サブグリッドを作成するために、[挿入]タブに切り替えて、[サブグリッド]をクリックします。



5. [リストまたはグラフのプロパティ]ダイアログが表示されます。以下のようにデータを入力して、[OK] ボタンをクリックします。

項目	値	説明
名前	telephone_tab	タブの名前を入力します。フォーム内で一意である必要があります。
ラベル	電話 (関連)	画面に表示される文言です。
エンティティ	電話 (関連)	サブグリッドで一覧表示するエンティティを入力します。
既定のビュー	すべての電話	既定で選択されるビューを指定します。

プロパティの設定 ?

リストまたはグラフのプロパティを設定します。

表示
形式

名前
一意の名前を指定してください。

名前 *

名前
ラベル *

☐ ラベルを フォーム 上に表示

データソース
このリストまたはグラフのプライマリ データソースを指定します。

レコード

エンティティ

既定のビュー

編集 新規

追加のオプション

☐ 検索ボックスを表示する

☐ 表示インデックス i

ビュー セレクター

システム ビュー
すべての電話
自分の終了した電話
自分の電話

グラフ オプション

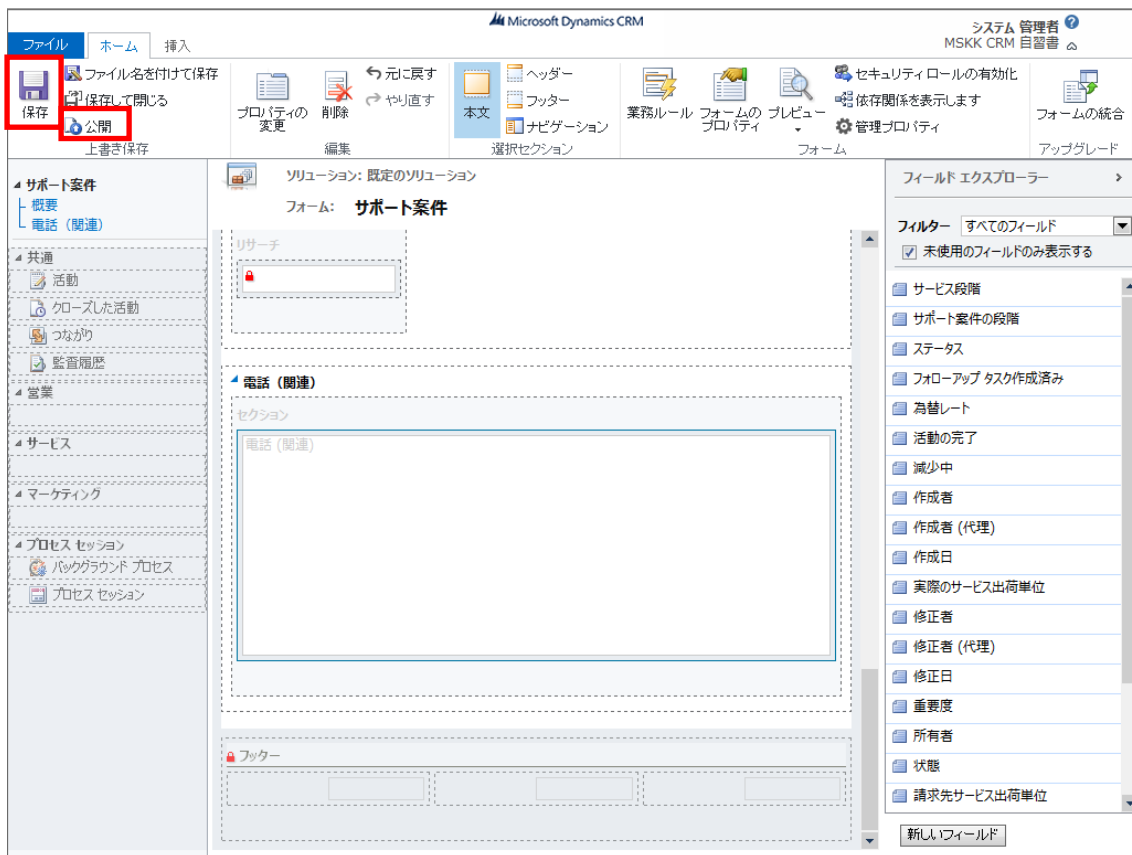
既定のグラフ

☐ グラフのみ表示する

☒ グラフの選択項目を表示する

- ※ [追加のオプション]の設定で、検索ができたり、ビューの選択ができたりするように設定することができます。
- ※ [グラフ オプション]は、選択した[エンティティ]に[グラフが]登録されている場合に有効化されます。表示するグラフを選択することができます。
- ※ [形式]タブをクリックして、ページあたりに表示される行数などを設定することができます。

6. [ホーム]タブに切り替えて、[保存]ボタンをクリックして、処理が完了したら[公開]ボタンをクリックします。



7. “電話(関連)”の[サブグリッド]はフォームで、下図のように表示されます。また、[サブグリッド]内の[+]ボタンをクリックし、新規に電話番号を追加することができます。

Microsoft Dynamics CRM

サービス サポート案件 メンテナンス情報

作成 システム 管理者 MSKJ CRM 管理者

サポート案件: サポート案件

メンテナンス情報 (サンプル)

優先度: 低 作成日: 2013/10/18 16:00 状態: 処理中 所有者: システム 管理者

物元 (アクティブ) リサーチ 解決 次で約略

顧客の検索 * 清岡 裕美子 (サンプル) メンテナンス情報

サポート案件の検索

電話 (関連)

件名	通話元	通話先	関連	通信方向	電話番号	優先度	期限	状態	所有者
メンテナンスが必要 (サンプル)	清岡 裕美子 (サンプル)		メンテナンス	発信	03-2232-019x	低	2013/10/20	完了	システム 管理者

アクティブ

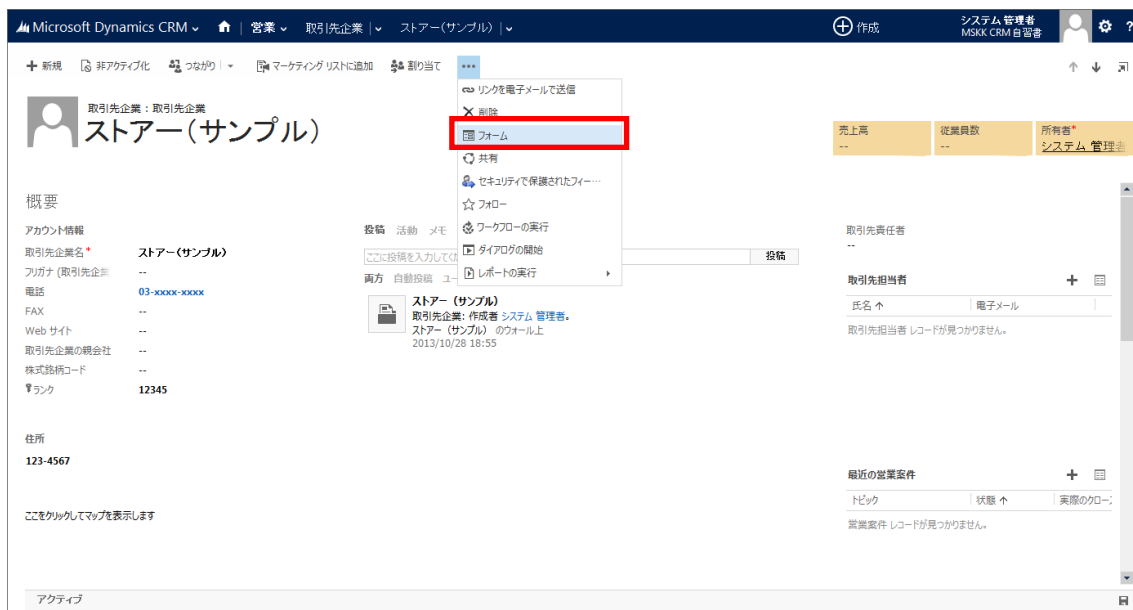
※ 既定のサンプルデータは“メンテナンス情報(サンプル)”に[電話]レコードが関連付けられておりません。上記図にあるデータは、[サブグリッド]の表示を確認していただくために、[既存の電話の追加]ボタンをクリックして追加したものです。

機能 5. 複数のフォーム

Dynamics CRM で1つのエンティティに対して、複数のフォームを作成して、ユーザーに割り当てられた[セキュリティロール]によって利用可能にすることができます。

以下、[取引先企業]エンティティに新しいフォームを1つ作成して、[顧客サービス課長]が割り当てられたユーザーが利用可能にする手順を確認していただきます。

1. いずれかの[取引先企業]レコードを参照する[フォーム]にて、コマンドバーの[フォーム]ボタンをクリックします。



2. フォームのカスタマイズ画面が開きます。必要な修正を加えて、[ファイル名をつけて保存]ボタンをクリックします。

※ この例では、[フリガナ(取引先企業名)]と[取引先企業名]のフィールドを読み取り専用に変更しました。

3. [ファイル名をつけて保存]ダイアログが表示されますが、以下のようにデータを入力して、[OK] ボタンをクリックします。

名前	情報(顧客サービス課長フォーム)
説明	顧客サービス課長がアクセスできるフォームです。

ファイル名を付けて保存

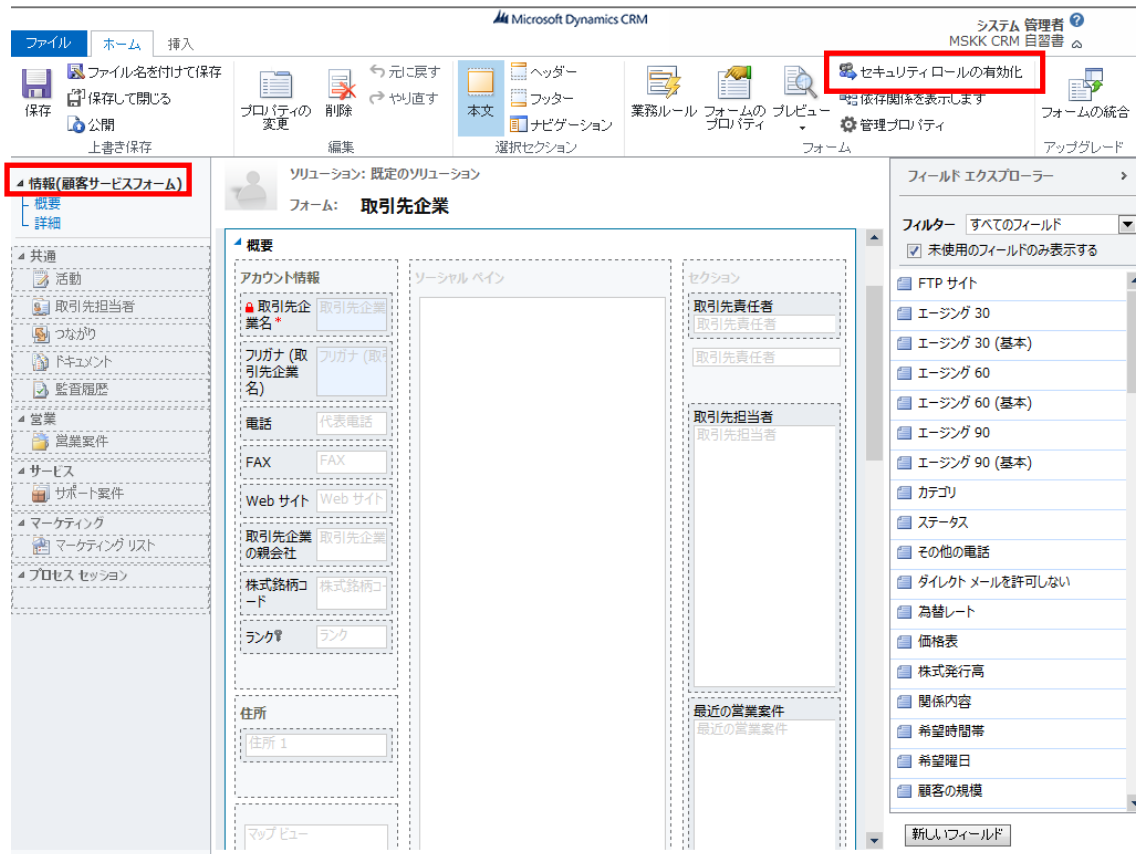
新しいフォームの名前と説明を入力します。

名前 *	情報(顧客サービスフォーム)
説明	顧客サービス課長がアクセスできるフォームです。

OK

キャンセル

4. 保存処理が完了した後、左上の[ナビゲーション]領域にあるフォーム名が新しくなることを確認します。次に、利用可能なセキュリティロールを設定するため、[セキュリティロールの割り当て]をクリックします。



5. [セキュリティロールの割り当て]ダイアログが表示されます。[顧客サービス課長]にチェックを追加した上、[OK] ボタンをクリックします。

セキュリティ ロールの割り当て: 情報(顧客サービスフォーム) ?

このフォームが表示されるセキュリティロールを選択します。

名前	部署
営業課長	首都圏本部
営業担当者	首都圏本部
営業担当副社長	首都圏本部
<input checked="" type="checkbox"/> 顧客サービス課長	首都圏本部
顧客サービス担当者	首都圏本部
最高経営責任者	首都圏本部
代理人	首都圏本部

1 - 17 / 17 (3 個選択済み)

フォールバック

☒ フォールバックとして有効

 このフォームは、明示的に割り当てられたフォームを持たないロールのユーザーに対して表示されます。

OK キャンセル

- ※ すべての完了した後、フォームのカスタマイズ画面で、[保存]と[公開]ボタンをクリックした上で、画面を閉じます。

6. カスタマイズを公開したあとに、もう一度どれかの[取引先企業]レコードを参照します。複数フォームをアクセスできるユーザーであれば、左上のナビゲーションメニューでフォームを選択できるようになります。



※ 上記は既存のフォームにある[ファイル名をつけて保存]ボタンをクリックすることによって新たにフォームを作成しました。その他に、コマンドバーの[エンティティのカスタマイズ]をクリックして、開く[ソリューション: 既定のソリューション]ダイアログからも新しいフォームを作成できます。

[ソリューション: 既定のソリューション]の左側のメニューから編集したいエンティティをクリックした上で、[フォーム]を選択すると[フォーム]の一覧画面が表示されます。フォームの新規作成は[新規]ボタンをクリックします。

ただし、この場合は空白のフォームからフィールドを配置する必要があります。

また、既存のフォームをクリックすることで、編集することができます。



※ フォームではこれまで紹介した機能以外にも、入力データによって動的な動作を定義する[業務ルール]、業務プロセス別での入力項目やステータスを変更可能とする[業務プロセスフロー]、旧バージョンのフォーム定義の内容を統合する[フォームの統合]が用意されています。これらの機能については、新機能編をご参照下さい。

機能 6. モバイル用フォーム

Dynamics CRM に対して、スマートフォンからアクセスする際の画面表示機能である Mobile Express に対するフォームを作成することができます。

以下、[取引先企業]エンティティのモバイル用フォームに項目を1つ追加する手順を確認していただきます。

1. [取引先企業]の[ビュー]にて、コマンドバーの[エンティティのカスタマイズ]ボタンをクリックし、[ソリューション: 既定のソリューション]の左側のメニューから[取引先企業]エンティティをクリックした上で、[フォーム]を選択します。フォームの種類が[モバイル]となっているレコードをクリックし、フォーム編集画面を開きます。

The screenshot shows the Dynamics CRM 'Forms' page for the 'Account' entity. The left sidebar lists various entities and forms. The main area displays a table of forms for the 'Account' entity. The 'Mobile' form is highlighted with a red box.

名前	フォームの状態	フォームの種類	状態	カスタマイズ可能...	説明
情報(顧客サービスフォーム)	アクティブ	メイン	アンマネージド	はい	顧客サービス課長がアクセスできる
取引先企業	アクティブ	メイン	マネージド	はい	既定の取引先企業フォームが更新
情報	アクティブ	モバイル	マネージド	はい	CRM Mobile アプリケーションに表
取引先企業の簡易作成	アクティブ	簡易作成	マネージド	はい	取引先企業用の既定の簡易作成
取引先企業カード	アクティブ	簡易表示フォーム	マネージド	はい	取引先企業カードを表示するフォー

1 - 5 / 5 (0 個選択済み)

2. [使用可能な属性]から[カテゴリ]を選択し、[追加]ボタンをクリックします。

ファイル 保存して開じる ファイル名を付けて保存 ロールの割り当て... フォームのプロパティ ヘルプ(H) ▾

モバイルのエンティティ: 取引先企業
使用可能な属性の一覧からフォーム上に表示する属性を選択します。選択された属性の一覧内で属性を上下に移動させて、表示の順序を設定します。

使用可能な属性		選択された属性
FAX	<div>追加(A) ></div> <div>すべて追加(L) >></div> <div>< 削除(R)</div> <div><< すべて削除(M)</div> <div>上へ移動(U)</div> <div>下へ移動(W)</div> <div>読み取り専用(Y)</div>	取引先企業名 *
FAX を許可しない		取引先責任者
FTP サイト		代表電話
インポート シーケンス番号		電子メール
エージング 30		Web サイト
エージング 30 (基本)		住所 1: 番地
エージング 60		住所 1: 建物名
エージング 60 (基本)		住所 1: 市区町村
エージング 90		住所 1: 都道府県
エージング 90 (基本)		住所 1: 郵便番号
カテゴリ	住所 1: 国/地域	
キャンペーン前回実行日	業種	
クレジットの留保	所有者 *	
ステータス	状態 *	
その他の電話		
ダイレクト メールを許可しない		
フリガナ (取引先企業名)		
マーケティング資料の送付		
ランク		
為替レート		
価格表		

※ モバイル用フォームでは、項目の並び順のみが変更できます。タブやスペーサーなどは使用できません。

3. [保存して閉じる]ボタンをクリックして、[すべてのカスタマイズの公開]ボタンで公開します。

4. スマートフォンなどで Dynamics CRM へアクセスしてログインを行うと、下記のような画面でメニューが表示されます。[取引先企業]を選択します。



※ PC のブラウザ上も下記の例の用に URL の末尾に ”/m/” を付与した URL にアクセスすることで、モバイル用フォームの画面を確認することができます。

例)PC でアクセスする場合の URL が ”<https://hoge hoge.crm5.dynamics.com>” の場合、モバイル用 URL は ”<https://hoge hoge.crm5.dynamics.com/m/>” となります。

5. 任意の取引先企業のレコードを選択します。



6. 先ほど追加した[カテゴリ]が表示されていることを確認します。このようにして、モバイル表示次に必要な項目の設定を行います。

The screenshot shows the MSKK CRM mobile app interface. At the top is a dark blue header with a white sailboat icon and the text 'MSKK CRM 自習書'. Below the header is a list of items, with '取引先企業' (Business Partner) selected and highlighted in orange. Underneath, the name 'ストアー(サンプル)' (Sample Store) is displayed. A table-like view follows, showing details for the selected business partner:

取引先企業名	ストアー(サンプル)
取引先責任者	早川 里美
代表電話	03-xxxx-xxxx
住所 1: 郵便番号	123-4567
所有者	システム 管理者 (ユーザー)
状態	アクティブ
カテゴリ	標準

The 'カテゴリ' (Category) row is highlighted with a red rectangular box. Below this table, there is a section titled '関連エンティティ' (Related Entities) showing a list of related items, including 'キャンペーン' (Campaign) with a megaphone icon. At the bottom of the screen, there are three icons: a pencil (edit), a trash can (delete), and a three-dot menu (more options).

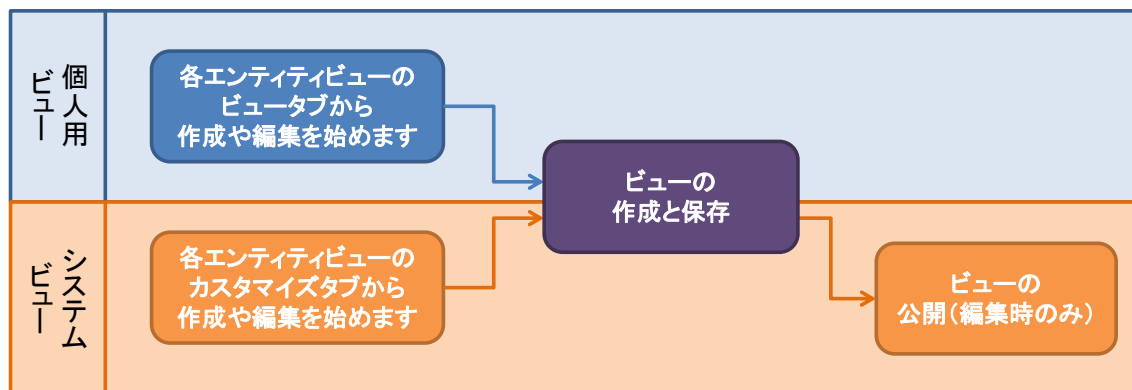
- ※ 値が格納されていない項目は表示されません。[ストアー(サンプル)]は初期状態では値は格納されていませんが、上記の画面例では画面へ[カテゴリ]を表示するために[標準]の値を設定しています。
- ※ タブレットからのアクセスでは、PC 上のブラウザとほぼ同等の画面構成で表示されます。また、一部タブレットでは Dynamics CRM 専用アプリも公開されています。

機能 7. ビュー

Dynamics CRM で、ビューは[個人用ビュー]と[システムビュー]に分けられています。

個人用ビューは既定で作成したユーザー自身しかアクセスすることができませんが、必要に応じて他のユーザーと共有することができます。システムビューは公開されると、全てのユーザーが利用することができます。

作成方法は似ておりますが、下記のイラストに示されているように相違点が2点あります。



1. スタートポイントが異なる

個人用ビューの場合は、各エンティティビューの表示画面で、[ビュー]から新規作成または既存ビューの変更を行います。

一方のシステムビューは各エンティティビューの表示画面で、コマンドバーの[新しいシステムビュー]から新規作成します。既存ビューの変更する場合は、コマンドバーの[システムビュー]から行います。。また、[ソリューション: 既定のソリューション]の画面からも行うことができます。

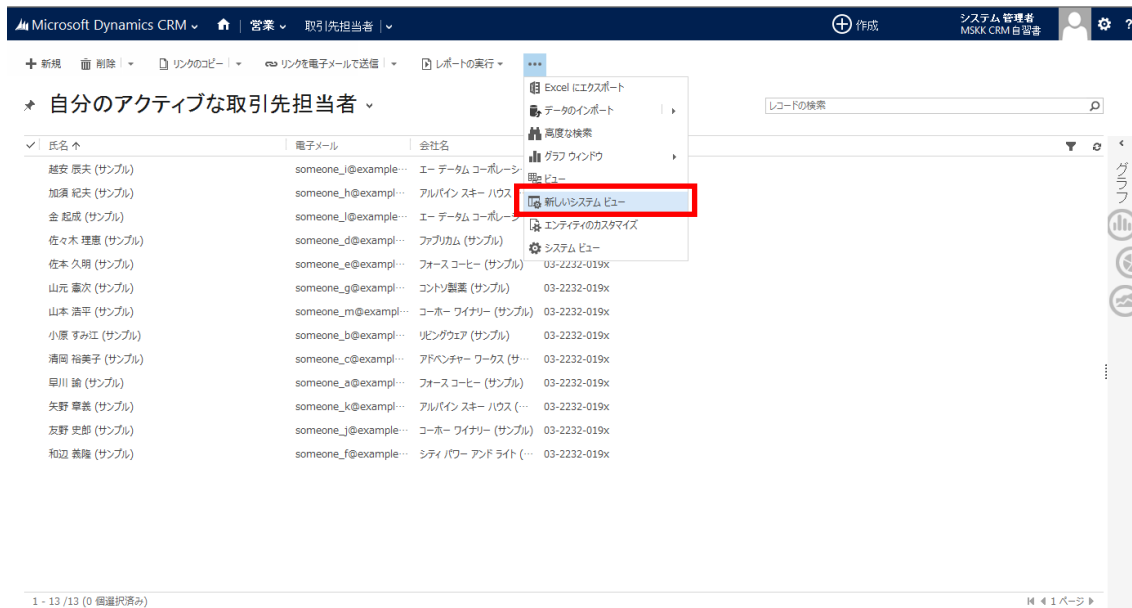
2. 公開が必要かどうか異なる

個人用ビューの場合は公開が必要ありません。保存したならすぐに利用できます。

一方のシステムビューは作成した後、公開して初めて組織の全員が利用出来るようになります。

以下、[取引先担当者]エンティティに、[役職]を表示する[システムビュー]を作成する事を例に、ビューの作成手順を確認していただきます。

1. [取引先担当者]画面で、コマンドバーの[新しいシステムビュー]をクリックします。



- ※ [新しいシステムビュー]は、[システム管理者]または[システム カスタマイザ]のセキュリティロール、あるいはこれらと同等の特権をもつユーザーでログインした場合に表示されます。
- ※ [取引先担当者]を例に手順を説明しますが、他のエンティティについても[新しいシステムビュー]をクリックすることで、新しいシステムビュー画面を開くことができます。

2. [ビューのプロパティ]ダイアログが表示されます。以下のように情報を入力して、[OK] ボタンをクリックします。

名前	アクティブな取引先担当者(役職表示)
説明	アクティブな取引先担当者を役職も含めて表示します。

このビューに情報を入力する

このビューの名前と説明を入力します。共有ビューでは、[表示] ボックスに名前が表示されます。

名前*

アクティブな取引先担当者(役職表示)

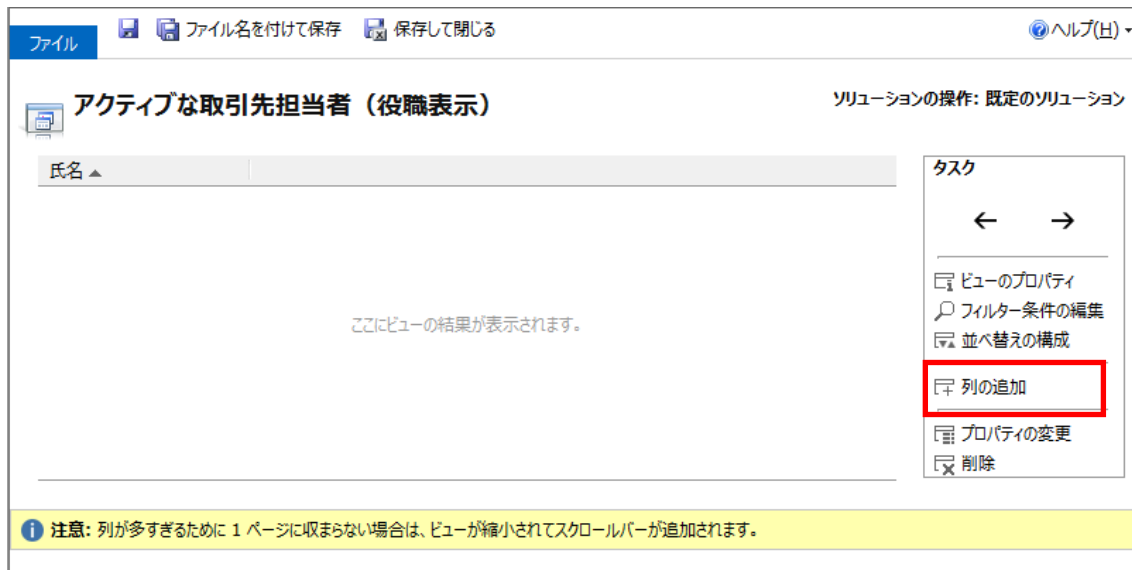
説明

アクティブな取引先担当者を役職も含めて表示します。

OK

キャンセル

3. [ビュー： 新規]ダイアログが表示されます。[列の追加]をクリックして、表示する列を追加します。



4. [列の追加]ダイアログが表示されます。下記の列をチェックして、[OK] ボタンをクリックします。

勤務先電話番号
役職

列の追加

×

このビューに追加する列を選択します。

レコードの種類

取引先担当者

<input type="checkbox"/> 表示名 ▲	名前	種類
<input checked="" type="checkbox"/> 役職	jobtitle	1行テキスト
<input type="checkbox"/> 優先するサービス	preferredserviceid	検索
<input type="checkbox"/> 優先するユーザー	preferredsystemuserid	検索
<input type="checkbox"/> 優先する設備/備品	preferredequipmentid	検索
<input type="checkbox"/> 優先する連絡方法	preferredcontactmetho...	オプション セット
<input type="checkbox"/> 郵便を許可しない	donotpostalmail	2つのオプション
<input type="checkbox"/> 利用限度額	creditlimit	通貨型
<input type="checkbox"/> 利用限度額 (基本)	creditlimit_base	通貨型

OK

キャンセル

5. 選択した列が追加されます。[勤務先電話番号]をクリックして、[プロパティの変更]をクリックして、幅を拡大します。

ファイル

ファイル名を付けて保存
保存して閉じる
ヘルプ(H)

アクティブな取引先担当者（役職表示）

ソリューションの操作: 既定のソリューション

氏名 ▲
勤務先電話番号…
役職

ここにビューの結果が表示されます。

タスク

← →

ビューのプロパティ

フィルター条件の編集

並べ替えの構成

列の追加

プロパティの変更

削除

注意: 列が多すぎるために 1 ページに収まらない場合は、ビューが縮小されてスクロールバーが追加されます。

62

6. [列のプロパティの変更]ダイアログが表示されます。列の幅を [150px] に選択した上で、[OK] ボタンをクリックします。



7. [勤務先電話番号]の幅が広がる事を確認します。レコードの絞り込み条件を設定するため、[フィルター条件の編集]をクリックします。

ファイル ファイル名を付けて保存 保存して閉じる ヘルプ(H) ▾

アクティブな取引先担当者（役職表示） ソリューションの操作: 既定のソリューション

氏名 ▲	勤務先電話番号	役職
ここにビューの結果が表示されます。		

タスク

← →

ビューのプロパティ

フィルター条件の編集

並べ替えの構成

列の追加

プロパティの変更

削除

注意: 列が多すぎるために 1 ページに収まらない場合は、ビューが縮小されてスクロールバーが追加されます。

※ これにて、取得及び表示する列の設定が完了しました。これ以降、レコードの絞り込み条件を設定します。

8. [フィルター条件の編集]ダイアログが表示されます。以下の条件を入力して、[OK] ボタンをクリックします。

状態	が次の値と等しい	アクティブ
----	----------	-------

フィルター条件の編集
このビューで使用するフィルターと検索条件を定義します。

クリア | グループ AND | グループ OR

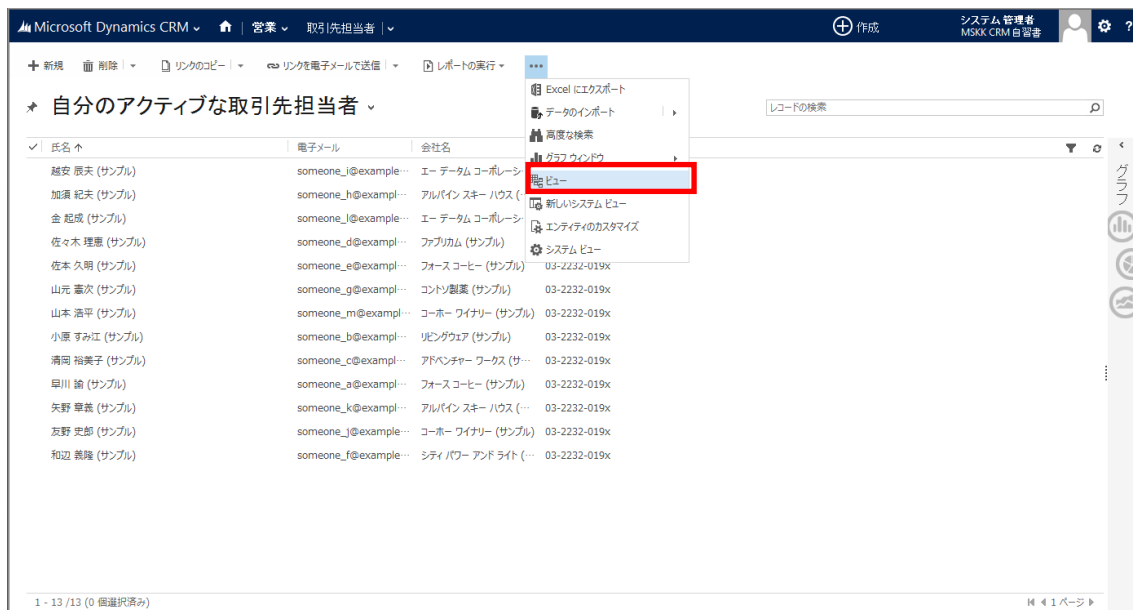
▼ 状態	が次の値と等しい	アクティブ	...
------	----------	-------	-----

[選択](#)

OK キャンセル

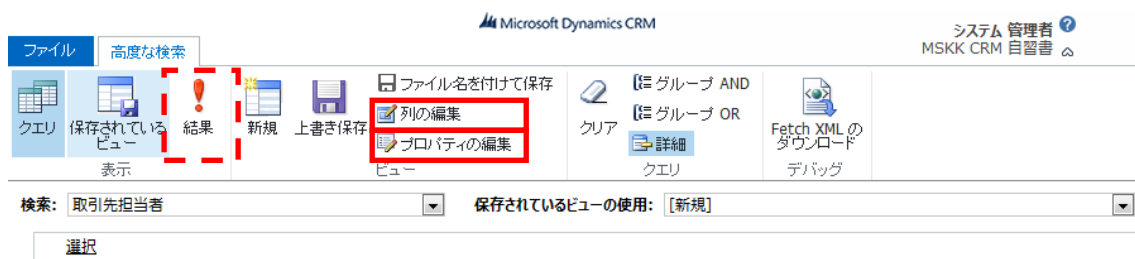
- ※ この条件では、現在アクティブなレコードが全て抽出されるようになります。
- ※ 複数の条件を設定した場合、全ての条件をみたすようなレコードが抽出されます。
- ※ より複雑な抽出条件を設定する場合は、[グループ AND] と [グループ OR] を利用します。

※ [個人用ビュー]の新規作成はコマンドバーの[ビュー]ボタンをクリックします。



- ※ [新しい個人用ビュー]ボタンをクリックしますと、[高度な検索]ダイアログが表示されます。
この画面で、レコードを絞り込むフィルター条件を設定します。列の編集やプロパティの編集はそれぞれのボタンで行います。

列の編集	ビューに表示する列、列の幅、列が表示される順序などを設定します。
プロパティの編集	ビューの名前と説明を編集します。



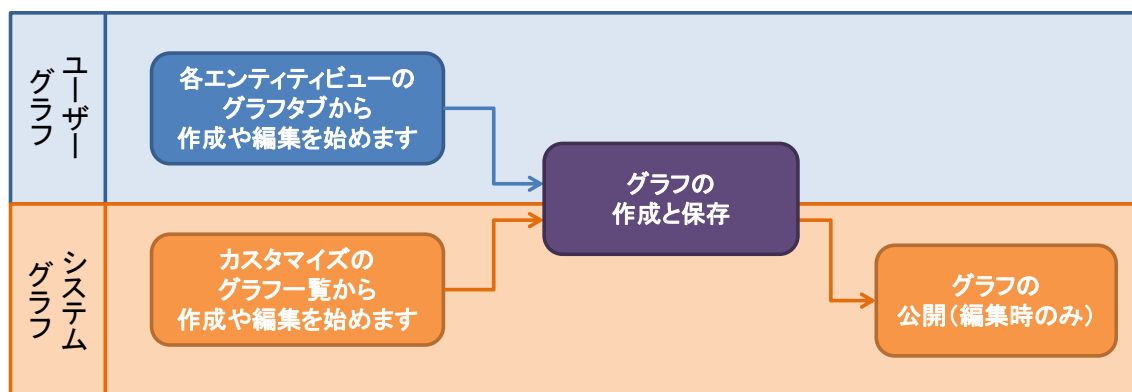
- ※ [結果]ボタンをクリックして、現在の設定でレコードを抽出して、表示する列を確認することができます。

機能 8. グラフ

[グラフ]を利用することで、エンティティのデータを一目瞭然に示すことができます。Dynamics CRM での[グラフ]は[ユーザーグラフ]と[システムグラフ]に分けられます。

ユーザーグラフは既定で自分自身しかアクセス出来ませんが、必要に応じて他のユーザーと共有することができます。システムグラフは公開されると全てのユーザーが利用できます。

作成方法は似ておりますが、下記のイラストに示されているように相違点が2点あります。



1. スタートポイントが異なる

ユーザーグラフの場合は、各エンティティのコマンドバーにある[グラフ]タブから、新規作成または既存グラフの変更を行います。

一方のシステムダッシュボードは[設定]にある[システムのカスタマイズ]画面から、グラフの作成や編集などのメンテナンス作業を行います。

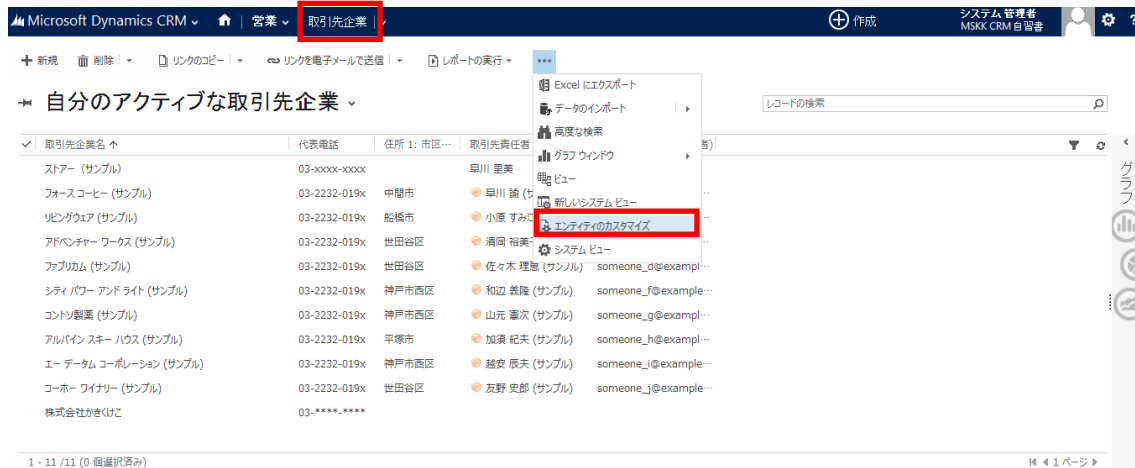
2. 公開が必要かどうか異なる

ユーザーグラフの場合は公開が必要ありません。保存したならすぐに利用できます。

一方のシステムグラフは既存のものを編集した場合でも、公開して初めて組織の全員が新しいグラフを利用出来るようになります。

以下、システムグラフの作成手順を確認していただきます。この例では、[取引先企業]を都道府県別に企業数を集計したものを、縦棒グラフにて表示します。

1. [営業]→[取引先企業] →[...]の順にクリックし、[エンティティのカスタマイズ]が表示されますので、それをクリックします。



※ [エンティティのカスタマイズ]は、[システム管理者]または[システム カスタマイザ]のセキュリティロール、あるいはこれらと同等の特権をもつユーザーでログインした場合に表示されます。

※ [取引先企業]を例に手順を説明しますが、他のエンティティについても一覧画面のコマンドバーにある[エンティティのカスタマイズ]をクリックすることで、エンティティのカスタマイズ画面を開くことができます。

2. [ソリューション: 既定のソリューション]ダイアログが表示されます。左側のメニューにある[取引先企業]の配下にある[グラフ]をクリックすると、右側にグラフの一覧が表示されます。
[新規]ボタンをクリックして、新たに[グラフ]を作成します。



※ 既存のグラフはクリックして編集することができます。

3. [グラフ:新規]ダイアログが表示されます。以下のようにデータを入力して、[保存して閉じる]ボタンをクリックします。

項目	値	説明
グラフ名	都道府県別取引先企業数	グラフの名前を入力します。
凡例エントリ(系列) (エンティティ)	取引先企業名	集計対象の列を選択します。
凡例エントリ(系列) (集計)	件数: すべて	集計方法を選択します。
横(カテゴリ)軸のラベル	住所 1: 都道府県	集計のカテゴリを選択します。
説明	都道府県別取引先企業数を集計します。	グラフに対しての説明を入力します。

Microsoft Dynamics CRM

システム 管理者 ?
MSKK CRM 自習書

ファイル

ホーム

上書き保存

保存して閉じる

ファイル名を付けて保存

縦棒

折れ線

横棒

円

面

じょうご

グラフ

上位 X ルール

下位 X ルール

ルールのクリア

上位/下位ルール

上書き保存

ソリューションの操作: 既定のソリューション

グラフのプレビューで使用するビュー

自分のアクティブな取引先企業

都道府県別取引先企業数

住所 1: 都道府県	件数
(空)	2
神奈川県	1
千葉県	4
東京都	1
兵庫県	3

凡例エントリ (系列)

☐ 取引先企業名

+ 系列を追加します

横 (カテゴリ) 軸のラベル

住所 1: 都道府県

+ カテゴリを追加します

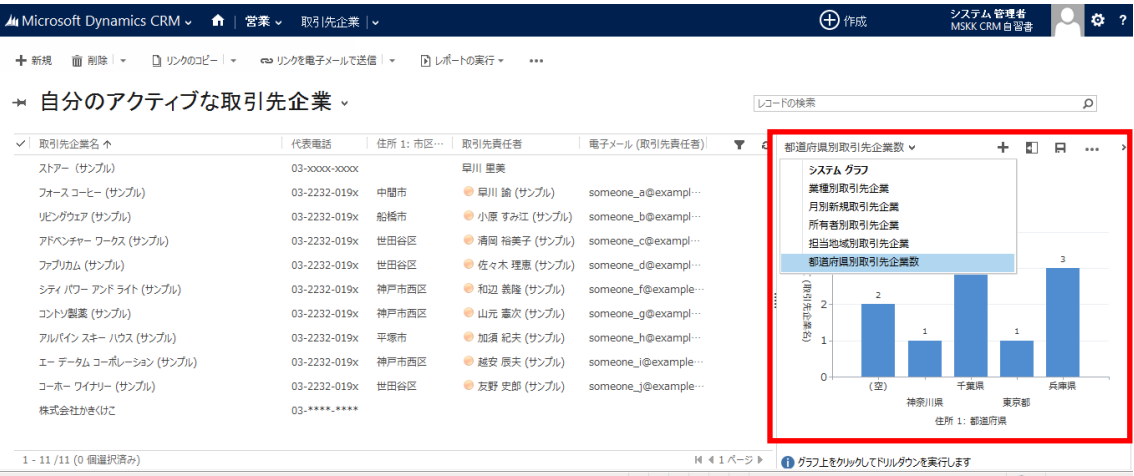
説明

都道府県別に企業件数を集計します。

- ※ [グラフのプレビューで使用するビュー]ドロップダウンリストで選ぶビューはあくまでもグラフの作成画面においてのみ有効です。エンドユーザーがグラフを利用するときに、画面に表示されているレコードにてグラフが生成されます。
- ※ Visual Studio などの開発ツールを利用すれば、高度なグラフを作成することができます。
- ※ 高度なグラフを作成する方法が SDK (英語) に記載されています。詳細はこちらをご参照ください。 SDK は下記のリンクからダウンロード可能です。

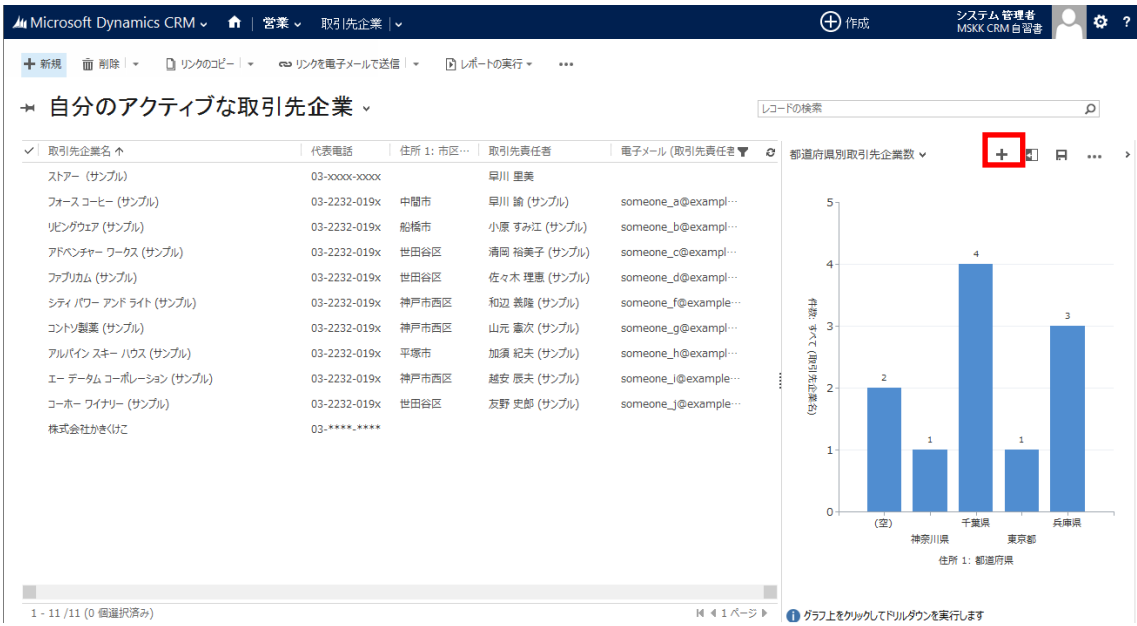
タイトル	Microsoft Dynamics CRM 2013 Software Development Kit (SDK)
URL	http://www.microsoft.com/en-us/download/details.aspx?id=40321

4. [取引先企業]の一覧画面から、“都道府県別取引先企業数”のグラフを選択すると、下図のように表示されます。



※ 既存のシステムグラフを編集した場合は、それを公開することにより、エンドユーザーが変更を利用出来るようになります。

※ [ユーザーグラフ]を作成する場合は、[グラフウィンドウ]内の[+]をクリックすると、新しいグラフを作成できます。



※ [取引先企業]エンティティを例にあげていますが、他のエンティティについても同様な手順で[+]のボタンが表示されます。

※ **[+]**ボタンをクリックすると、画面の右側に**[グラフデザイナー]**が表示されます。必要な情報を入力することができます。

Microsoft Dynamics CRM

営業

取引先企業

作成

システム 管理者
MSKK CRM 管理者

新規

削除

リンクのコピー

リンクを電子メールで送信

レポートの実行

自分のアクティブな取引先企業

取引先企業名

代表電話

住所 1: 市区...

取引先責任者

電子メール (取引先責任者)

ストアー (サンプル)	03-xxxx-xxxx		早川 聖美	
フォース コーヒー (サンプル)	03-2232-019x	中野市	早川 諭 (サンプル)	someone_a@example...
リビングウェア (サンプル)	03-2232-019x	船橋市	小原 すみ江 (サンプル)	someone_b@example...
アドベンチャー ワークス (サンプル)	03-2232-019x	世田谷区	清岡 裕美子 (サンプル)	someone_c@example...
フアリカム (サンプル)	03-2232-019x	世田谷区	佐々木 理恵 (サンプル)	someone_d@example...
シティ パワー アンド ライト (サンプル)	03-2232-019x	神戸市西区	和辺 義隆 (サンプル)	someone_f@example...
コントリ製菓 (サンプル)	03-2232-019x	神戸市西区	山元 憲次 (サンプル)	someone_g@example...
アルパイン スキー ハウス (サンプル)	03-2232-019x	平塚市	加瀬 紀夫 (サンプル)	someone_h@example...
エー データム コーポレーション (サンプル)	03-2232-019x	神戸市西区	越安 辰夫 (サンプル)	someone_i@example...
コーポー ワイナリー (サンプル)	03-2232-019x	世田谷区	友野 史郎 (サンプル)	someone_j@example...
株式会社かきけこ	03-****-****			

ここにグラフ名を入力してください

凡例エントリ (系列)
フィールドの選択 集計
+ 系列を追加します
横 (カテゴリ) 軸のラベル
フィールドの選択
+ カテゴリを追加します
説明

1 - 11 / 11 (0 個選択済み)

1 ページ

グラフをプレビューするには、各系列およびカテゴリの値を選択してください。

演習 2. エンティティのカスタマイズ

Dynamics CRM は既存エンティティの属性変更、フィールド追加、新規エンティティの作成など様々なカスタマイズをサポートしています。

◆ 演習のゴール

Dynamics CRM の以下の機能を理解します。

- エンティティとその関連付け
- エンティティのフィールド

1. 入力拡張

演習1: 画面のカスタマイズ

演習2: エンティティのカスタマイズ



Dynamics CRM Online で
社員の作業報告を管理したい。



[取引先企業]の名称を
“顧客企業”に変更したい。



※ Dynamics CRM online で作成できるカスタムエンティティの数は 300 以下と制限があります。

◆ 用語説明

演習 2 で使用する用語について説明します。

[エンティティ]

エンティティとは Dynamics CRM で管理するデータの種類の種類です。

例えば、[取引先企業]エンティティで企業情報が管理されます。

[フィールド]

フィールドとは、それぞれのエンティティについて、管理するデータ項目です。

例えば、[取引先企業名]や[代表電話]などは[取引先企業]のフィールドとして管理されます。

[ビルトイン エンティティ]

Dynamics CRM に最初からあるエンティティのことを指します。

例えば、[取引先企業]、[取引先担当者]などです。

[カスタム エンティティ]

Dynamics CRM に最初にはなく、利用者が後から追加したエンティティのことを指します。

例えば、本自習書での例にて作成する[週報]エンティティなどです。

[カスタム可能 エンティティ]

ユーザーがカスタマイズをすることができるエンティティです。

機能 1. エンティティの追加

Dynamics CRM で新たにカスタムエンティティを作成して、管理するデータの種類を増やすことができます。

以下、新たに“週報”エンティティを作成することを例に、カスタムエンティティを追加する手順を確認していただきます。ただし、ここで作成する“週報”エンティティは“開始日”と“総括”のフィールドを持ち、ユーザーが週間報告を記載するものと想定しています。

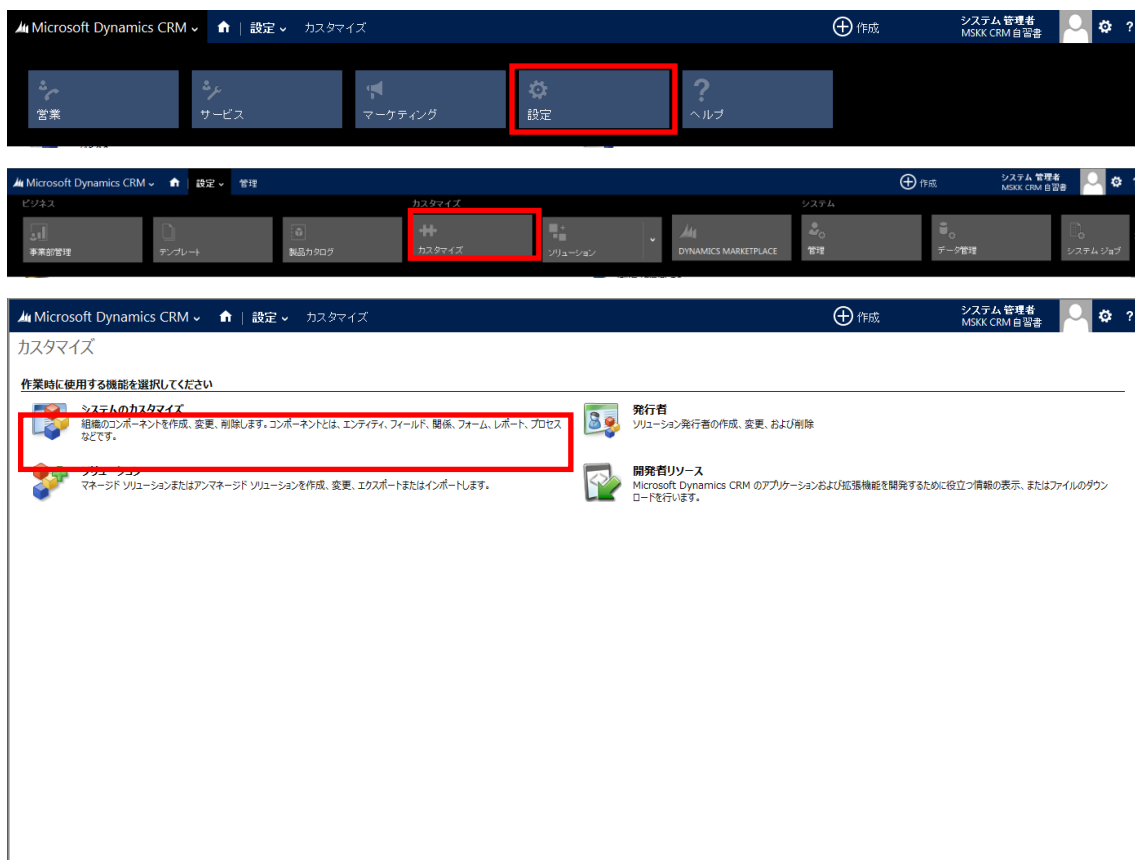
作成手順として、まずエンティティを作成します。

次にエンティティのフィールドを定義します。

最後にフィールドを常時表示するようにフォームを編集して、エンティティを公開します。

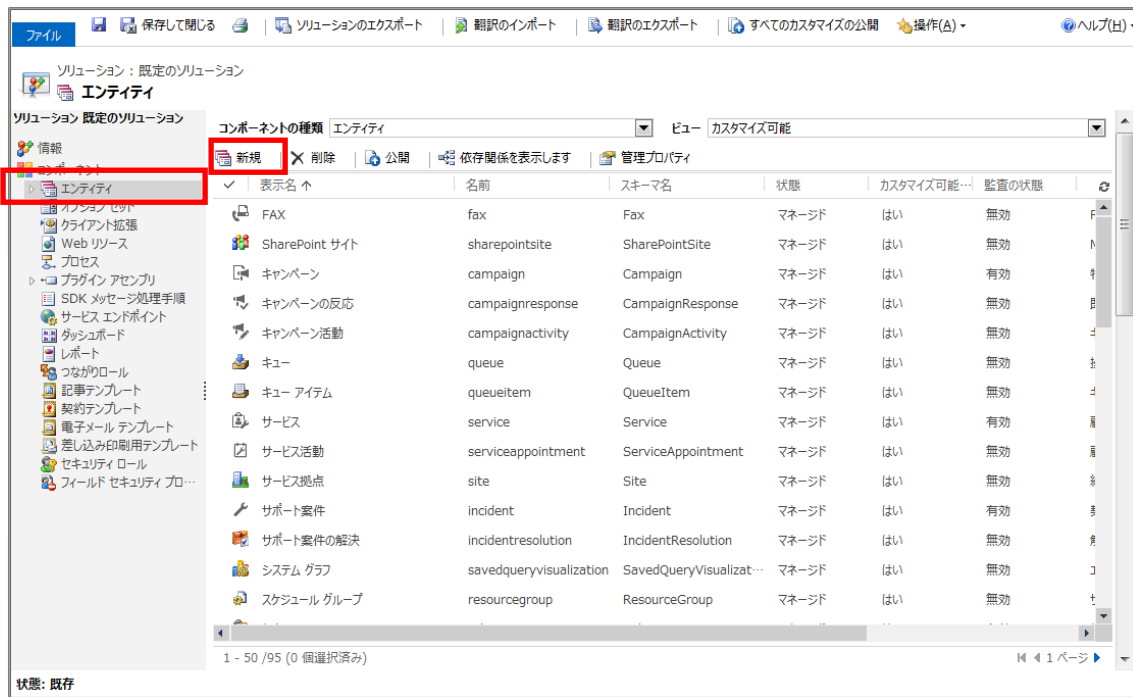
※ Dynamics CRM online において追加で作成できるエンティティの数に制限があります。
300 個が上限です。

1. [設定]→[カスタマイズ]の順にクリックすると、[システムのカスタマイズ]アイコンが表示されます。それをクリックします。



※ [エンティティのカスタマイズ]は、[システム管理者]または[システム カスタマイザ]のセキュリティロール、あるいはこれらと同等の特権をもつユーザーでログインした場合に表示されます。

2. [ソリューション: 既定のソリューション]ダイアログが開きます。左側のメニューにある[エンティティ]をクリックすると、右側にエンティティの一覧が表示されます。[新規]ボタンをクリックします。



3. [エンティティ: 新規]画面が開きます。以下のようにデータを入力して、[保存]ボタンをクリックします。

項目	値	説明
表示名	週報	画面に表示される名称です。
複数名	週報	他のエンティティと N:1 関連または N:N 関連が設けられたときに、関連メニューに表示するように選択できます。
名前	weekly_report	エンティティの名前です。
説明	一週間の活動総括を入力します。	エンティティの説明を入力します。
このエンティティが表示される領域	営業	エンティティを表示する領域を設定します。チェックした領域の最下位にエンティティが表示されます。

ファイル 保存して閉じる ヘルプ(H)

新規 情報

ソリューションの操作: 既定のソリューション

全般 プライマリフィールド

エンティティの定義

表示名* 週報 企業形態* ユーザーまたはチーム

複数名* 週報 ☐ 活動エンティティとして定義します。

名前* new_weekly_report ☒ 活動メニューに表示する

プライマリイメージ [なし]

説明 一週間の活動総括を入力します。

このエンティティが表示される領域

☒ 営業 ☐ サービス ☐ マーケティング ☐ 設定

☐ ヘルプ

エンティティのオプション

プロセス

☐ 業務プロセスフロー (フィールドが作成されます) †

通信および共同作業

☒ メモ (添付ファイルを含む) †

☒ 活動 †

☒ 接続 †

☐ 電子メールの送信 (電子メール フィールドがない場合は、作成されます) †

☒ 差し込み印刷

☐ ドキュメント管理

☐ アクセス チーム

※ [プライマリ フィールド]タブでは、このエンティティの見出しとなるフィールドを定義します。種類は 1 行テキスト固定ですが、表示名、名前を任意の値に変更することができます。尚、エンティティ保存後は変更できないため、保存前に変更する必要があります。

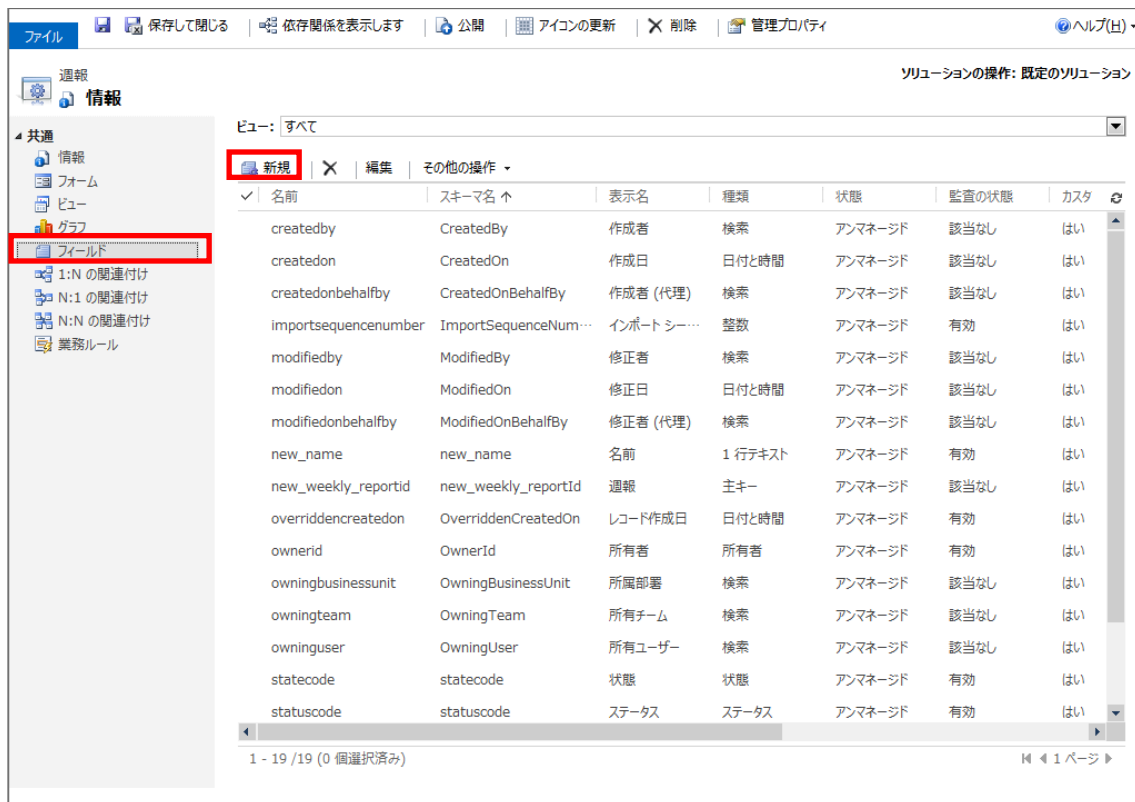
※ エンティティの新規画面から多くの設定を行うことができます。よく使われるものの詳細は下表に記載します。

セクション	項目	説明
エンティティの定義	活動エンティティとして定義します。	活動エンティティとは所有者が活動で使われるデータを管理するエンティティです。例えば、テキストメッセージ(SMS)またはインスタントメッセージ(IM)を管理する場合はカスタムの活動エンティティを作成する必要があります。
エンティティのオプション(データサービス)	重複データ検出	重複データの検出を利用出来るかどうかを設定します。
	監査	このエンティティに対して監査を行うかどうかを設定します。ただし、実際に監査を行うためには、システムレベルで監査を有効にする必要があります。

※ ビルトインエンティティの場合は、一部変更できない属性があります。

※ これにて、エンティティの作成が完了しました。これ以降で、フィールドを定義します。

4. 保存処理が完了すると、左側の[共通]メニューの内容がクリック可能となります。[フィールド]をクリックすると、右側にフィールドの一覧が表示されます。[新規]ボタンをクリックします。



ビュー: すべて

新規 × 編集 その他の操作

名前	スキーマ名	表示名	種類	状態	監査の状態	カスタ
createdby	CreatedBy	作成者	検索	アンマネージド	該当なし	はい
createdon	CreatedOn	作成日	日付と時間	アンマネージド	該当なし	はい
createdonbehalfby	CreatedOnBehalfBy	作成者 (代理)	検索	アンマネージド	該当なし	はい
importsequencenumber	ImportSequenceNum...	インポートシー...	整数	アンマネージド	有効	はい
modifiedby	ModifiedBy	修正者	検索	アンマネージド	該当なし	はい
modifiedon	ModifiedOn	修正日	日付と時間	アンマネージド	該当なし	はい
modifiedonbehalfby	ModifiedOnBehalfBy	修正者 (代理)	検索	アンマネージド	該当なし	はい
new_name	new_name	名前	1 行テキスト	アンマネージド	有効	はい
new_weekly_reportid	new_weekly_reportId	週報	主キー	アンマネージド	該当なし	はい
overriddencreatedon	OverriddenCreatedOn	レコード作成日	日付と時間	アンマネージド	有効	はい
ownerid	OwnerId	所有者	所有者	アンマネージド	有効	はい
owningbusinessunit	OwningBusinessUnit	所属部署	検索	アンマネージド	該当なし	はい
owningteam	OwningTeam	所有チーム	検索	アンマネージド	該当なし	はい
owninguser	OwningUser	所有ユーザー	検索	アンマネージド	該当なし	はい
statecode	statecode	状態	状態	アンマネージド	有効	はい
statuscode	statuscode	ステータス	ステータス	アンマネージド	有効	はい

1 - 19 / 19 (0 個選択済み) 1 ページ

※ エンティティを保存した後は、[アイコンの更新]ボタンが画面上部に新たに現れます。それをクリックして、独自のアイコンをアップロードして利用することができます。

5. [フィールド: 新規の週報]ダイアログが開きますので、“開始日”フィールドを追加します。以下のようにデータを入力して、[保存して閉じる]をクリックします。

表示名	開始日
フィールド要件	必須項目
名前	start_date
説明	週の開始日を設定します。
種類	日付と時間
形式	日付のみ

ファイル 保存して閉じる ヘルプ(H)

フィールド
新規の週報

ソリュージョンの操作: 既定のソリュージョン

全般

スキーマ

表示名 * 開始日 フィールド要件 * 必須項目

名前 * new_start_date 検索可能 はい

フィールド セキュリティ ☐ 有効にする ☒ 無効にする

監査 * ☒ 有効にする ☐ 無効にする

⚠ このフィールドを監査するには、このエンティティに対する監査を有効にする必要があります。

説明 週の開始日を設定します。

エンティティおよびフィールドとプログラムで対話する方法については、次を参照してください [Microsoft Dynamics CRM SDK](#)

種類 * 日付と時間

形式 * 日付のみ

IME モード * 自動

※ フィールド属性の詳細については「機能 3 フィールドの追加」(100 ページ)と「機能 4 フィールドの属性詳細」(105 ページ)をご参照ください。

6. “開始日”フィールドを追加したあと、“総括”フィールドを追加します。以下のようにデータを入力して、[保存して閉じる]をクリックします。

表示名	総括
フィールド要件	必須項目
名前	summary
説明	一週間の活動を総括して入力します。
種類	複数行テキスト
最大長	2,000

ファイル 保存して閉じる ヘルプ(H)

フィールド
新規の週報

ソリューションの操作: 既定のソリューション

全般

スキーマ

表示名 * 総括 フィールド要件 * 必須項目

名前 * new_summary 検索可能 はい

フィールド セキュリティ ☐ 有効にする ☒ 無効にする

監査 * ☒ 有効にする ☐ 無効にする

⚠ このフィールドを監査するには、このエンティティに対する監査を有効にする必要があります。

説明 一週間の活動を総括して入力します。

エンティティおよびフィールドとプログラムで対話する方法については、次を参照してください [Microsoft Dynamics CRM SDK](#)

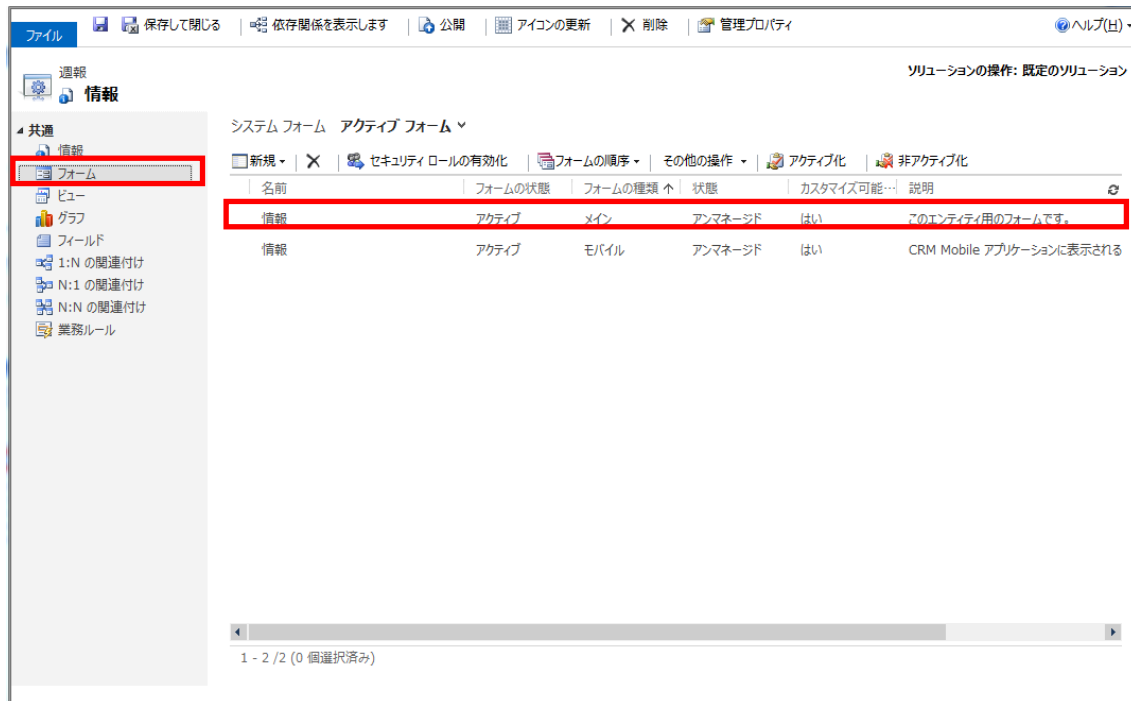
種類 複数行テキスト

最大長 * 2,000

IME モード * 自動

※ これにて、フィールドの定義が完了しました。これ以降、ユーザーが入力や参照ができるように、フィールドをフォームに配置します。

7. “開始日”や“総括”フィールドを作成した後、ユーザーが入力できるようにこれらのフィールドをフォームに配置します。左の[共通]メニューにある[フォーム]をクリックした上で、右側の[フォームの種類]が“メイン”になっている[情報]フォームをクリックします。



システム フォーム アクティブ フォーム

名前	フォームの状態	フォームの種類	状態	カスタマイズ可能	説明
情報	アクティブ	メイン	アンマネージド	はい	このエンティティ用のフォームです。
情報	アクティブ	モバイル	アンマネージド	はい	CRM Mobile アプリケーションに表示される

1 - 2 / 2 (0 個選択済み)

8. [情報]フォームにて、新しく“報告内容”を名前とした[タブ]を追加します。3 列の[セクション]を追加して、“開始日”フィールドを左側に配置します。その後、1 列の[セクション]を追加して、“総括”フィールドを配置します。配置した“総括”フィールドのプロパティを変更し、[形式]タブから、[行数]を“5”に指定します。追加するコンポーネントとその詳細は下表に示します。追加後のフォーム編集画面が、下図のように表示されます。最後に、[保存して閉じる]ボタンをクリックします。

追加するコンポーネント	詳細
タブ	<ul style="list-style-type: none"> 1 列のタブ 名前を“報告内容”に変更
セクション	<ul style="list-style-type: none"> 3 列のセクション
“開始日”フィールド	<ul style="list-style-type: none"> 3 列セクションの左側に配置
セクション	<ul style="list-style-type: none"> 1 列のセクション
“総括”フィールド	<ul style="list-style-type: none"> 1 列セクションに配置 行数を“5”に変更

※ フォームにフィールドを追加する詳細については「演習 1 画面のカスタマイズ」(5 ページ)をご参照ください。

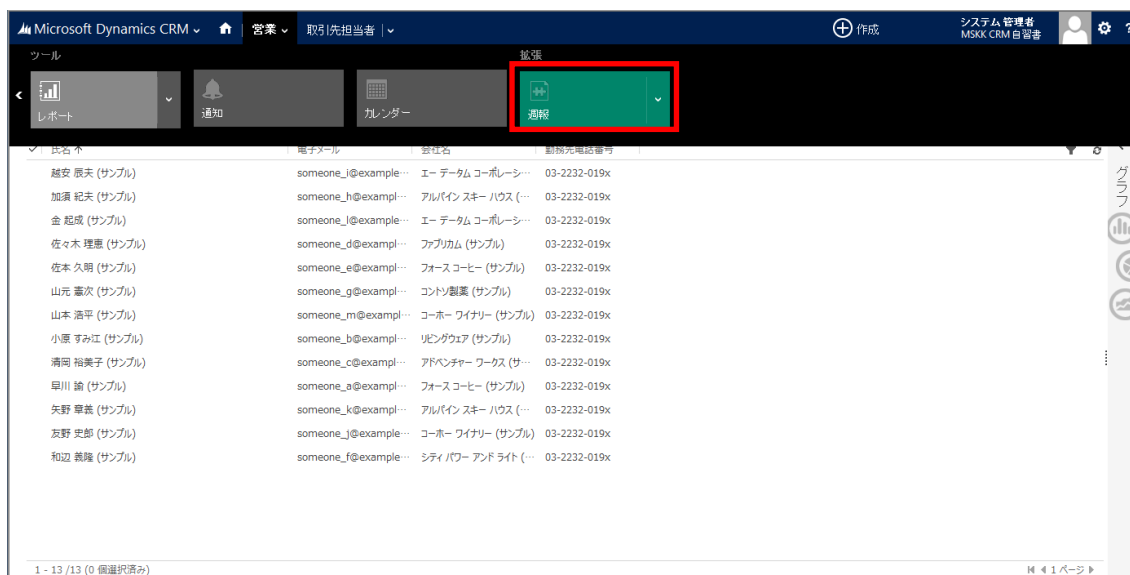
9. 全ての変更を実施した後、[公開]ボタンをクリックして、エンティティのカスタマイズを公開します。

The screenshot shows the Salesforce customization interface. The top navigation bar includes buttons for 'ファイル' (File), '保存して閉じる' (Save and Close), '依存関係を表示します' (Show Dependencies), '公開' (Publish), 'アイコンの更新' (Update Icons), '削除' (Delete), and '管理プロパティ' (Manage Properties). The '公開' button is highlighted with a red rectangle. Below the navigation bar, the left sidebar shows the '共通' (Common) section with options like '情報' (Info), 'フォーム' (Form), 'ビュー' (View), 'グラフ' (Graph), 'フィールド' (Field), '1:N の関連付け' (1:N Relationship), 'N:1 の関連付け' (N:1 Relationship), 'N:N の関連付け' (N:N Relationship), and '業務ルール' (Business Rule). The main area displays a table of forms under the 'アクティブ フォーム' (Active Forms) tab. The table has columns for '名前' (Name), 'フォームの状態' (Form Status), 'フォームの種類' (Form Type), '状態' (Status), 'カスタマイズ可能...' (Customizable...), and '説明' (Description). Two forms are listed: '情報' (Info) and '情報' (Info). The first form is 'アクティブ' (Active), 'メイン' (Main), 'アンマネージド' (Unmanaged), and 'はい' (Yes). The second form is 'アクティブ' (Active), 'モバイル' (Mobile), 'アンマネージド' (Unmanaged), and 'はい' (Yes). The description for the second form is 'CRM Mobile アプリケーションに表示される' (Displayed in CRM Mobile application).

名前	フォームの状態	フォームの種類	状態	カスタマイズ可能...	説明
情報	アクティブ	メイン	アンマネージド	はい	このエンティティ用のフォームです。
情報	アクティブ	モバイル	アンマネージド	はい	CRM Mobile アプリケーションに表示される

1 - 2 / 2 (0 個選択済み)

10. “週報”のカスタマイズを公開した後、[営業]のメニューを確認すると、新たに[拡張]タブが追加されて、その中に“週報”エンティティが表示されていることを確認します。



- ※ 公開後もカスタマイズが反映されない場合は、Internet Explorer の[最新の情報に更新 (F5)] をクリックするか、Internet Explorer を閉じてから開き直して、もう一度確認して下さい。
- ※ カスタムエンティティは必ず最下位に表示されます。カスタムエンティティの表示位置を調整したい場合は、“サイトマップ”を編集する必要があります。サイトマップの使用方法はステップアップ編をご参照下さい。

11. “週報”の一覧画面から、[新規]ボタンをクリックすると、下記のような“週報”の新規フォームが開きます。必要な情報を入力して、[保存して閉じる]をクリックして、動作を確認します。

名前	2 月第 2 週の週報
開始日	2013/02/14
総括	2 社のお客様に製品の詳細説明とデモを実施してきました。 そのうち、1 社がその資料を持って社内検討するそうですが、2 月 25 日(月)までに再度伺う予定です。 もう 1 社は残念ながら、すでに他社製品の購入が決まっているようでした。

上書き保存 + 新規 フォーム エディター

週報: 情報
新規週報

報告内容

開始日 * 2013/02/14

総括 * 2社のお客様に製品の詳細説明とデモを実施してきました。
そのうち、1社がその資料を持って社内検討するそうですが、2月25日(月)までに再度伺う予定です。
もう1社は残念ながら、すでに他社製品の購入が決まっているようでした。

アクティブ

以上で、新たにエンティティを作成して、それを編集する画面をカスタマイズする手順を確認していただきました。次節にて、エンティティ間の関連を設ける手順を確認していただきます。

機能 2. エンティティ間の関連付け

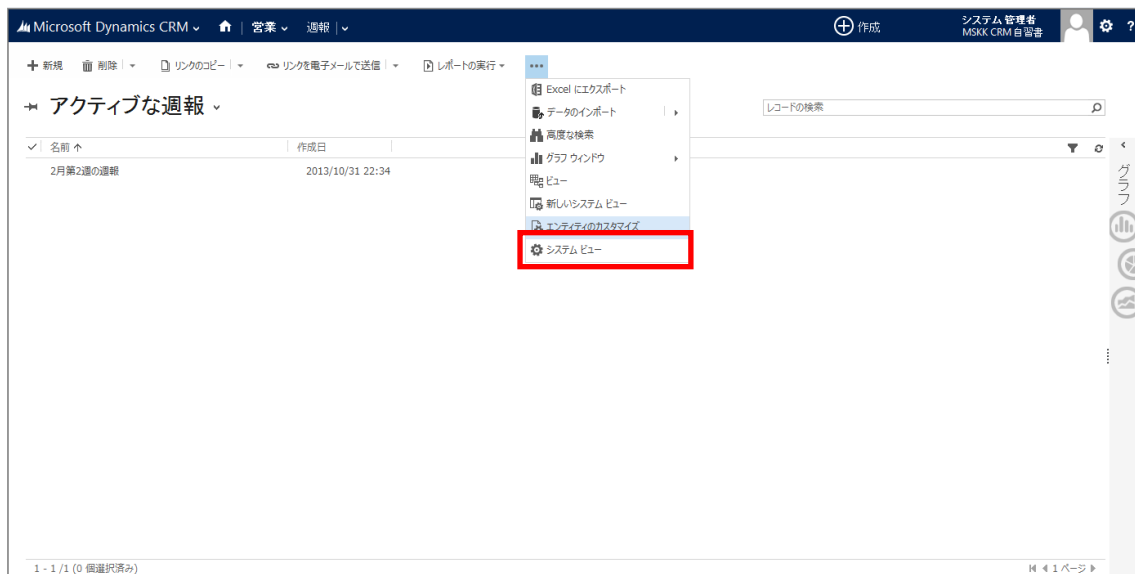
より業務の要件を実現するため、エンティティ間の関連付けを設定します。

以下、“週報”エンティティとユーザーの間に、N:1（多対一）の関連を設けることを例に、関連の設定方法を確認していただきます。ユーザーがこの関連を利用して、“週報”と報告先のユーザーを設定するものと想定しています。

手順としては、まず“週報”エンティティに [N:1 関連付け] を設けます。

次に新しい関連付けのフィールドをフォームに配置して、エンティティのカスタマイズを公開します。

1. “週報”の一覧画面から、コマンドバーの[エンティティのカスタマイズ]を選択します。



※ [エンティティのカスタマイズ]は、[システム管理者]または[システム カスタマイザ]のセキュリティロール、あるいはこれらと同等の特権をもつユーザーでログインした場合に表示されます。

2. [ソリューション: 既定のソリューション]ダイアログが開きます。左側のメニューにある“週報”の配下の [N:1 の関連付け]をクリックします。すると、右側に N:1 関連付けの一覧が表示されます。[新しい多対一関連付け]をクリックします。

ファイル | すべてのカスタマイズの公開 | ヘルプ(出)

週報

N:1 の関連付け

ソリューション 既定のソリューション

種類: すべて

新しい多対一関連付け X | その他の操作


スキーマ名 ↑	主エンティティ	関連エンティティ	動作の種類	フィールド名	
business_unit_new_w...	部署	週報	システム	所属部署	ア
lk_new_weekly_repor...	ユーザー	週報	システム	作成者	ア
lk_new_weekly_repor...	ユーザー	週報	システム	作成者 (代理)	ア
lk_new_weekly_repor...	ユーザー	週報	システム	修正者	ア
lk_new_weekly_repor...	ユーザー	週報	システム	修正者 (代理)	ア
owner_new_weekly_r...	所有者	週報	システム	所有者	ア
team_new_weekly_r...	チーム	週報	システム	所有チーム	ア
user_new_weekly_re...	ユーザー	週報	システム	所有ユーザー	ア

1 - 8 / 8 (0 個選択済み)

状態: 既存

3. [関連付け: 新規]ダイアログが開きます。以下のようにデータを入力して、[保存して閉じる] ボタンをクリックします。

項目	値	説明
主エンティティ (関連付けの定義)	ユーザー	N:1 関連で、“1” 側のエンティティを選択します。
関連エンティティ (関連付けの定義)	週報(変更不可)	N:1 関連で、“N” 側のエンティティを選択します。
表示名 (検索フィールド)	報告先	N:1 関連を定義すると、自動的にエンティティに検索フィールドが追加されますが、その検索フィールドの[表示名]と[名前]を定義します。
名前 (検索フィールド)	report_to	
フィールド要件 (検索フィールド)	必須項目	以下の 3 つから選択します。 ・ 制限しない ・ 必須項目 ・ 推奨項目
説明 (検索フィールド)	週報の報告先を入力します。	フィールドの説明を入力します。
表示オプション (主エンティティのナビゲーション項目)	カスタムラベルを使用する	以下の 3 つから選択します ・ 表示しない ・ カスタムラベルを使用する ・ 複数形の名前を使用する
カスタムラベル (主エンティティのナビゲーション項目)	部下の週報	[表示オプション]で[カスタムラベルを使用する]と選択した場合に、入力必須です。
表示領域 (主エンティティのナビゲーション項目)	詳細	以下の 4 つから選択します。 ・ 詳細 ・ 営業 ・ マーケティング ・ サービス

ファイル  ヘルプ(H) ▾

関連付け **新規**

ソリューションの操作: 既定のソリューション

全般

関連付けの定義

主エンティティ* ユーザー 関連エンティティ* 週報

名前* new_systemuser_new_weekly_report

検索可能 はい

検索フィールド

表示名* 報告先 名前* new_report_to

フィールド要件* 必須項目

説明 週報の報告先を入力します。

主エンティティのナビゲーションウィンドウ項目

表示オプション* カスタム ラベルを使用する カスタム ラベル* 部下の週報

表示領域* 詳細 表示順序* 10,000

関連付け動作

動作の種類* 参照

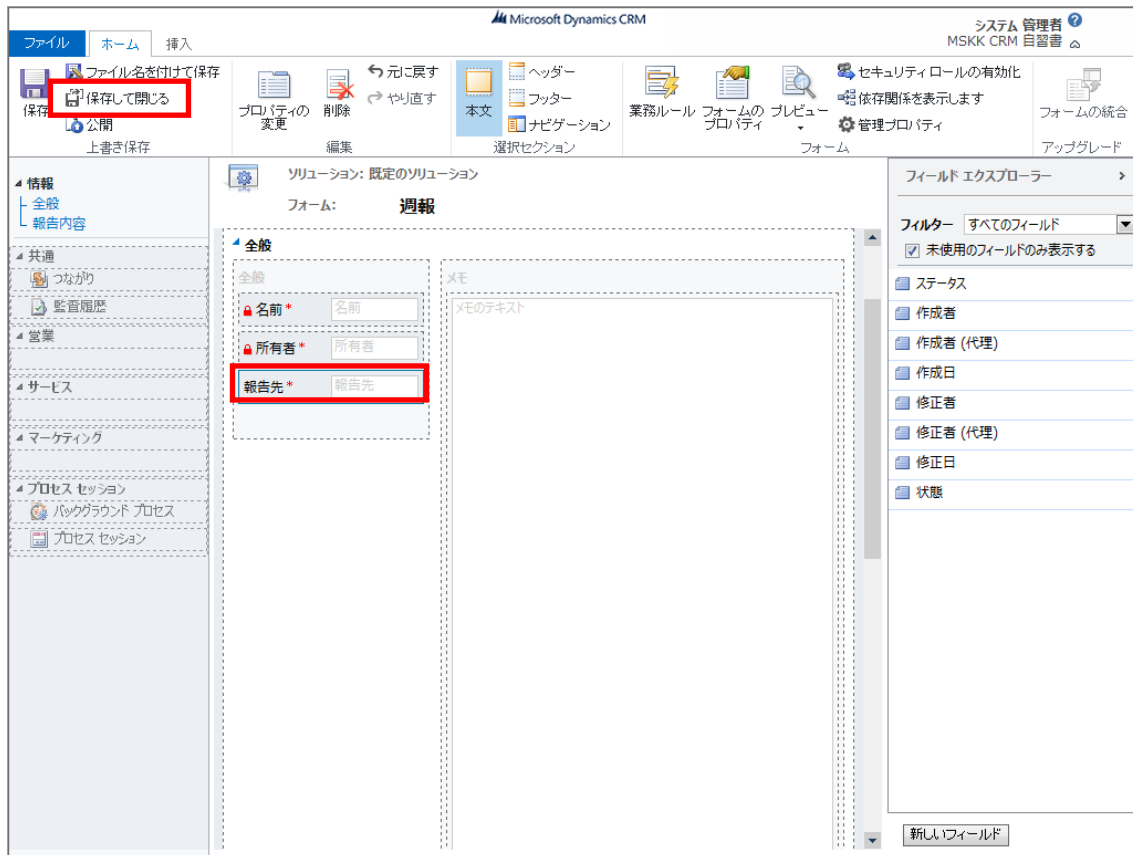
割り当て* 伝播しない リバレント* 伝播しない

共有* 伝播しない 削除* 関連付けの解除

共有の解除* 伝播しない 重複レコードの統合* 伝播しない

※ これにて、関連付けの定義が完了しました。これ以降、関連付けのフィールドをフォームに配置します。

4. N:1 関連付けを登録した後、[フォーム]のカスタマイズ画面を開き、[報告先]フィールドをフォームに配置します。



※ [フォーム]のカスタマイズ画面を開くには、[ソリューション：既定のソリューション]ダイアログの左側メニューから、[週報]配下のフォームをクリックした上、右側メニューから[フォームの種類]が“メイン”の“情報”フォームをクリックします。

5. [フォーム]のカスタマイズが完了した後、[ソリューション：既定のソリューション]ダイアログから、左側メニューにある[週報]をクリックした上、[公開]をクリックします。



6. カスタマイズを[公開]したあとに、“2 月第 2 週の週報”を開いて確認します。[報告先]フィールドが新たに作成されており、ユーザーとの関連付けが可能となります。



- ※ 新しいビューを作成することによって、ログインユーザー自身自身が[報告先]として設定された週報を一覧表示することができます。[ビュー]の作成方法については「機能 7 ビュー」(57 ページ)をご参照ください。

※ [週報]エンティティの [N:1 関連]として登録しましたが、同関連は[ユーザー]エンティティの [1:N 関連]としても登録されます。

ファイル | すべてのカスタマイズの公開 | ヘルプ(H) -

ユーザー
1:N の関連付け

ソリューション 既定のソリューション

種類: すべて

新しい一対多関連付け | ✕ | その他の操作

スキーマ名 ↑	主エンティティ	関連エンティティ	動作の種類	フィールド名
modifiedonbehalfby_attributemap	ユーザー	属性マップ	システム	
modifiedonbehalfby_customer_...	ユーザー	顧客間関係	システム	修正者 (代理)
msdyn_systemuser_wallsavedq...	ユーザー	フィルター	参照	ユーザー ID
multientitysearch_createdby	ユーザー	MultiEntitySearch	システム	作成者
multientitysearch_createdonbe...	ユーザー	MultiEntitySearch	システム	作成者 (代理)
multientitysearch_modifiedby	ユーザー	MultiEntitySearch	システム	修正者
multientitysearch_modifiedonb...	ユーザー	MultiEntitySearch	システム	修正者 (代理)
new_systemuser_new_weekly_...	ユーザー	週報	参照	報告先
opportunity_owning_user	ユーザー	営業案件	システム	所有ユーザー
OwnerMapping_SystemUser	ユーザー	所有者マッピング	システム	ターゲット シス
queue_primary_user	ユーザー	キュー	システム	所有者 (削除)
sup_principalid_systemuser	ユーザー	システム ユーザー プリンシ...	システム	
system_user_accounts	ユーザー	取引先企業	システム	発生ユーザー

1 - 772 / 772 (0 個選択済み)

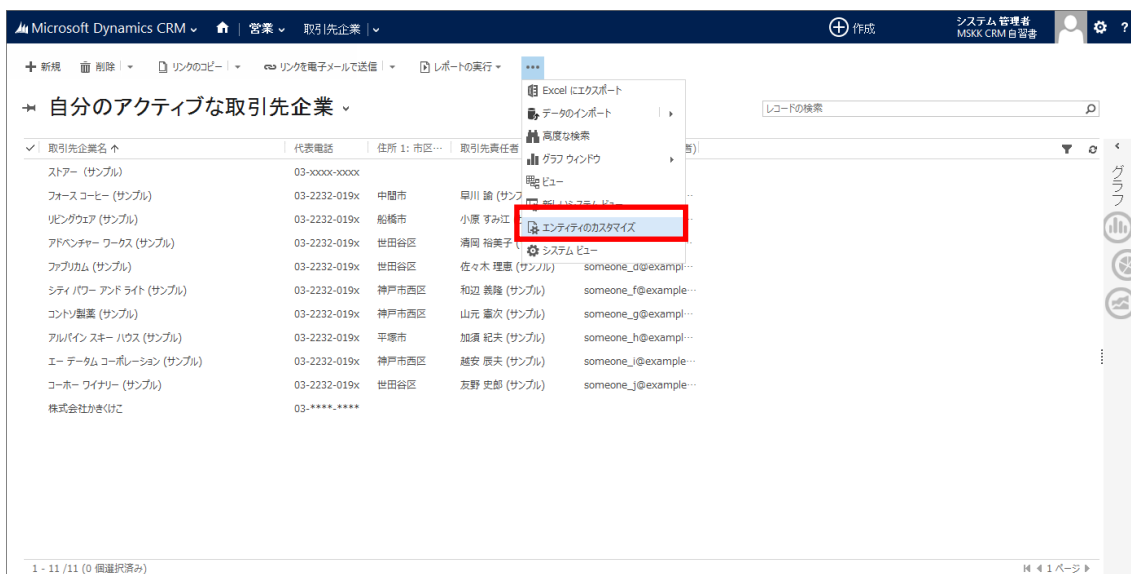
状態: 既存

機能 3. フィールドの追加

本節でフィールドの属性を確認していただくとともに、既存エンティティにフィールドを追加する手順を確認していただきます。

システムをカスタマイズする特権を持っているユーザーにてログインし、[取引先企業]エンティティに[昨年度取引金額実績]フィールドを追加する事を例に、フィールドのカスタマイズ手順を確認していただきます。

1. [営業]→[取引先企業]の順にクリックすると、コマンドバーに[エンティティのカスタマイズ]が表示されますので、それをクリックします。



※ [エンティティのカスタマイズ]は、[システム管理者]または[システム カスタマイザ]のセキュリティロール、あるいはこれらと同等の特権をもつユーザーでログインした場合に表示されます。

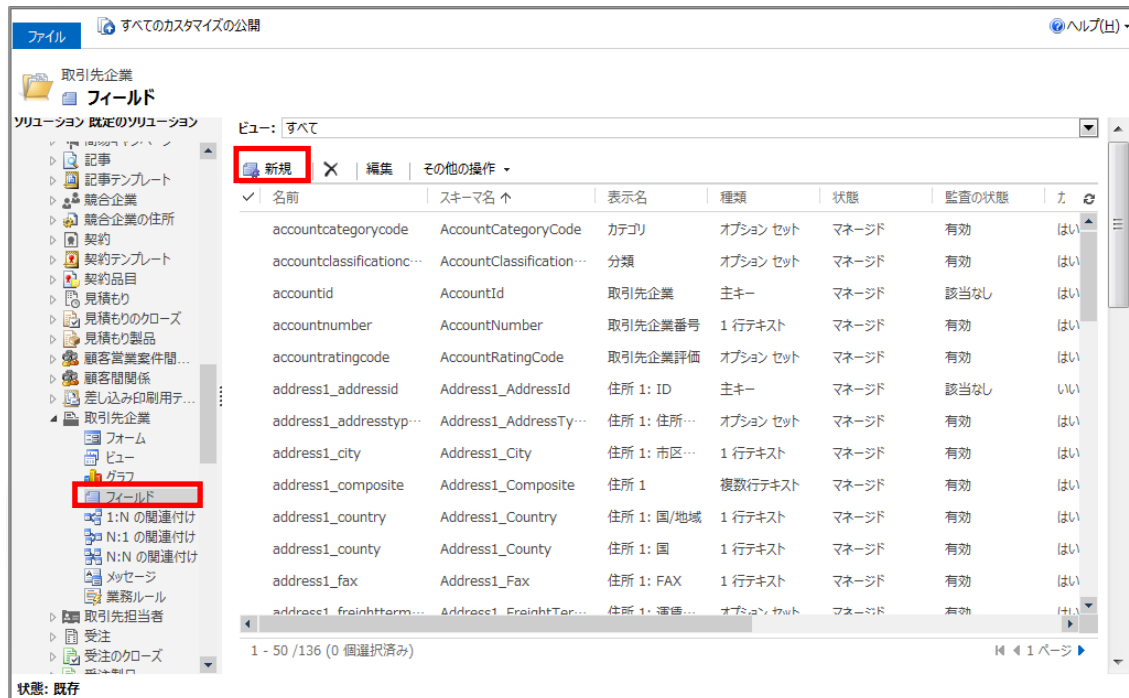
※ [営業]にある[取引先企業]を例に手順を説明しますが、他のエンティティについても一覧画面、または詳細画面のコマンドバーにある[エンティティのカスタマイズ]をクリックすることで、エンティティのカスタマイズ画面を開くことができます。

2. [エンティティのカスタマイズ]アイコンをクリックすると、下記のようなエンティティ情報を表示する画面が開きます。[取引先企業]が選択された状態で画面が表示されます。



※ エンティティの情報では、左側にシステムに登録されているエンティティが一覧されます。右側に選択エンティティの詳細情報が表示されます。

3. [取引先企業]にある[フィールド]をクリックすると、フィールド一覧が表示されます。[新規]ボタンをクリックして、新規フィールドの作成画面を開きます。



- ※ 既定では全てのフィールドが表示されますが、[ビュー]を選択することによって、[カスタム]フィールドのみ、または[カスタマイズ可能]フィールドのみを表示することができます。
- ※ フィールドの一覧画面は 1 ページに 50 件のレコードが表示されるようにページ分け処理がなされています。
- ※ 各列のヘッダーをクリックすると、その列の内容でレコードを整理して表示することができます。

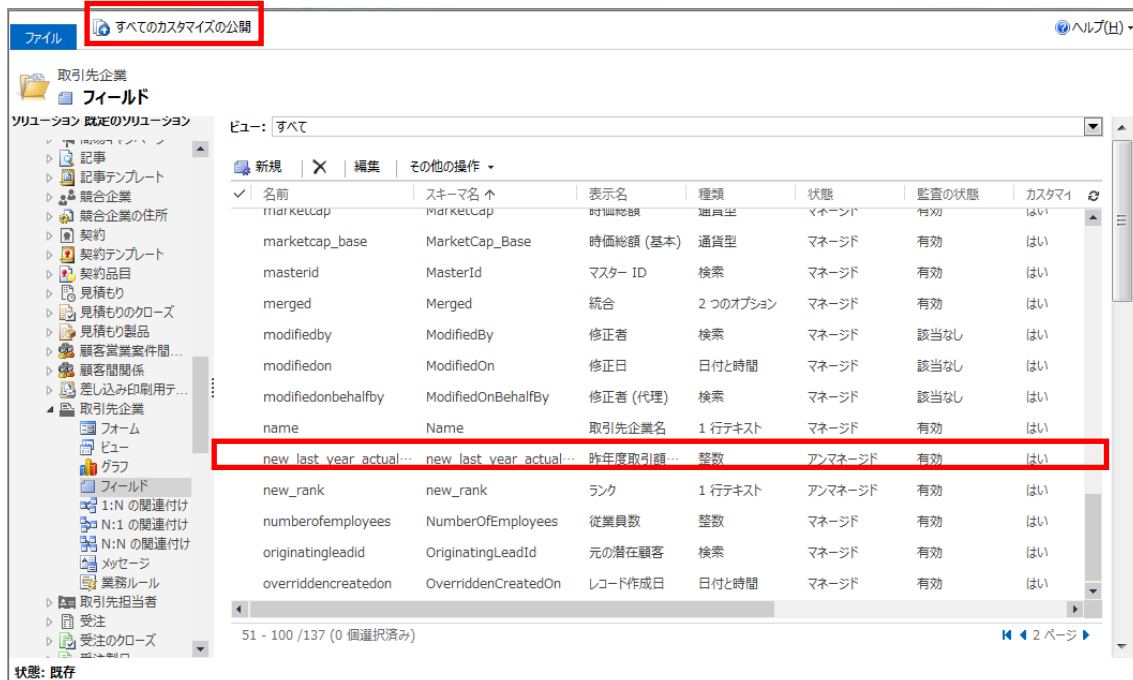
4. 新規フィールドの作成画面で、以下のデータを入力します。完了した後、[保存して閉じる]ボタンをクリックして、画面を閉じます。

表示名	昨年度取引額実績
名前	last_year_actual_revenue
種類	整数

The screenshot shows the 'New Field' configuration window in Microsoft Dynamics CRM. The 'General' tab is selected. The 'Name' section has two fields: '表示名' (Display Name) with the value '昨年度取引額実績' and '名前' (Name) with the value 'new_last_year_actual_revenue'. The 'Type' section has a '種類' (Type) dropdown set to '整数' (Integer). Other fields include 'フィールド要件' (Field Requirements) set to '任意出席者' (Optional), 'フィールドセキュリティ' (Field Security) with radio buttons for '有効にする' (Enable) and '無効にする' (Disable), '監査' (Audit) with radio buttons for '有効にする' (Enable) and '無効にする' (Disable), and '説明' (Description) which is empty. At the bottom, there is a link to 'Microsoft Dynamics CRM SDK'.

※ [種類]セクションの内容は選択した種類によって変わります。詳細内容は「機能 4 フィールドの属性詳細」(105 ページ)をご参照ください。

5. フィールドの一覧画面に、新規フィールドが作成されていることを確認します。[すべてのカスタマイズの公開]をクリックして、カスタマイズを公開します。



※ カスタマイズはエンドユーザーが利用出来るようにするため、公開が必要です。

以上の手順で [取引先企業] の [昨年度取引額実績] フィールドを追加しました。エンドユーザーがこのフィールドを入力したり、参照したりするために、フィールドをフォームに配置する必要があります。フィールドをフォームに配置する手順は「演習 1 画面のカスタマイズ」の「機能 1 フォームにコンポーネントを追加」(7 ページ)をご参照ください。

新規フィールドの作成画面において、多くの属性を指定する事ができます。次節「機能 4 フィールドの属性詳細」でその詳細を確認していただきます。

機能 4. フィールドの属性詳細

本節でフィールドの属性詳細を確認していただきます。

以下、「機能 3 フィールドの追加」で新たに作成した[昨年度取引額実績]を例に、各属性の詳細を確認していただきます。

フィールド
取引先企業 の昨年度取引額実績

全般

1. スキーマ

表示名* 昨年度取引額実績 (1) フィールド要件* 任意出席者

名前* new_last_year_actual_revenue 検索可能 はい

(2) フィールドセキュリティ ☐ 有効にする ☒ 無効にする

(3) 監査* ☒ 有効にする ☐ 無効にする

説明

2. 種類

(1) 種類* 数値

(2) 形式* なし

最小値* -2,147,483,648

最大値* 2,147,483,647

(3) IME モード* 自動

エンティティおよびフィールドとプログラムで対話する方法については、次を参照してください [Microsoft Dynamics CRM SDK](#)

フィールドの詳細属性画面では[スキーマ]セクションと[種類]セクションに分かれて、情報が表示されます。特に以下の項目がよく使われますので、詳しく内容を確認していきます。

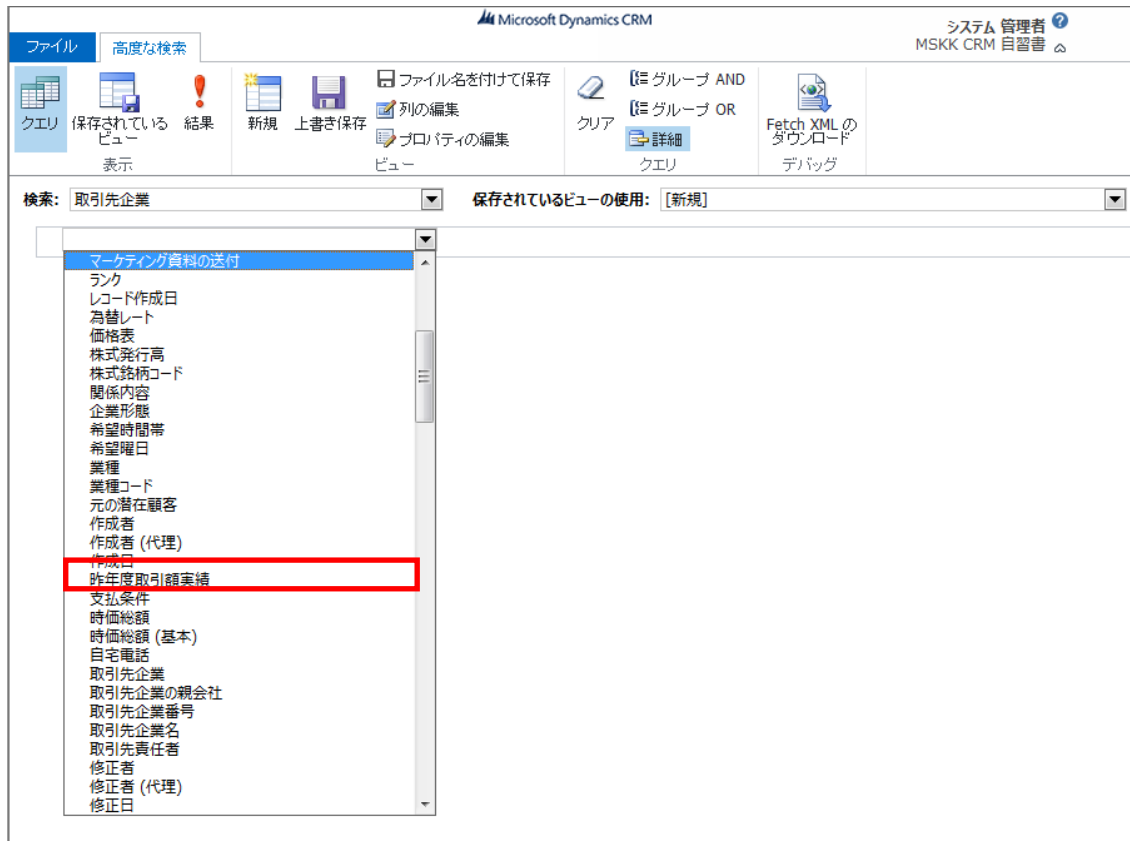
1. スキーマ	(1) 検索可能
	(2) フィールドセキュリティ
	(3) 監査
2. 種類	(1) 種類
	(2) 形式
	(3) IME モード

1. スキーマ

(1) 検索可能

[検索可能]を[はい]にした場合、[高度な検索]、[簡易検索ビュー]及び[検索ダイアログボックス]で利用可能となります。

※ [高度な検索]で利用可能とは[高度な検索]画面にあるフィールド一覧に表示され、条件に指定できることです。



(2) フィールドセキュリティ

[フィールドセキュリティ]は有効にすると、フィールドごとにアクセスを許可・禁止することができます。この機能を利用するために、[フィールドセキュリティプロファイル]の設定が必要です。詳細については本自習書「設定編」のフィールドセキュリティに関する記述をご参照ください。

※ フィールドセキュリティ機能はカスタムフィールドにのみ適用可能です。そのため、ビルトインフィールドではグレイアウトされます。例えば、[取引先企業]の[取引先企業]がビルトインフィールドであるため、フィールドセキュリティは有効にすることができません。

フィールドセキュリティの設定画面のスクリーンショット。画面には「取引先企業」のフィールドセキュリティ設定が表示されています。左側のナビゲーションメニューには「フィールド」があり、「取引先企業」の下に「取引先企業」がリストアップされています。右側の設定領域には「全般」タブが選択されており、以下の項目が設定されています：

- スキーマ**: 表示名 * 取引先企業、名前 * accountid
- フィールドセキュリティ**: ☒ 有効にする、☐ 無効にする (この項目が赤い枠で囲まれています)
- 監査**: ☒ 有効にする、☐ 無効にする
- 説明**: 取引先企業を表す一意の識別子です。
- 種類**: 主キー

画面下部には「エンティティおよびフィールドとプログラムで対話する方法については、次を参照してください [Microsoft Dynamics CRM SDK](#)」というリンクがあります。

(3) 監査

[監査]を有効にした場合はこのフィールドの変更履歴を Dynamics CRM が記録するようになり、後から変更履歴を確認することができます。ただし、このフィールドの監査を有効にするためにはシステムレベル、エンティティレベルでの監査設定を有効にする必要があります。詳細は本自習書「設定編」の監査に関する記述をご参照ください。

2. 種類

[種類]でどんなデータを保存するかを選択します。選択した[種類]によって、[形式]などが変わります。具体的には下表をご参照ください。

種類	形式	その他指定する項目
1 行テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ・電子メール ・テキスト ・テキスト領域 ・URL ・株式銘柄コード ・ふりがな ・電話 	<ul style="list-style-type: none"> ・最大長 ・IME モード ・ふりがな(形式が[ふりがな]の場合のみ)
オプションセット	—	<ul style="list-style-type: none"> ・既存のオプションセットの使用 ・既定値 ・オプション
イメージ	—	
2 つのオプション	—	<ul style="list-style-type: none"> ・オプションのラベル ・既定値
整数	<ul style="list-style-type: none"> ・なし ・期間 ・タイムゾーン ・言語 	<ul style="list-style-type: none"> ・最小値(形式がなしの場合のみ) ・最大値(形式がなしの場合のみ)
浮動小数点数	—	<ul style="list-style-type: none"> ・精度 ・最小値 ・最大値
10 進数	—	<ul style="list-style-type: none"> ・精度 ・最小値 ・最大値
通貨型	—	<ul style="list-style-type: none"> ・精度 ・最小値 ・最大値
複数行テキスト	—	<ul style="list-style-type: none"> ・最大長
日付と時間	<ul style="list-style-type: none"> ・日付のみ ・日付と時間 	
検索	—	<ul style="list-style-type: none"> ・ターゲットレコードの種類 ・関連付け名

- ※ 一旦フィールドを作成した後、[種類]は変更できなくなります。
- ※ [オプションセット]の詳細について、「機能 5 オプションセット」(111 ページ)をご確認ください。
- ※ [種類]で[検索]を選んだ場合に、ターゲットレコードの種類を選択する必要があります。[選択]のフィールドを定義すると、自動的にターゲットレコードとの間に N:1 の関連が一つ作成されます。
- ※ [選択]と定義したフィールドは、フォームに配置したときにユーザーにレコードを選択させることができます。例えば、[取引先企業]の[取引先責任者]が[検索]と定義されていますが、下図のように表示されます。

The screenshot displays the Microsoft Dynamics CRM interface for the 'Store (Sample)' entity. The left sidebar shows the 'Account Information' section with fields like 'Account Name', 'Phone', 'FAX', 'Web Site', 'Account Type', and 'Rank'. The main area shows the 'Activities' section with a list of activities. The right sidebar shows the 'Related' section with a list of related records. A red box highlights the 'Account Manager' field, which is a lookup field with a search icon, indicating a search function.

(1) IME モード

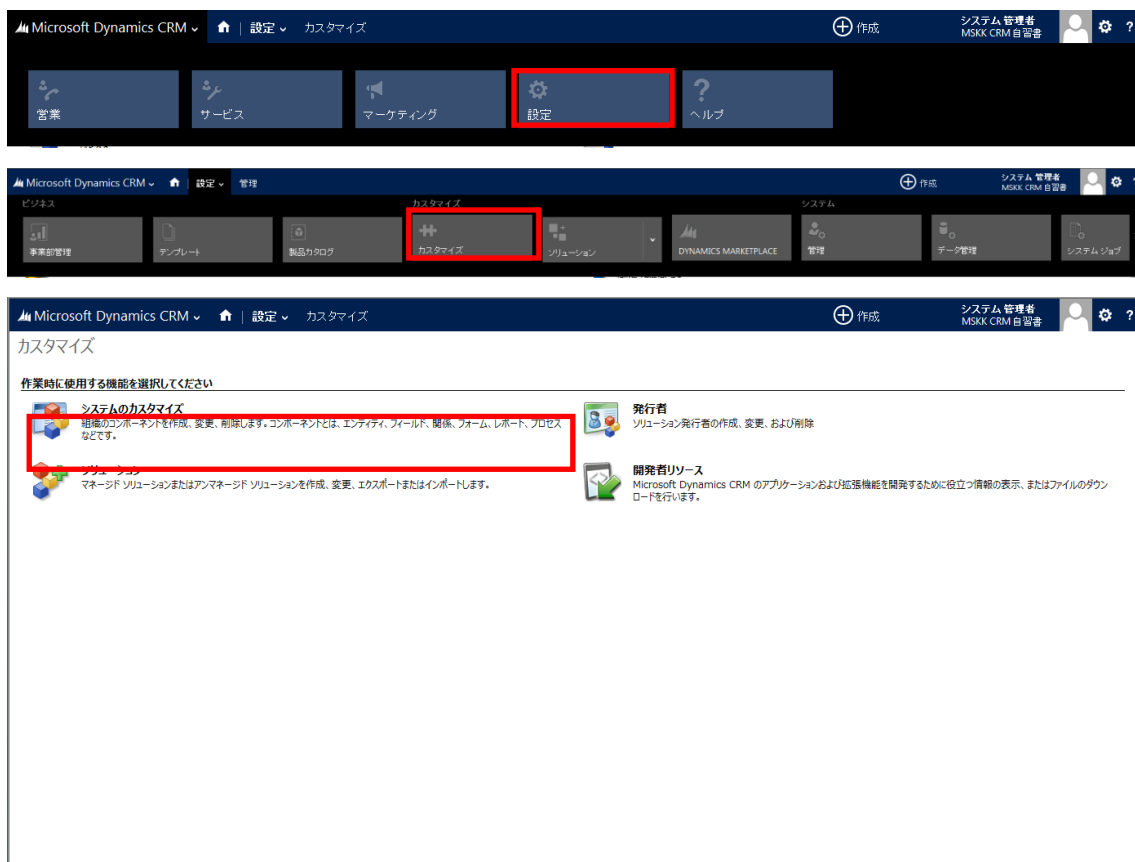
[IME モード] を選択して入力できる文字の種類を制御することができます。[IME モード] の選択肢と挙動については下表をご参照ください。

IME モード	挙動
自動	IME モードを制御しない設定です。
アクティブ	既定で IME モードがアクティブとなり、日本語（または他の英語以外の言語）を入力するモードになります。ユーザーが IME モードを非アクティブにすることができます。
非アクティブ	既定で IME モードが非アクティブとなり、英語を入力するモードとなります。ユーザーが IME モードをアクティブにし、日本語（または他の英語以外の言語）を入力することができます。
無効	IME モードを非アクティブのみが利用可能で、アクティブに設定することができません。英語（及び半角数字、半角記号など）のみを入力できます。

機能 5. オプションセット

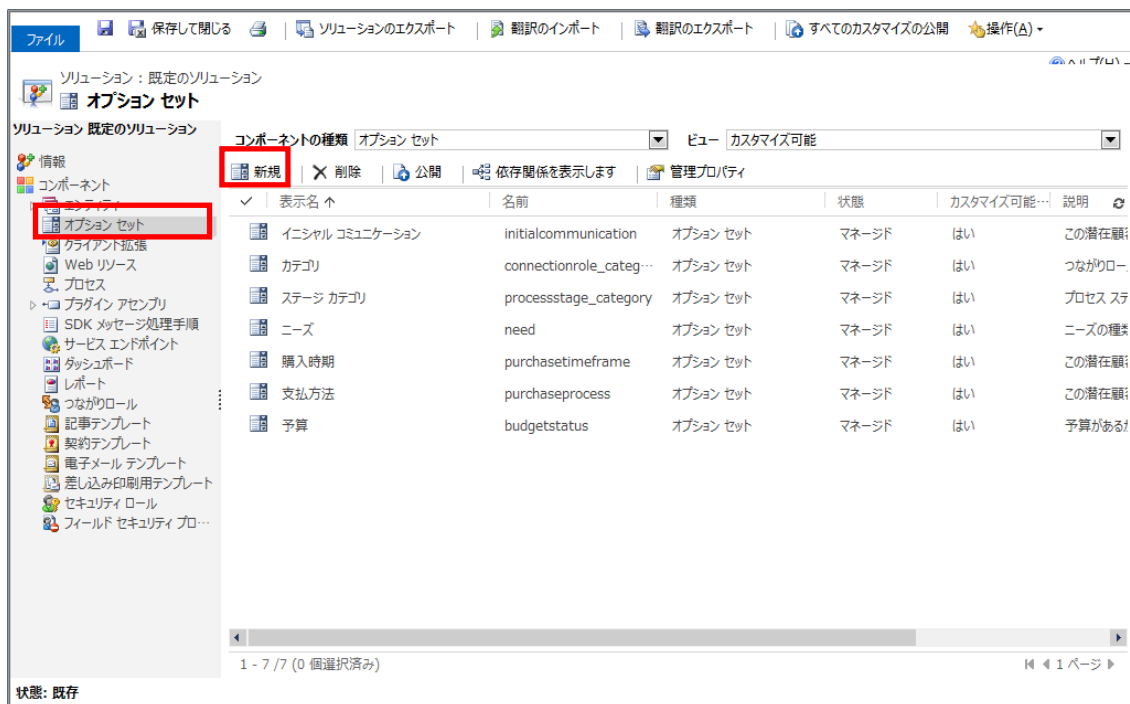
システムの全体範囲で、選択項目の選択肢を統一したい場合は[オプションセット]を利用します。以下、Dynamics CRM で[オプションセット]を作成する手順をご確認いただきます。ただし、[取引先企業]や[営業案件]などを評価するために、“ランク”のオプションセットを新規に作成します。

1. [設定]→[カスタマイズ]の順にクリックして、右側に[システムのカスタマイズ]アイコンが表示されます。[システムのカスタマイズ]をクリックします。



※ [エンティティのカスタマイズ]は、[システム管理者]または[システム カスタマイザ]のセキュリティロール、あるいはこれらと同等の特権をもつユーザーでログインした場合に表示されます。

2. [ソリューション: 既定のソリューション]ダイアログが開きます。左のメニューにある [オプション セット]をクリックすると、右側の画面に [オプション セット]の一覧が表示されます。[新規]ボタンをクリックして、[オプション セット]の新規作成画面を開きます。



※ 既存のオプションセットをダブルクリックして、編集することができます。

3. [オプション セット]の新規画面が開きます。以下のようにデータを入力します。

項目	値	説明
表示名	ランク	画面に表示されます。
名前	rank	[オプション セット]の名前を設定します。一意である必要があります。
説明	取引先企業や営業案件を評価するために用います。	[オプション セット]の説明を入力します。

ファイル
保存(S)
保存して閉じる
ヘルプ(H)

オプション セット

ソリューションの操作: 既定のソリューション

新規

スキーマ

表示名 *

ランク

名前 *

new_rank

説明

取引先企業や営業案件を評価するために用います。

オプション

+

✖

↑

↓

A↕

Z↕

ラベル *

値 *

説明

4. [オプション]タブにあるプラス記号をクリックして、ひとつのオプションを追加します。既定で新たに追加したオプションを選択してある状態となります。すると、右側に[ラベル]、[値]と[説明]が表示されます。以下のように値を入力します。

項目	値	説明
ラベル	プラチナ	画面に表示される名称です。
値	100,000,001	内部的に保持している値です。一意である必要があります。
説明	最高のランクです。	オプションの説明を入力します。

ファイル 保存(S) 保存して閉じる ヘルプ(H)

オプション セット

新規

スキーマ

表示名 * ランク 名前 * new_rank

説明 取引先企業や営業案件を評価するために用います。

オプション

ラベル * プラチナ

値 * 100,000,001

説明 最高のランクです。

5. 同じ要領にて、“ゴールド”と“シルバー”のオプションも登録します。[保存して閉じる]をクリックして、画面を閉じます。

ラベル	値	説明
ゴールド	100,000,002	2 番目に高いランクです。
シルバー	100,000,003	3 番目に高いランクです。

オプション セット

ヘルプ(H)

ソリューションの操作: 既定のソリューション

新規

スキーマ

表示名* ランク 名前* new_rank

説明 取引先企業や営業案件を評価するために用います。

オプション

ラベル* シルバー

値* 100,000,003

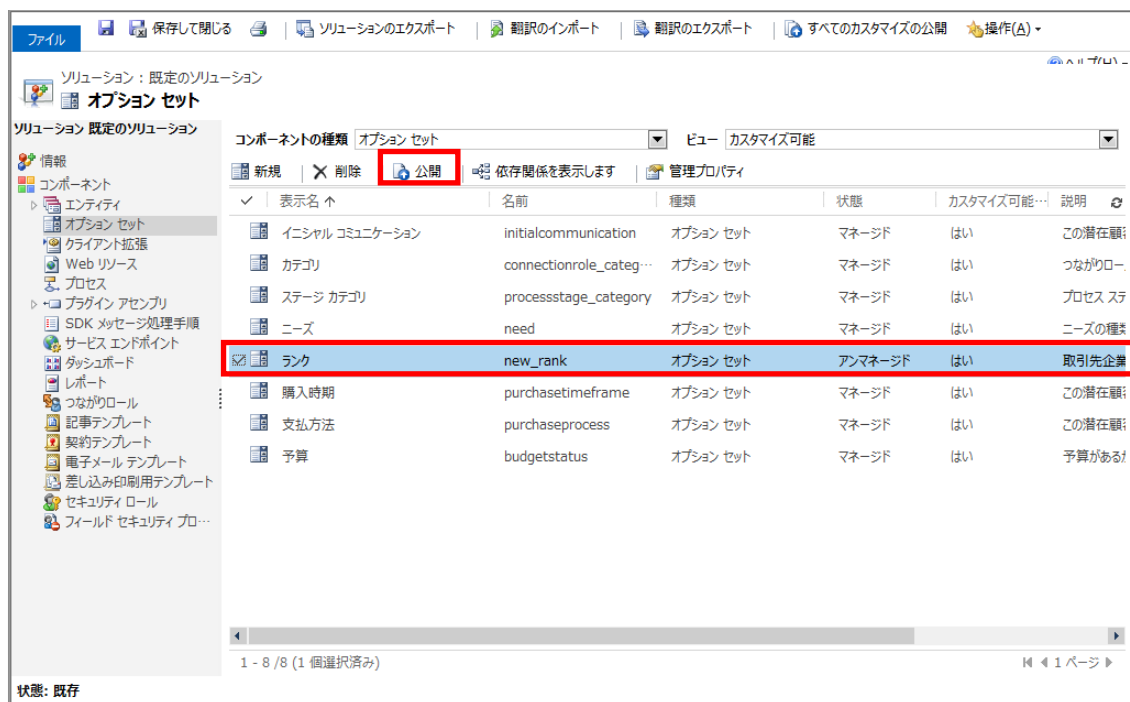
説明 3番目に高いランクです。

プラチナ

ゴールド

シルバー

6. 作成された“ランク”のオプションセットを選択して、[公開]ボタンをクリックします。



7. すでに作成された[オプションセット]は[フィールド]をカスタマイズするときに利用できます。その時は、フィールドの設定で[種類]を[オプションセット]に選択した上で、[既存のオプションセットの使用]を[はい]に選択します。その後、[オプションセット]のプルダウンメニューから作成されている[オプションセット]を選択します。

以下は、[営業案件]エンティティに[ランク]フィールドを追加して、それをこれまでに作成した[ランク]オプションセットを利用する画面の設定例です。

種類	オプション セット
既存のオプション セットの使用	はい
オプション セット	ランク

ファイル 保存して閉じる ヘルプ(出)

フィールド
新規の営業案件

ソリューションの操作: 既定のソリューション

全般

スキーマ

表示名 * ランク フィールド要件 * 任意出席者

名前 * new_rank 検索可能 はい

フィールド セキュリティ ☐ 有効にする ☒ 無効にする

監査 * ☒ 有効にする ☐ 無効にする

説明

エンティティおよびフィールドとプログラムで対話する方法については、次を参照してください [Microsoft Dynamics CRM SDK](#)

種類 * オプション セット

既存のオプション セットの使 用 ☒ はい ☐ いいえ

オプション セット * ランク

既定値 (なし)

編集 新規

※ [既定値]を選ぶことによって、オプションセットの初期値を指定することができます。

2. 自動化

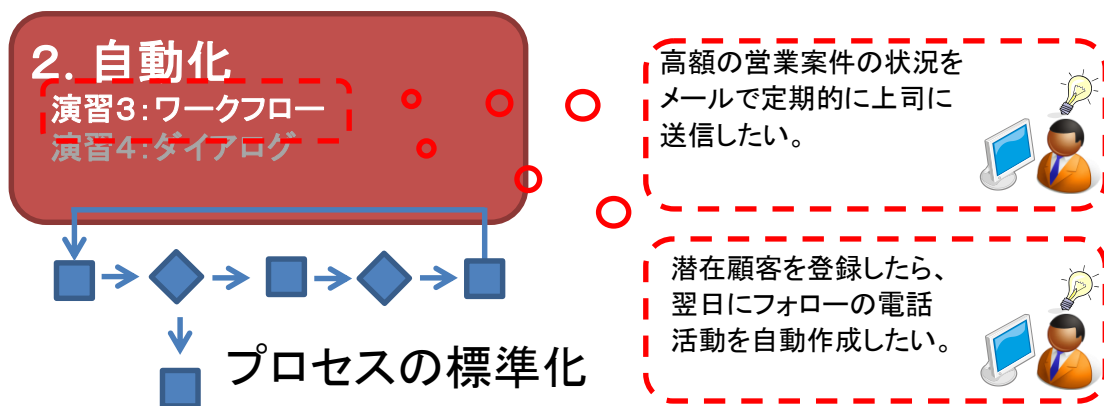
演習 3. ワークフロー

この演習で、あなたがシステムカスタマイザとなって、ワークフローで業務処理の自動化を実装します。

◆ 演習のゴール

Dynamics CRM の以下の機能を理解します。

- ワークフローの作成
- ワークフローで電子メール送信
- ワークフローでレコード作成



※ Dynamics CRM online に作成できるワークフローの数に制限があります。200 個が上限です。

◆ 用語説明

演習 3 で使用する用語について説明します。

[ワークフロー]

例えば決済書類の承認を得るための流れなどことを指します。

条件に従って複数のルートを通る流れを作ることができます。

[プロセス]

ワークフローあるいはダイアログのことを指します。

[子プロセス]

1つのワークフローから呼び出される別のワークフローのことを指します。

子ワークフローと表記することもあります。

[スコープ]

ワークフローが適用される範囲のことを指します。

[ステップ]

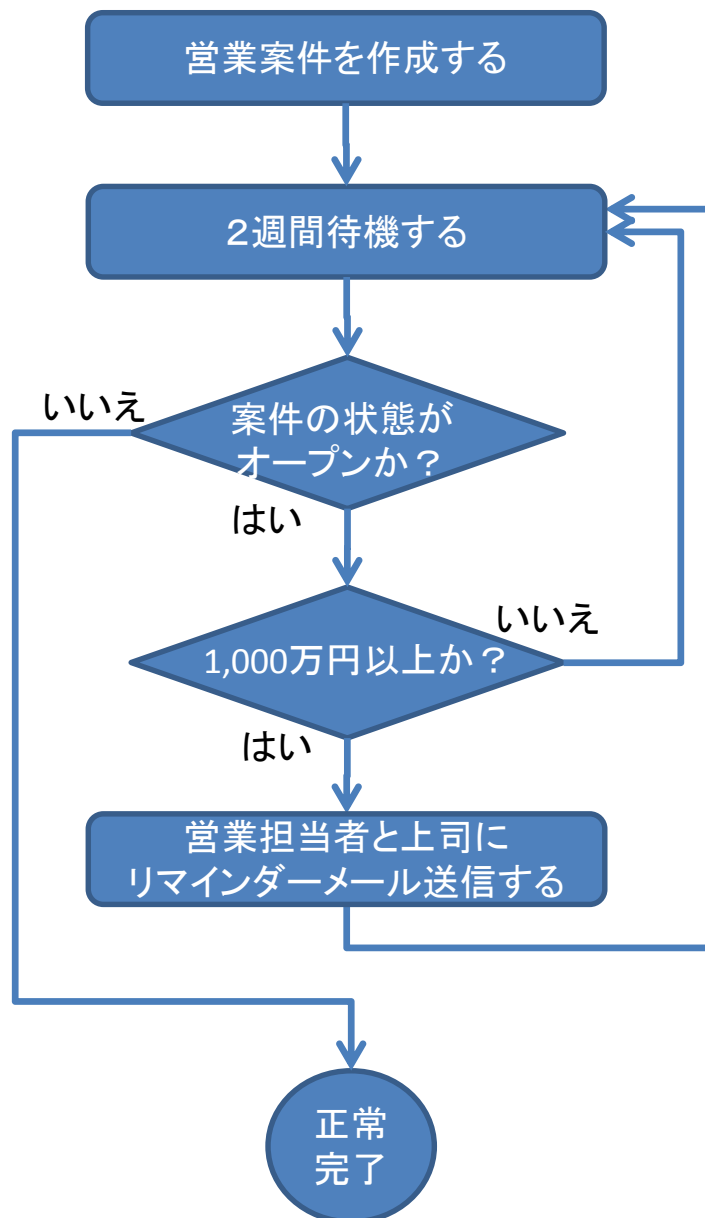
ワークフロー内の条件や電子メール送信などの各項目のことを指します。

複数のステップを組み合わせることで複雑なワークフローを構成することができます。

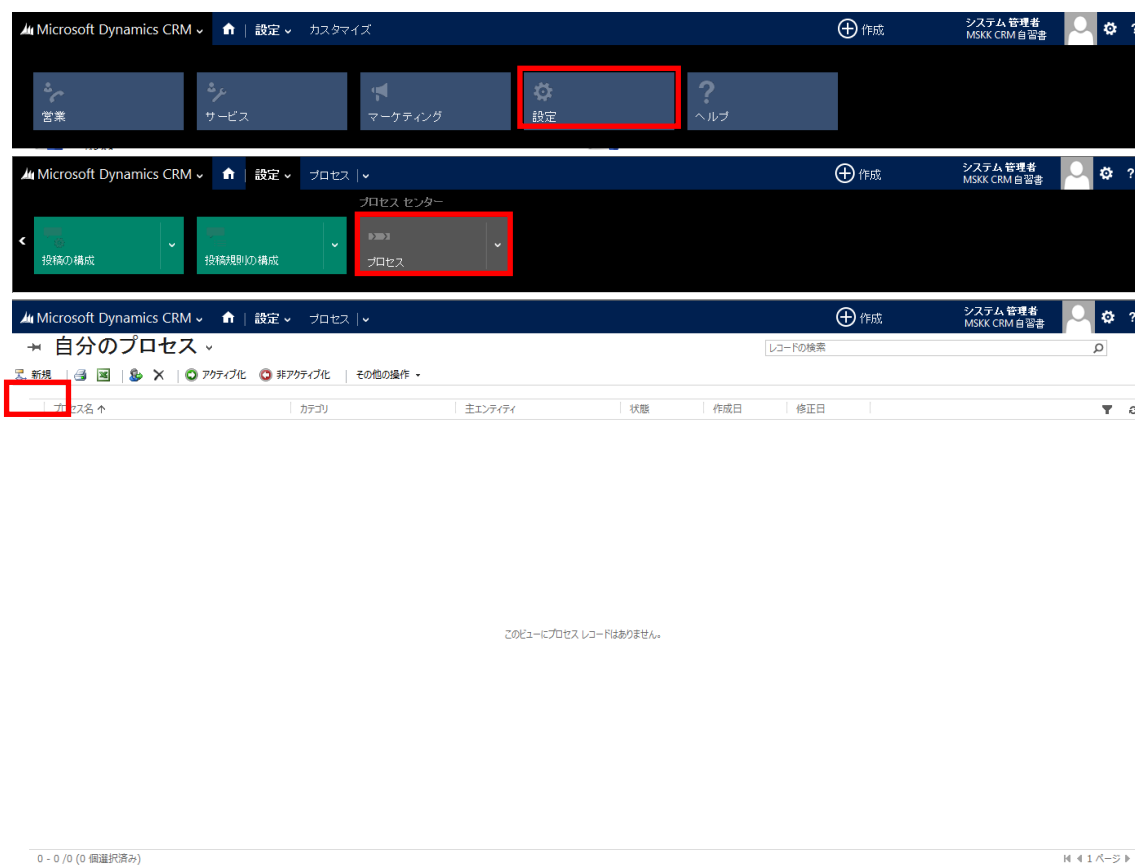
機能 1. ワークフロー

本節で、ワークフローの基本機能と注意点を確認していただきます。

ワークフローを利用して、一連の操作を自動化することができます。以下、1,000 万円以上の営業案件は、作成されたときからクローズされるまで、2週間ごとに、営業案件所有者と上司に通知メールを送信するシナリオを想定して説明します。具体的には、以下の処理をフローにて実装します。



1. [設定]→[プロセス]の順にクリックすると、プロセスの一覧が表示されます。[新規]ボタンをクリックします。





※ [プロセス]ボタンをクリックするために、スクロールが必要な場合があります。

2. [プロセスの作成]ダイアログが開きます。以下のデータを入力して、[OK] ボタンをクリックします。

項目	値	説明
プロセス名	大額営業案件リマインダー	プロセスを識別する名前を設定します。
エンティティ	営業案件	プロセスを実行するエンティティを選択します。
カテゴリ	ワークフロー	以下から選択します。 ・ダイアログ ・ワークフロー ・操作 ・業務プロセスフロー
このワークフローをバックグラウンドで実行する(推奨)	チェックあり	バックグラウンドで非同期で実行するか、開始時期に同期して実行するかを設定します。
種類	空のプロセスの新規作成	既存テンプレートが登録されている場合は、そこからワークフローの作成を始めることができます。 そうでない場合は、空のプロセスから新規に作成します。

※ 一部カテゴリ(操作、業務プロセスフロー)の内容は、新機能編をご参照下さい。

 <https://crm2013jishusho.crm5.dynamics.com/sfa/workflow/workflowTemplat> 

プロセスの作成

新しいプロセスを作成するか、既存のテンプレートからプロセスを作成します。作成できるプロセスには、業務プロセスフロー、操作、ダイアログ、ワークフローの 4 種類があります。

プロセス名: *

大額営業案件リマインダー

カテゴリ: *

ワークフロー

エンティティ: *

営業案件

☒ このワークフローをバックグラウンドで実行する (推奨)

種類:

☒ 空のプロセスの新規作成

☐ 既存テンプレートからのプロセスの新規作成 (一覧から選択):

テンプレート名 ↑	主エンティティ	所有者
このビューで利用できるプロセス テンプレート レコードはありません。		

0 - 0 / 0 (0 個選択済み)

◀ ◀ 1 ページ ▶▶

プロパティ

OK

キャンセル

3. 以下のように設定した上で、一度[保存]ボタンをクリックします。

実行可能なワークフロー	[子プロセスとして]
スコープ	[組織全体]

ファイル

保存して開じる

アクティブ化

リアルタイム ワークフローに変換

依存関係を表示します

操作(A)

ヘルプ(H)

プロセス: 大額営業案件リマインダー

ソリューションの操作: 既定のソリューション

情報

共有

情報

監査履歴

プロセス セッション

プロセス セッション

全般

管理

メモ

プロセスのプロパティを非表示

プロセス名 *

大額営業案件リマインダー

次の種類としてアクティバ化:

プロセス

実行可能なワークフロー

☒ このワークフローをバックグラウンドで実行する (推奨)

☐ オンデマンド プロセスとして

☒ 子プロセスとして

ワークフロー ジョブの保持

完了したワークフロー ジョブを自動的に削除する (ディスク容量の確保)

エンティティ

営業案件

カテゴリ

ワークフロー

自動プロセスのオプション

スコープ

組織全体

開始時期:

☒ レコードの作成

☐ レコードの状態の変更

☐ レコードの割り当て

☐ レコードフィールドの変更

☐ レコードの削除

ステップの追加

挿入

このステップを削除します。

この行を選択し、[ステップの追加] をクリックします。

状態: 下書き

※ よく使われる設定項目の詳細については、下表をご参照ください。

項目	選択肢・オプション	説明
次の種類としてアクティブ化	プロセス	実行することができます。
	プロセス テンプレート	他のプロセスを作成するときのスタート時点として選択できますが、実行することができません。
実行可能なワークフロー	オンデマンド プロセスとして	エンドユーザーが必要に応じて、ワークフローの実行を始めることができます。
	子プロセスとして	別のワークフローから呼び出されて実行することができます。
ワークフロージョブの保持	完了したワークフロージョブを自動的に削除する(ディスク容量の確保)	ワークフロージョブをシステムが自動的に削除することで、ディスク容量にデータが蓄積されることを防ぎます。
スコープ (自動プロセスのオプション)	ユーザー	所有者のユーザーによる操作のみが、ワークフローの自動起動を始めます。
	部署	所有者の部署のユーザーによる操作のみが、ワークフローの自動起動を始めます。
	部署配下	所有者の部署及びその配下のユーザーによる操作のみが、ワークフローの自動起動を始めます。
	組織全体	全てのユーザーによる操作が、ワークフローの自動起動を始めます。
開始時期 (自動プロセスのオプション)	レコードの作成	スコープ内のユーザーがプロセスのエンティティのレコードを作成したときにワークフローが実行されます。
	レコードの状態の変更	レコードの状態変更(例えば、アクティブから非アクティブに変更)したときにワークフローが実行されます。
	レコードの割り当て	レコードを割り当てるときにワークフローが実行されます。
	レコードフィールドの変更	指定フィールドの内容が変更されたときに実行されます。
	レコードの削除	レコードが削除されたときにワークフローが実行されます。

※ これにて、ワークフロー全体の設定が完了します。これ以降は、2 週間待機の設定を行います。

- プロセスの編集画面が開きます。[この行を選択し、[ステップの追加]をクリックします。]の行を選択した上、[ステップの追加]ボタンをクリックして、プルダウンメニューを開きます。[待機状態]をクリックします。



- 待機のステップが一つ追加されます。[<condition>(クリックして構成)]をクリックして、待機条件を構成します。

ファイル | 保存して開ける | アクティブ化 | リアルタイム ワークフローに変換 | 依存関係を表示します | 操作(A) | ヘルプ(H)

プロセス: 大額営業案件リマインダー

ソリューションの操作: 既定のソリューション

情報

共通

情報

監査履歴

プロセス セッション

プロセス セッション

全般 | 管理 | メモ

プロセスのプロパティを非表示

プロセス名: 大額営業案件リマインダー

次の種類としてアクティブ化: プロセス

実行可能なワークフロー

☒ このワークフローをバックグラウンドで実行する (推奨)

☐ オンデマンド プロセスとして

☒ 子プロセスとして

ワークフロー ジョブの保持

☒ 完了したワークフロー ジョブを自動的に削除する (ディスク容量の確保)

エンティティ: 営業案件

カテゴリ: ワークフロー

自動プロセスのオプション

スコープ: 組織全体

開始時期: ☒ レコードの作成

☐ レコードの状態の変更

☐ レコードの割り当て

☐ レコードフィールドの変更

☐ レコードの削除

選択

ステップの追加 | 挿入 | このステップを削除します。

ここにステップの説明を入力します。

<condition> (クリックして構成) で待機し、次に:

この行を選択し、[ステップの追加] をクリックします。

状態: 下書き

6. 条件構成画面が開きます。以下の条件を入力して、[保存して閉じる]をクリックします。

プロセス
タイムアウト
が次の値と等しい
14 日

- ※ [14 日]の入力は画面右側にある[フォーム アシスタント]を利用します。
- ※ 一定期間を待機してから処理をしたい場合は、[タイムアウト]属性をご利用ください。
- ※ 通常、複数の条件を登録した場合、それらが全て満たされたときまで待機します。ただし、[タイムアウト]を条件と指定した場合、1 つの条件しか登録することができません。
- ※ これにて、2 週間待機の設定が完了しました。これ以降、案件状態の確認を設定します。

- 待機状態が構成されることを確認します。タイムアウトの次の行をクリックして、条件の確認ステップを追加します。

ファイル | 保存して開ける | アクティブ化 | リアルタイム ワークフローに変換 | 依存関係を表示します | 操作(A) | ヘルプ(H)

プロセス: 大額営業案件リマインダー | ソリューションの操作: 既定のソリューション

情報

全般 | 管理 | メモ

プロセスのプロパティを非表示

プロセス名 * 大額営業案件リマインダー

次の種類としてアクティブ化: プロセス

実行可能なワークフロー

☒ このワークフローをバックグラウンドで実行する (推奨)

☐ オンデマンド プロセスとして

☒ 子プロセスとして

ワークフロー ジョブの保持

☒ 完了したワークフロー ジョブを自動的に削除する (ディスク容量の確保)

エンティティ 営業案件

カテゴリ ワークフロー

自動プロセスのオプション

スコープ 組織全体

開始時期: ☒ レコードの作成

☐ レコードの状態の変更

☐ レコードの割り当て

☐ レコードフィールドの変更

☐ レコードの削除

選択

ステップの追加 | 挿入 | このステップを削除します。

ここにステップの説明を入力します。

14 日 までタイムアウト。その後

この行を選択し、[ステップの追加] をクリックします。

状態: 下書き

8. [営業案件]がオープンであるような条件を構成するために、[条件の確認]ステップにも、
[<condition>(クリックして構成)]リンクが表示されますので、それをクリックします。

ファイル | 保存して開く | アクティブ化 | リアルタイム ワークフローに変換 | 依存関係を表示 | 操作(A) | ヘルプ(H)

プロセス: 大額営業案件リマインダー | ソリューションの操作: 既定のソリューション

情報

共通 | 情報 | 監査履歴

プロセス セッション | プロセス セッション

全般 | 管理 | XE

▼ プロセスのプロパティを非表示

プロセス名 * 大額営業案件リマインダー

次の種類としてアクティブ化: プロセス

実行可能なワークフロー

☒ このワークフローをバックグラウンドで実行する (推奨)

☐ オンデマンド プロセスとして

☒ 子プロセスとして

ワークフロー ジョブの保持

☒ 完了したワークフロー ジョブを自動的に削除する (ディスク容量の確保)

エンティティ 営業案件

カテゴリ ワークフロー

自動プロセスのオプション

スコープ 組織全体

開始時期: ☒ レコードの作成

☐ レコードの状態の変更

☐ レコードの割り当て

☐ レコードフィールドの変更

☐ レコードの削除

ステップの追加 | 挿入 | このステップを削除します。

ここにステップの説明を入力します。

14 日までタイムアウト、その後

ここにステップの説明を入力します。

もし <condition> (クリックして構成) の場合には:
この行を選択し、[ステップの追加] をクリックします。

状態: 下書き

9. 条件を下記のように構成して、[保存して閉じる]ボタンをクリックします。

営業案件
状態
が次の値と等しい
オープン

ファイル **保存して閉じる** ヘルプ(H) ▾

クリア

▼ 営業案件	状態	が次の値と等しい	オープン
--------	----	----------	------

[選択](#)

フォーム アシスタント ▸

動的な値 ▾

動的な値 ▲

検索:
営業案件 ▾

状態

10. 営業案件状態がオープンであることが条件として追加されることを確認します。

ファイル | 保存して開く | アクティブ化 | リアルタイム ワークフローに変換 | 依存関係を表示します | 操作(A) | ヘルプ(H)

プロセス: 大額営業案件リマインダー | ソリューションの操作: 既定のソリューション

情報

共通

情報

監査履歴

プロセス セッション

プロセス セッション

全般 | 管理 | メモ

プロセスのプロパティを非表示

プロセス名 * 大額営業案件リマインダー

次の種類としてアクティブ化: プロセス

エンティティ 営業案件

カテゴリ ワークフロー

自動プロセスのオプション

スコープ 組織全体

開始時期: ☒ レコードの作成 ☐ レコードの状態の変更 ☐ レコードの割り当て ☐ レコードフィールドの変更 ☐ レコードの削除

実行可能なワークフロー

☒ このワークフローをバックグラウンドで実行する (推奨)

☐ オンデマンド プロセスとして

☒ 子プロセスとして

ワークフロー ジョブの保持

☒ 完了したワークフロー ジョブを自動的に削除する (ディスク容量の確保)

ステップの追加 | 挿入 | このステップを削除します。

ここにステップの説明を入力します。

14 日までタイムアウト、その後

ここにステップの説明を入力します。

もし 営業案件 : 状態 が次の値と等しい [オープン] の場合には:
この行を選択し、[ステップの追加] をクリックします。

状態: 下書き

※ これにて、営業案件の状態がオープンである確認の設定が完了しました。これ以降、営業案件の売上見込みが 1,000 万円以上であることを確認する条件確認を設定します。

11. さらに、営業案件の売上見込が 1,000 万円以上の条件を追加します。

営業案件
売上見込
が次の値以上
10,000,000

プロセス: 大額営業案件リマインダー

ソリュージョンの操作: 既定のソリュージョン

全般 管理 メモ

プロセスのプロパティを非表示

プロセス名: 大額営業案件リマインダー

次の種類としてアクティブ化: プロセス

エンティティ: 営業案件

カテゴリ: ワークフロー

自動プロセスのオプション

スコープ: 組織全体

開始時期: ☒ レコードの作成 ☐ レコードの状態の変更 ☐ レコードの割り当て ☐ レコードフィールドの変更 ☐ レコードの削除

実行可能なワークフロー

☒ このワークフローをバックグラウンドで実行する (推奨)

☐ オンデマンド プロセスとして

☒ 子プロセスとして

ワークフロー ジョブの保持

☒ 完了したワークフロー ジョブを自動的に削除する (ディスク容量の確保)

ステップの追加: [+] 挿入 [-] このステップを削除します。

ここにステップの説明を入力します。

14 日 までタイムアウト、その後

ここにステップの説明を入力します。

もし 営業案件 : 状態 が次の値と等しい [オープン] の場合には:

ここにステップの説明を入力します。

もし 営業案件 : 売上見込み >= [10,000,000.00] の場合には:

この行を選択し、[ステップの追加] をクリックします。

状態: 下書き

※ これにて、営業案件の売上見込みが 1,000 万円以上であることの条件確認の設定が完了しました。これ以降、電子メールの送信処理を追加します。

12. 売上見込が1,000万円以上の場合に、[電子メールの送信]のステップを追加します。その後、[プロパティの設定]ボタンをクリックして、メール内容を設定します。

ファイル | 保存して開ける | アクティブ化 | リアルタイム ワークフローに変換 | 依存関係を表示します | 操作(A) | ヘルプ(H)

プロセス: 大額営業案件リマインダー | ソリューションの操作: 既定のソリューション

情報

共通

情報

監視履歴

プロセス セッション

プロセス セッション

全般 | 管理 | メモ

プロセスのプロパティを非表示

プロセス名: 大額営業案件リマインダー

次の種類としてアクティブ化: プロセス

実行可能なワークフロー

☒ このワークフローをバックグラウンドで実行する (推奨)

☐ オンデマンド プロセスとして

☒ 子プロセスとして

ワークフロー ジョブの保持

☒ 完了したワークフロー ジョブを自動的に削除する (ディスク容量の確保)

エンティティ: 営業案件

カテゴリ: ワークフロー

自動プロセスのオプション

スコープ: 組織全体

開始時期: ☒ レコードの作成

☐ レコードの状態の変更

☐ レコードの割り当て

☐ レコードフィールドの変更

☐ レコードの削除

選択

ステップの追加 | 挿入 | このステップを削除します。

ここにステップの説明を入力します。

14 日 までタイムアウト。その後

ここにステップの説明を入力します。

もし 営業案件 : 状態 が次の値と等しい [オープン] の場合には:

ここにステップの説明を入力します。

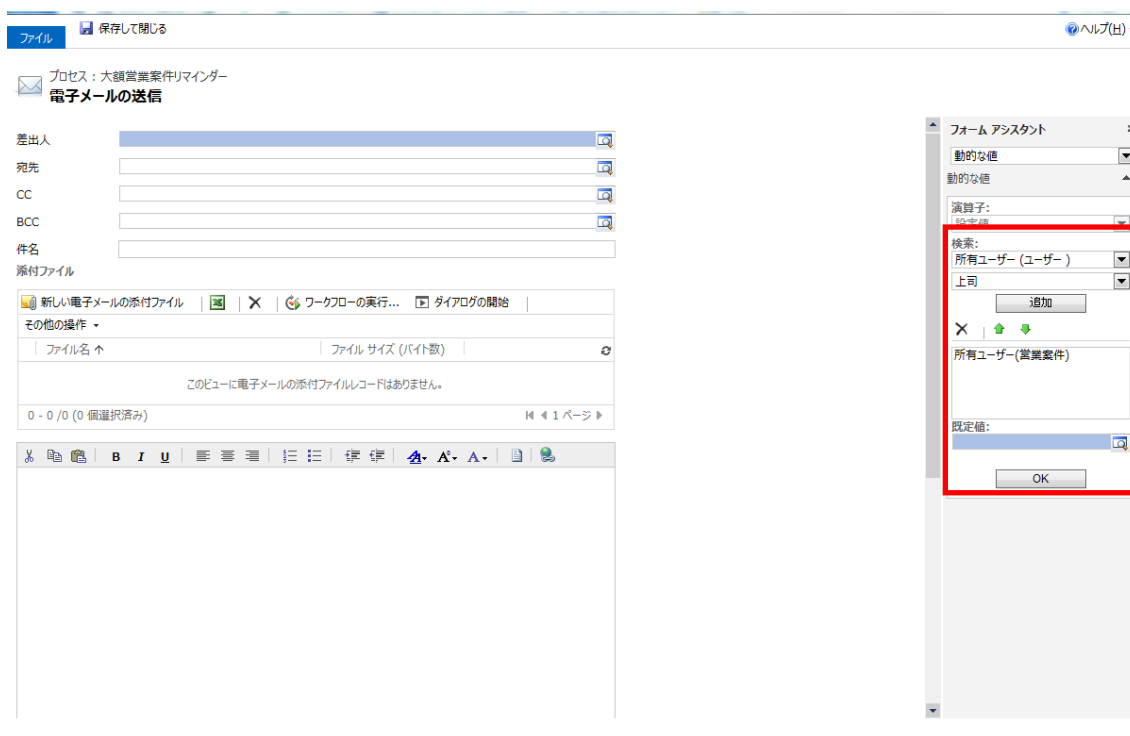
もし 営業案件 : 売上見込額 が [10,000,000.00] の場合には:

ここにステップの説明を入力します。

電子メールの送信: 新しいメッセージの作成 | プロパティの設定

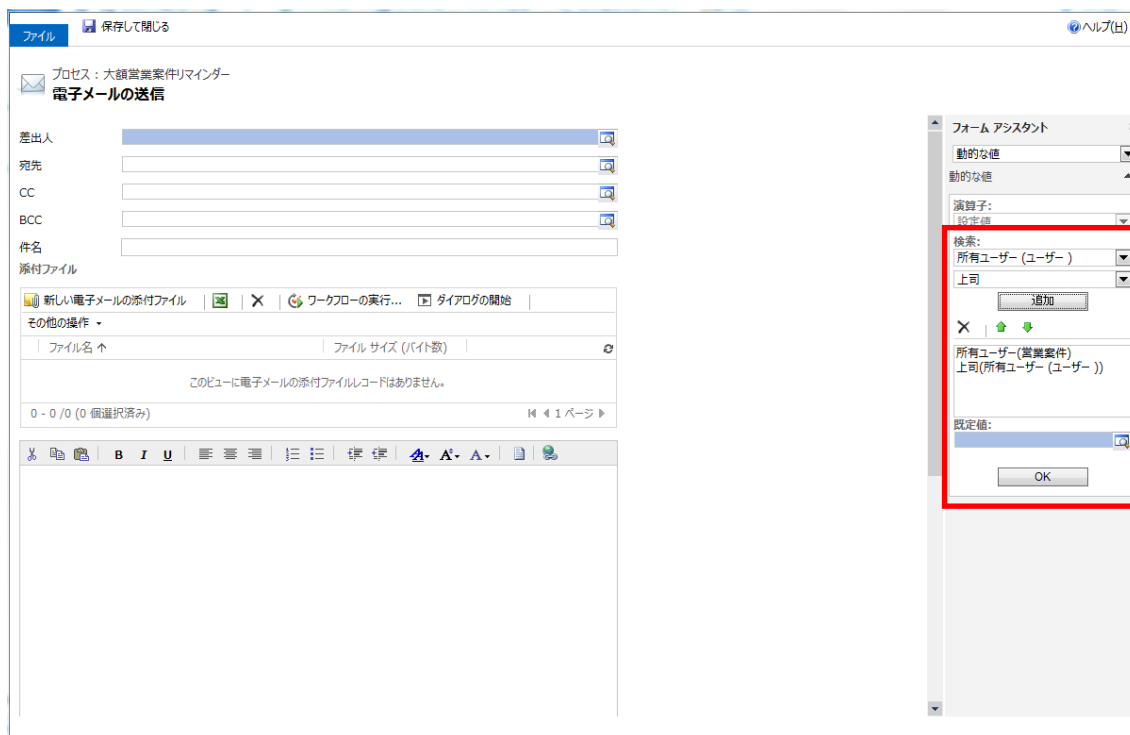
状態: 下書き

13. [電子メールの送信]画面にて、[営業案件]の[所有ユーザー]を[宛先]として追加するために、画面右側にある[フォーム アシスタント]から、[営業案件]、[所有ユーザー]、[追加]ボタンの順にクリックします。そうすると、[所有ユーザー（営業案件）]が候補として追加されます。



※ [営業案件]は[検索]プルダウンメニューを開きますと、[主エンティティ]のセクションに表示されます。

14. [フォーム アシスタント]から、[所有ユーザー(ユーザー)]、[上司]、[追加]ボタンの順にクリックして、[上司(所有ユーザー(ユーザー))]]を候補として追加します。



※ [所有ユーザー(ユーザー)]は[検索]プルダウンメニューを開きますと、[関連エンティティ]セクションに表示されます。

16. [宛先]を入力した後、他のデータ項目を入力します。入力が完了した後、[保存して閉じる]ボタンをクリックします。

差出人	山田 次郎
件名	高額案件がオープンのリマインダー
本文	<p>関連案件がオープンされて 2 週間立ちましたが、まだクローズされていません。</p> <p>内容を確認の上、必要なアクションを取ってください。</p>

※ これにて、電子メールの送信処理の設定が完了しました。これ以降、さらに 2 週間が過ぎた後に再度同様な条件を確認して、リマインダーを送付するように、子プロセスを呼び出す設定を行います。

17. [もし営業案件:売上見込>=[10,000,000]の場合には:]を含めるように、[ここにステップの説明を入力します。]の行をクリックして、[子ワークフローの開始]のステップを追加します。

ファイル | 保存して開く | アクティブ化 | リアルタイム ワークフローに変換 | 依存関係を表示 | 操作(A) | ヘルプ(H)

プロセス: 大額営業案件リマインダー | ソリューションの操作: 既定のソリューション

情報

全般 | 管理 | メモ

プロセスのプロパティを非表示

プロセス名: 大額営業案件リマインダー

次の種類としてアクティブ化: プロセス

エンティティ: 営業案件

カテゴリ: ワークフロー

実行可能なワークフロー

☒ このワークフローをバックグラウンドで実行する (推奨)

☐ オンデマンド プロセスとして

☒ 子プロセスとして

ワークフロー ジョブの保持

☒ 完了したワークフロー ジョブを自動的に削除する (ディスク容量の確保)

自動プロセスのオプション

スコープ: 組織全体

開始時期: ☒ レコードの作成

☐ レコードの状態の変更

☐ レコードの割り当て

☐ レコードフィールドの変更

☐ レコードの削除

ステップの追加 | 挿入 | このステップを削除します。

ここにステップの説明を入力します。

14 日までタイムアウト、その後

ここにステップの説明を入力します。

もし 営業案件 :状態 が次の値と等しい [オープン] の場合には:

ここにステップの説明を入力します。

もし 営業案件 :売上見込 >= [10,000,000.00] の場合には:

ここにステップの説明を入力します。

電子メールの送信: 新しいメッセージの作成 | プロパティの読取

ここにステップの説明を入力します。

子ワークフローの開始: 営業案件

状態: 下書き

18. 子ワークフローの虫眼鏡ボタンをクリックして、“大額営業案件リマインダー”を選択します。

The screenshot shows the configuration interface for a workflow named '大額営業案件リマインダー' (High-value business case reminder). The interface includes a sidebar with navigation options like '共有' (Share), '情報' (Information), '監視履歴' (Monitoring history), 'プロセス セッション' (Process session), and 'プロセス セッション' (Process session). The main area is divided into sections for 'プロセスのプロパティを非表示' (Hide process properties), '実行可能なワークフロー' (Executable workflow), 'ワークフロー ジョブの保持' (Workflow job retention), and 'ステップの追加' (Add step). The 'ステップの追加' section shows a list of steps with a red box highlighting the '子ワークフローの開始' (Start sub-workflow) step, where the '大額営業案件リ' (High-value business case) is selected.

※ 本自習書の事例では子ワークフローを 1 つしか呼び出しませんが、複数の子ワークフローを呼び出すことも可能です。ただし、複数の子ワークフローを呼び出した場合は、それぞれの子ワークフローが非同期に実行されることになることをご承知おきください。

※ これにて、2 週間毎に、営業案件の状態と金額を確認して、リマインダーを送付する処理の設定が完了しました。これ以降、営業案件がクローズされたときに終了処理を追加します。

19. [もし営業案件:状態が次の値と等しい[オープン]の場合には:]の行をクリックして、[既定の動作]のステップを追加します。

ファイル | 保存して閉じる | アクティブ化 | リアルタイム ワークフローに変換 | 依存関係を表示します | 操作(A) | ヘルプ(H)

プロセス: 大額営業案件リマインダー | ソリューションの操作: 既定のソリューション

全般 | 管理 | メモ

▼ プロセスのプロパティを非表示

プロセス名 * 大額営業案件リマインダー

次の種類としてアクティブ化: プロセス

エンティティ 営業案件

カテゴリ ワークフロー

実行可能なワークフロー

☒ このワークフローをバックグラウンドで実行する (推奨)

☐ オンデマンド プロセスとして

☒ 子プロセスとして

ワークフロー ジョブの保持

☒ 完了したワークフロー ジョブを自動的に削除する (ディスク容量の確保)

自動プロセスのオプション

スコープ 組織全体

開始時期: ☒ レコードの作成

☐ レコードの状態の変更

☐ レコードの割り当て

☐ レコードフィールドの変更 [選択]

☐ レコードの削除

ステップの追加 | 挿入 | このステップを削除します。

▼ ここにステップの説明を入力します。

14 日 までタイムアウト、その後

▼ ここにステップの説明を入力します。

もし、営業案件 : 状態が次の値と等しい [オープン] の場合には:

▼ ここにステップの説明を入力します。

もし 営業案件 : 売上見込み >= [10,000,000.00] の場合には:

- ここにステップの説明を入力します。
- 電子メールの送信: 新しいメッセージの作成 [プロパティの設定]
- ここにステップの説明を入力します。

子ワークフローの開始: 営業案件 [大額営業案件リマインダー]

または:

この行を選択し、[ステップの追加] をクリックします。

状態: 下書き

20. [さもないければ]のセクションに、[ワークフローの停止]のステップを追加します。[保存して閉じる]ボタンをクリックして、画面を閉じます。

ファイル | **保存して閉じる** | アクティブ化 | リアルタイム ワークフローに変換 | 依存関係を表示します | 操作(A) | ヘルプ(H)

プロセス: 大額営業案件リマインダー | リビューションの操作: 既定のリビューション

情報

全般 | 管理 | メモ

▼ プロセスのプロパティを非表示

プロセス名: 大額営業案件リマインダー

次の種類としてアクティブ化: プロセス

実行可能なワークフロー

☒ このワークフローをバックグラウンドで実行する (推奨)

☐ オンデマンド プロセスとして

☒ 子プロセスとして

ワークフロー ジョブの保持

☒ 完了したワークフロー ジョブを自動的に削除する (ディスク容量の確保)

エンティティ: 営業案件

カテゴリ: ワークフロー

自動プロセスのオプション

スコープ: 組織全体

開始時期: ☒ レコードの作成

☐ レコードの状態の変更

☐ レコードの割り当て

☐ レコードフィールドの変更

☐ レコードの削除

選択

ステップの追加 | 挿入 | このステップを削除します。

ここにステップの説明を入力します。

14 日 までタイムアウト、その後

ここにステップの説明を入力します。

もし 営業案件 : 状態 が次の値と等しい [オープン] の場合には:

ここにステップの説明を入力します。

もし 営業案件 : 売上見込み >= [10,000,000.00] の場合には:

- ここにステップの説明を入力します。
- 電子メールの送信: 新しいメッセージの作成 | プロパティの設定
- ここにステップの説明を入力します。

子ワークフローの開始: 営業案件 | 大額営業案件リマインダー

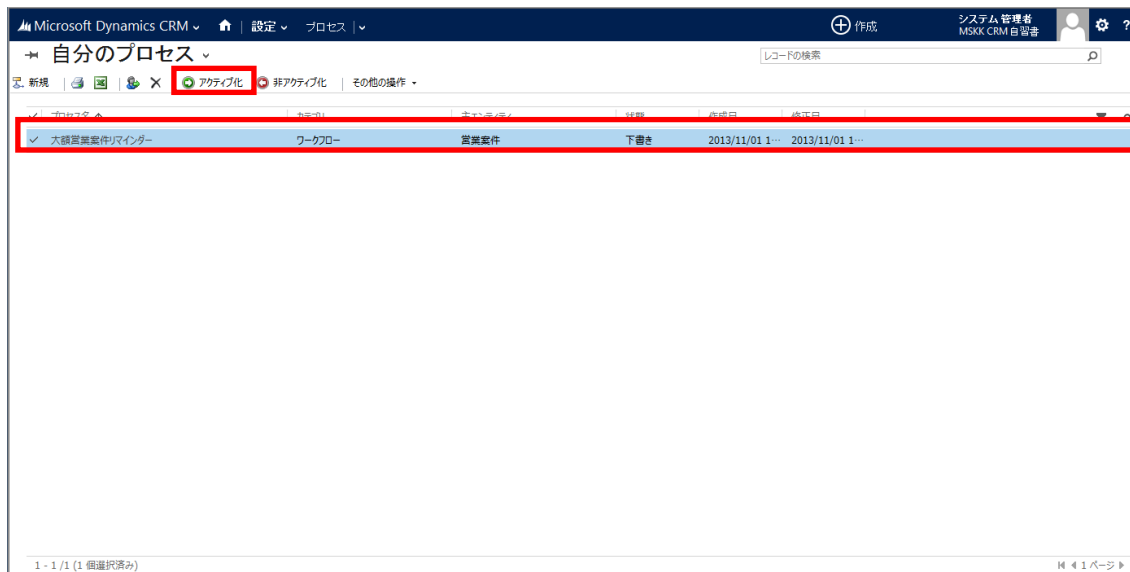
さもないければ:

- ここにステップの説明を入力します。

次のステータスでワークフローを停止: 成功しました | プロパティの設定

状態: 下書き

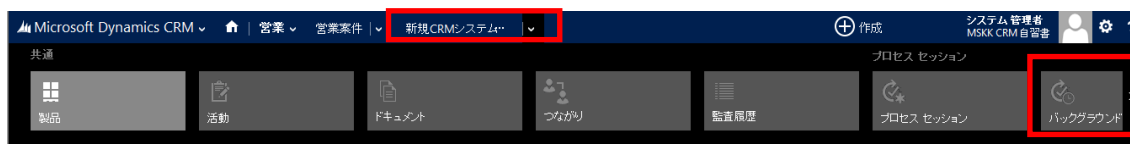
21. 作成されたワークフローを選択した上、[アクティブ化]ボタンをクリックします。[状態]が[アクティブ化]になっているワークフローは有効となります。



22. [プロセスのアクティブ化の確認]ダイアログが表示されます。[アクティブ化]をクリックします。



23. ワークフローが公開された後、新規に営業案件を作成した場合、“高額営業案件リマインダー”ワークフローが実行されます。



※ 営業案件の[プロセスセッション]、[バックグラウンドプロセス]は初期状態では非表示となっています。[フォーム]のカスタマイズ画面より、ナビゲーションの表示設定を行うことで表示されます。

24. [プロセス名]をクリックすると、ワークフローの詳細や実行状況を確認することができます。

システム ジョブ : 大額営業案件リマインダー

情報

システム ジョブ : 情報
全般
詳細

関連

名前: 大額営業案件リマインダー 種類: ワークフロー

関連: ☐ 新規CRMシステムの導入 作成日: 2013/11/01 16:10

ジョブ所有者*: システム 管理者 完了日時:

再試行の回数: 0

開始理由: レコードが作成されました 延期: 2013/11/15 16:10

プロセスの進行状況

ステップの説明: 指定されていません。

14 日までタイムアウト、その後

ステップの説明: 指定されていません。

もし 営業案件 : 状態 が次の値と等しい [オープン] の場合には:

ステップの説明: 指定されていません。

もし 営業案件 : 売上見込み >= [10,000,000.00] の場合には:

- 電子メールの送信: 新しいメッセージの作成 [プロパティの表示](#)
- 子ワークフローの開始: 大額営業案件リマインダー [プロパティの表示](#)

状態: 待機中

※ Dynamics CRM で実際に電子メールを送信するために、電子メール連携を構成する必要があります。電子メール連携の構成については本自習書「設定編」をご参照ください。

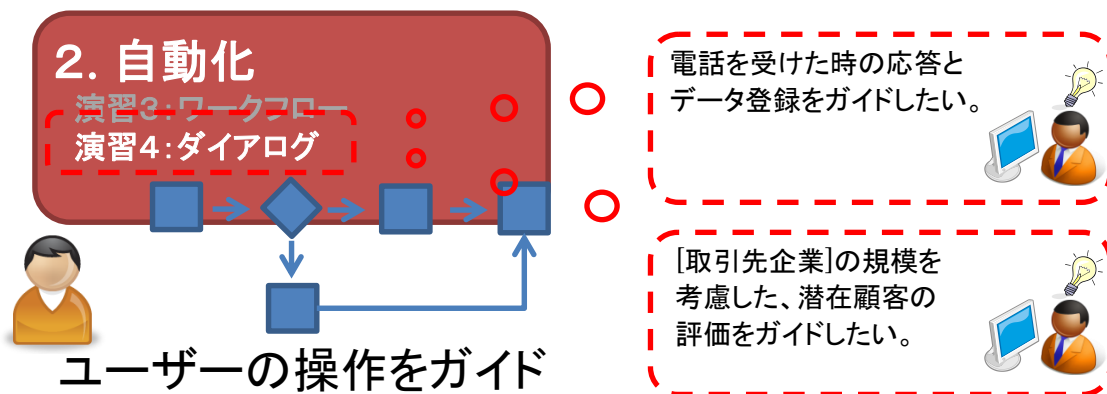
演習 4. ダイアログ

この演習で、あなたがシステムカスタマイザとなって、ユーザーの入力を受けながら実行される対話型ダイアログを実装します。

◆ 演習のゴール

Dynamics CRM の以下の機能を理解します。

- ダイアログの作成
- ダイアログでユーザーの入力を求める
- Dynamics CRM のデータをダイアログに表示
- ダイアログでレコードを作成



◆ 用語説明

演習 4 で使用する用語について説明します。

[ダイアログ]

入力補助用の画面を指します。

複数ページに渡る画面を1つにまとめて管理することができます。

[プロセス]

ワークフローあるいはダイアログのことを指します。

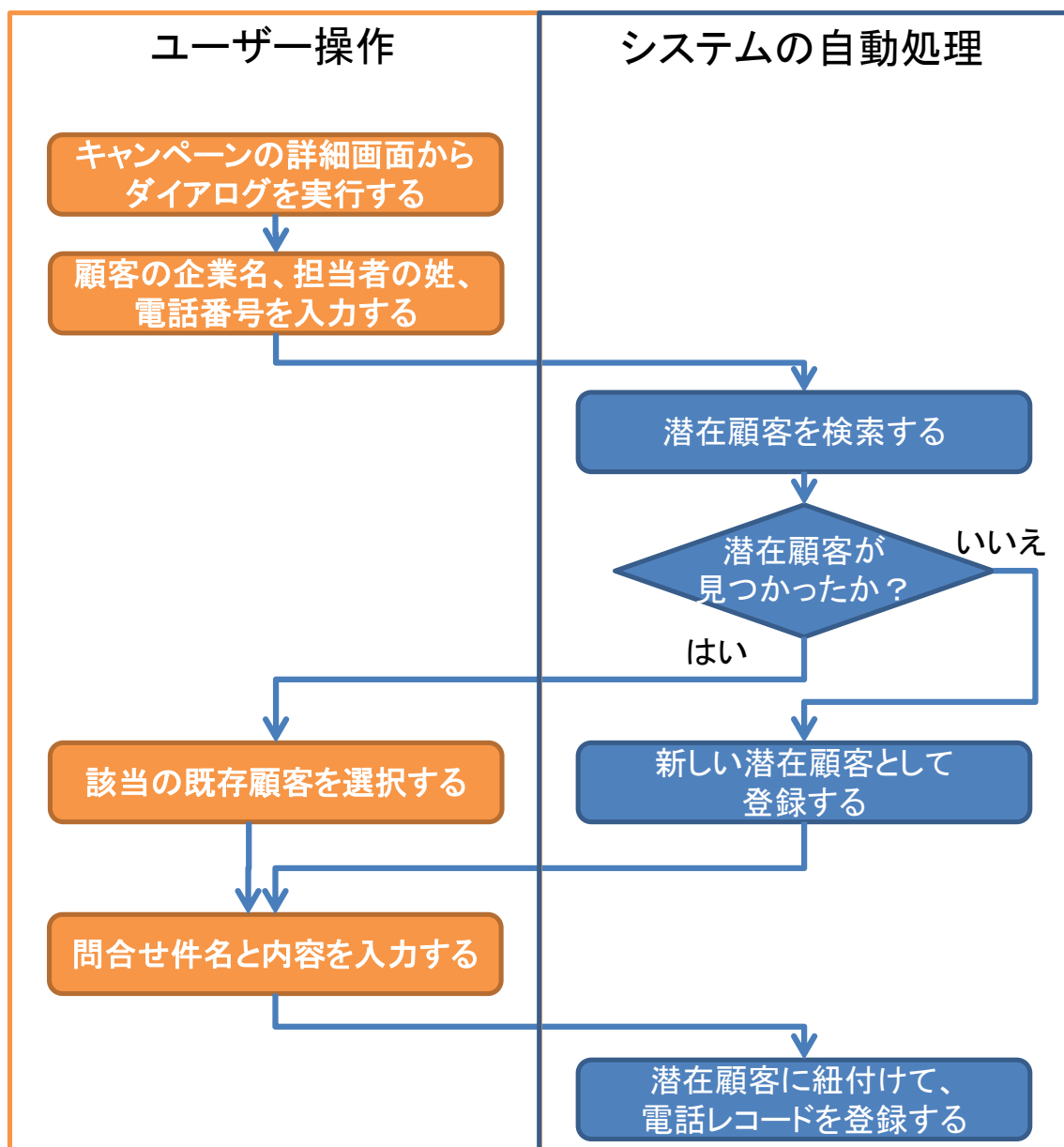
[プロンプト]

ダイアログ画面において入力を促すことを指します。

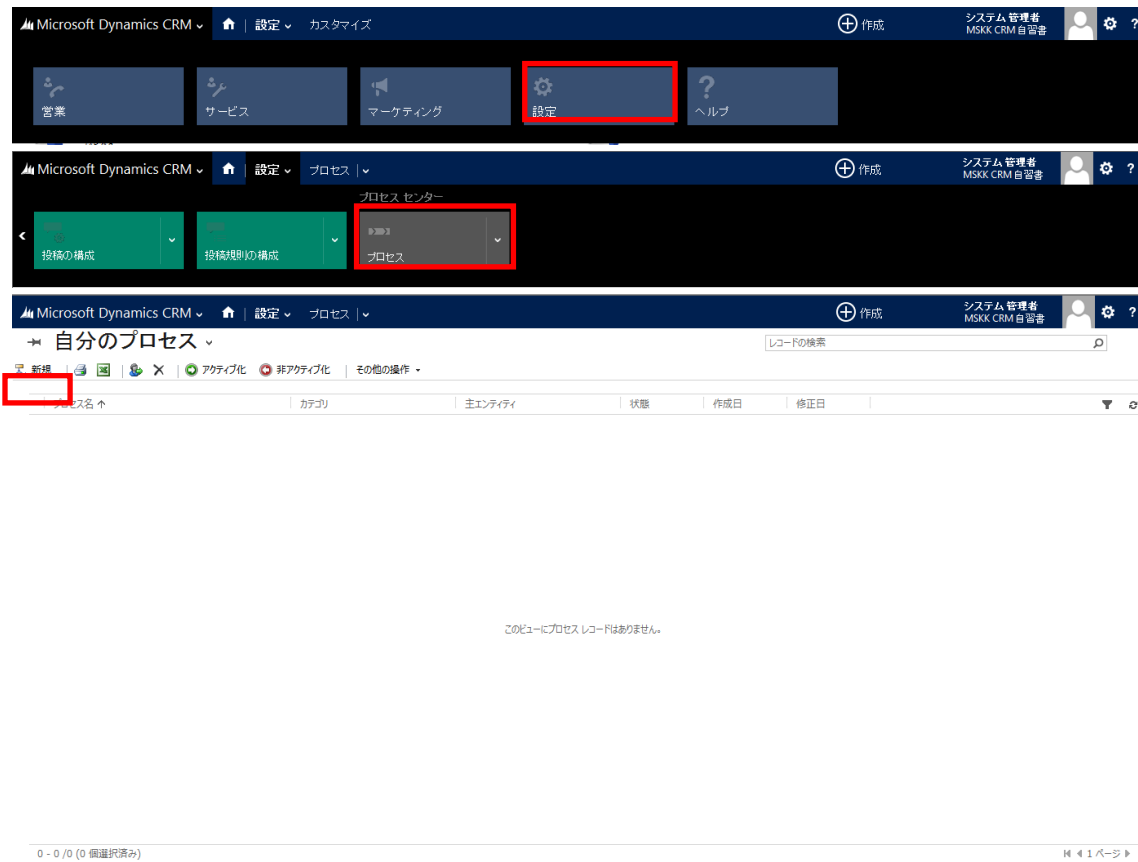
機能 1. ダイアログ

本節で問合せの入力をガイドするようなダイアログを作成して、ダイアログの作成方法と機能を確認していただきます。

Dynamics CRM を利用している A 社が“製品発売キャンペーン(サンプル)”のキャンペーンを行ったところ、顧客からこのキャンペーンに関する問い合わせを電話で受けました。新規顧客なら[潜在顧客]として登録する必要があります。その後、電話レコードを対象の潜在顧客に紐付けた上で、件名と内容を入力して Dynamics CRM に登録します。具体的には以下のフローにてこのダイアログを実装します。



1. [設定]→[プロセス]の順にクリックすると、プロセスの一覧が表示されます。[新規]ボタンをクリックします。



2. [プロセスの作成]画面が開きます。以下のデータを入力して、[OK] ボタンをクリックします。

項目	値	説明
プロセス名	キャンペーン問合せの入力ガイド	プロセスを識別する名前を設定します。
エンティティ	キャンペーン	プロセスを実行するエンティティを選択します。
カテゴリ	ダイアログ	以下から選択します。 ・ダイアログ ・ワークフロー ・操作 ・業務プロセスフロー
種類	空のプロセスの新規作成	既存テンプレートが登録されている場合は、そこからダイアログの作成を始めることができます。 そうでない場合は、空のプロセスから新規に作成します。

※ 一部カテゴリ(操作、業務プロセスフロー)の内容は、新機能編をご参照下さい。

プロセスの作成
新しいプロセスを作成するか、既存のテンプレートからプロセスを作成します。作成できるプロセスには、業務プロセスフロー、操作、ダイアログ、ワークフローの4種類があります。

プロセス名: *

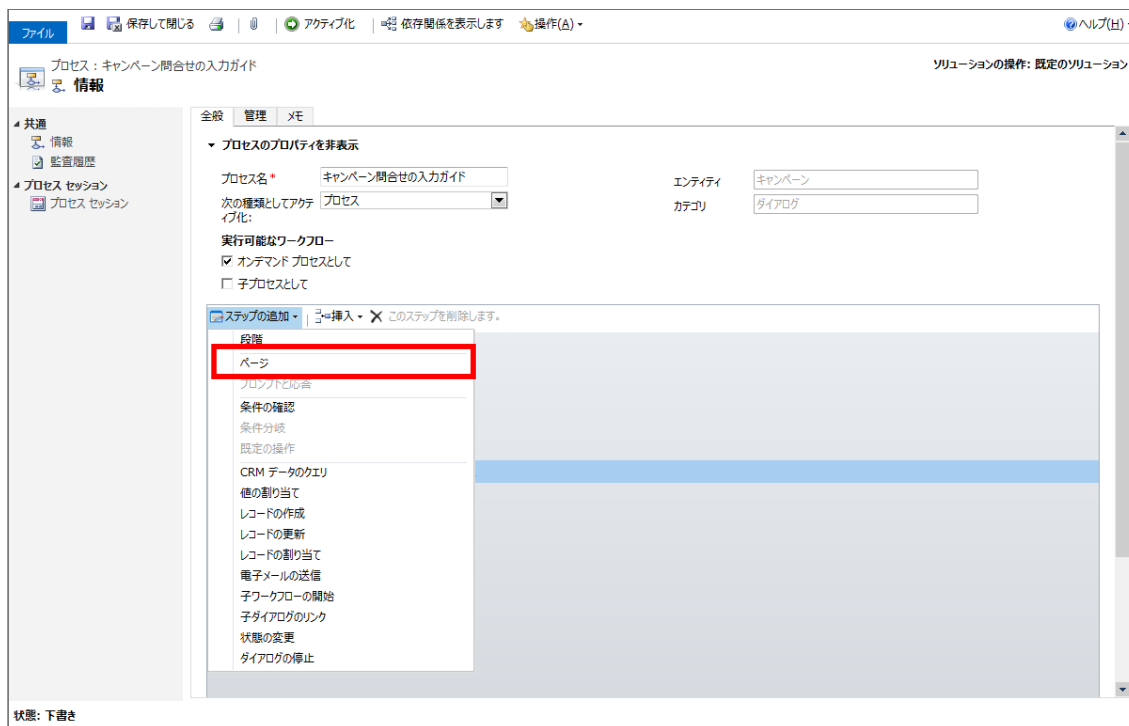
カテゴリ: * ▼ エンティティ: * ▼

種類: ☒ 空のプロセスの新規作成
☐ 既存テンプレートからのプロセスの新規作成 (一覧から選択):

テンプレート名 ↑	主エンティティ	所有者
このビューで利用できるプロセス テンプレート レコードはありません。		

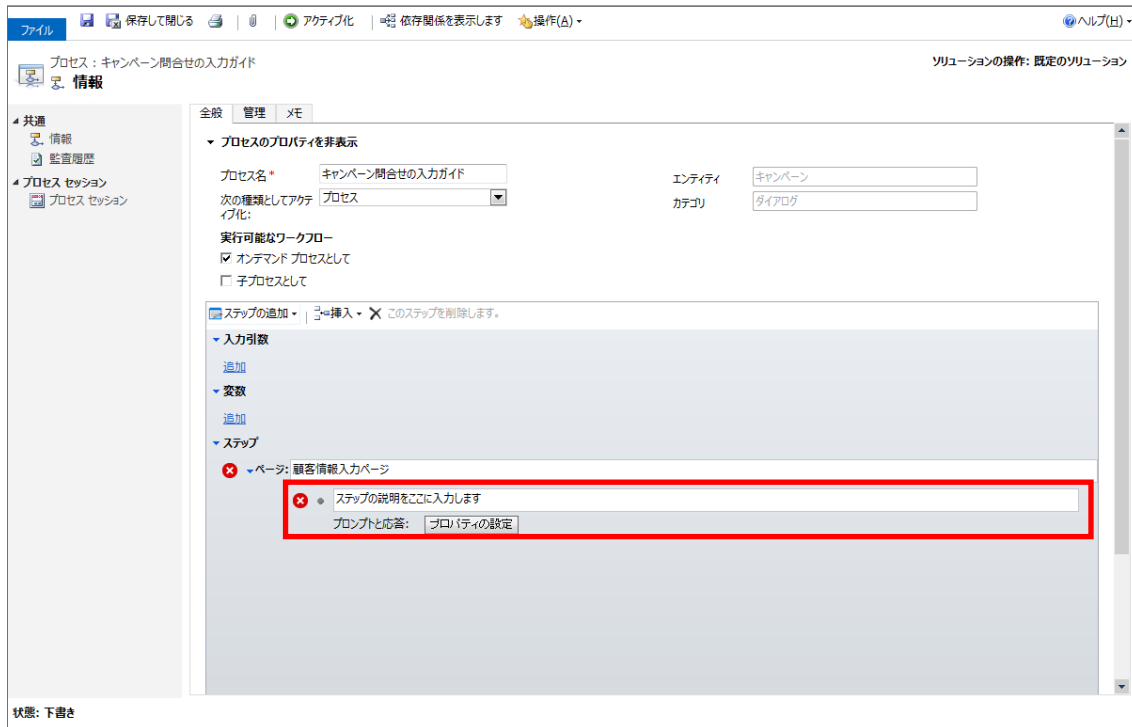
0 - 0 / 0 (0 個選択済み) ◀ ◻ 1 ページ ▶

3. [この行を選択して、[ステップの追加]をクリックします。]の行を選択して、[ステップの追加]をクリックして、[ページ]を選んで、[ページ]ステップを追加します。[説明をここに入力します。]の部分に、“顧客情報入力ページ”との内容を入力します。



※ 顧客の企業名、担当者の姓、電話番号を入力する画面を作成します。

4. [ページ]のステップが一つ追加されます。同様の手順で、追加された[ページ]ステップに、[プロンプトと応答]ステップを1つ追加します。その後[プロパティの設定]をクリックして、[プロンプトと応答]のプロパティ設定を構成します。



5. [プロンプトと応答の定義]ダイアログが表示されます。以下のようにデータを入力して、[保存して閉じる]ボタンをクリックします。

項目	値	説明
ステートメントのラベル	お客様の企業名	この[プロンプトと応答]のラベル名を設定します。
プロンプトのテキスト	お客様の企業名を入力します。	エンドユーザーの画面に表示し、入力内容をガイドする文言を入力します。
ヒントのテキスト	電話をいただいている顧客が法人の場合、顧客名を聞き取ります。	エンドユーザーの画面に表示し、入力内容に関する付加的な説明を入力します。
応答の種類	1 行	以下から選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ・なし ・1 行 ・オプション セット(ラジオ ボタン) ・オプション セット(候補リスト) ・複数行(テキストのみ) ・日付と時間 ・日付のみ ・検索
データの種類	テキスト	以下から選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ・テキスト ・整数 ・浮動小数

ファイル

保存して閉じる

ヘルプ(H)

全般

ステートメントのラベル * お客様の企業名

プロンプトの詳細

プロンプトのテキスト *

お客様の企業名を入力します。

ヒントのテキスト

電話をいただいている顧客が法人の場合、顧客名を聞き取ります。

応答の詳細

応答の種類

1行

データの種類

テキスト

ログの応答

☒ はい
 ☐ いいえ

既定値

値の提供

☒ 値の定義
 ☐ CRM データのクエリ

応答値

値 *

ラベル *

フォーム アシスタント

動的な値

動的な値

演算子:

設定値

検索:

キャンペーン

UTC 変換タイムゾーンコード

追加

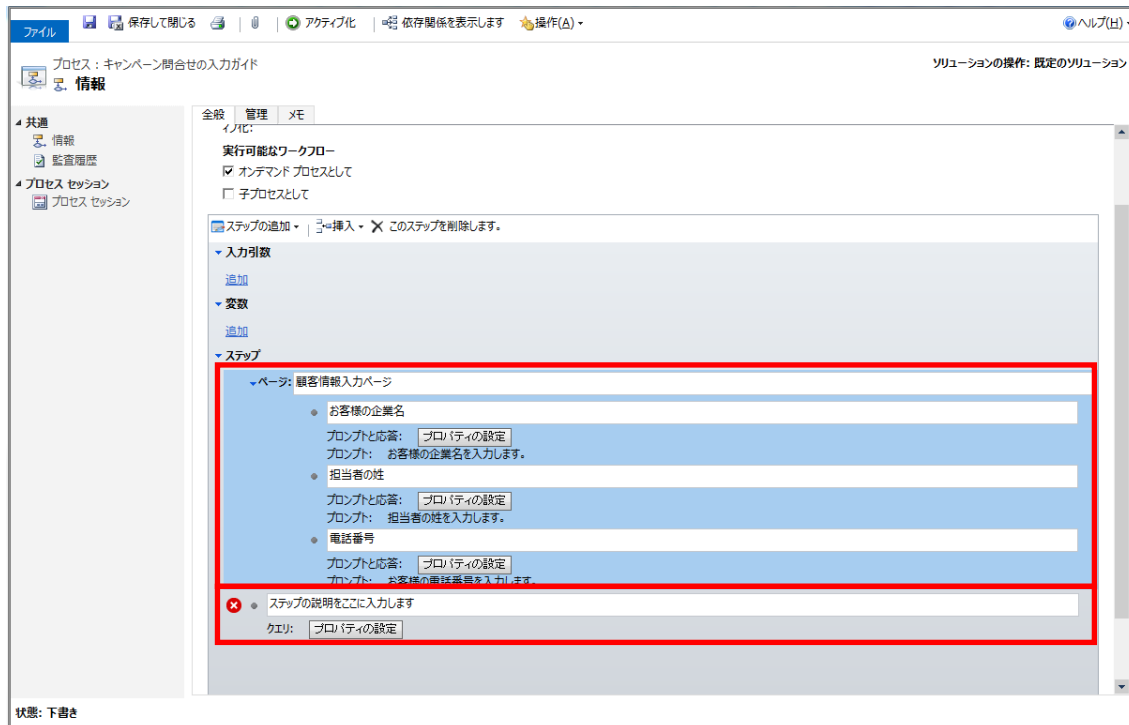
OK

156

6. “お客様の企業名”の[プロンプトと応答]が構成されます。同様の手順で、“担当者の姓”と“電話番号”の[プロンプトと応答]を追加し、構成します。

※ これまではユーザーからの入力を受け付けるページを実装しました。これからはこれらの入力データをもとに、既存の潜在顧客を確認する処理を実装します。

7. [ページ]ステップ全体を選択して、[ステップの追加]で [CRM データのクエリ]ステップを追加します。



※ [ページ]ステップ全体を選択することで、[ページ]の中ではなく、次のステップとして、[CRM データのクエリ]ステップを追加することができます。

8. [クエリの定義]ダイアログが表示されます。[新規設定]タブで、以下のようにデータを入力します。

項目	値	説明
ステートメントのラベル	既存の潜在顧客	このクエリのラベル名を入力します。
検索	潜在顧客	検索するエンティティをリストから選択します。

また、以下のように条件を構成します。

会社名	が次の値と等しい	1
姓	が次の値と等しい	1
勤務先電話番号	が次の値と等しい	1

全般

ステートメントのラベル: 既存の潜在顧客

クエリの詳細

新規設計 | クエリ変数の変更

列の編集

検索: 潜在顧客 | 保存されているビューの使用: [新規]

クリア | グループ AND | グループ OR

- 会社名: が次の値と等しい | 1
- 姓: が次の値と等しい | 1
- 勤務先電話番号: が次の値と等しい | 1

選択

検索()

- ※ 各条件の値は“1”と入力してありますが、これは一時的な入力で、次の画面で変更します。
- ※ 必要があれば、[列の編集]ボタンをクリックして、取得する列を変更できます。このダイアログの中で利用出来るデータは、ここで取得するように設定しておく必要があります。
- ※ [保存されているビューの使用]のリストを利用して、[検索]対象エンティティで既にあるビューを利用してデータを絞り込むことができます。

9. [クエリの定義]ダイアログが表示されます。[クエリ変数の変更]タブで、以下のようにデータを入力して、[保存して閉じる]ボタンをクリックします。

Variable1	{応答テキスト(お客様の企業名)}
Variable2	{応答テキスト(担当者の姓)}
Variable3	{応答テキスト(電話番号)}

Variable1 を入力するためには以下の順序で操作します。

- (1) [クエリ変数の変更]をクリックし表示を切り替えます。
- (2) Variable1 をクリックします。
- (3) [フォームアシスタント]の検索をクリックし、“お客様の企業名”を選択します。
- (4) すると、“応答テキスト”が選択された状態になることを確認します。
- (5) [追加]ボタンをクリックして、候補値として{応答テキスト(お客様の企業名)}を追加します。
- (6) [OK] ボタンをクリックして、値を設定します。

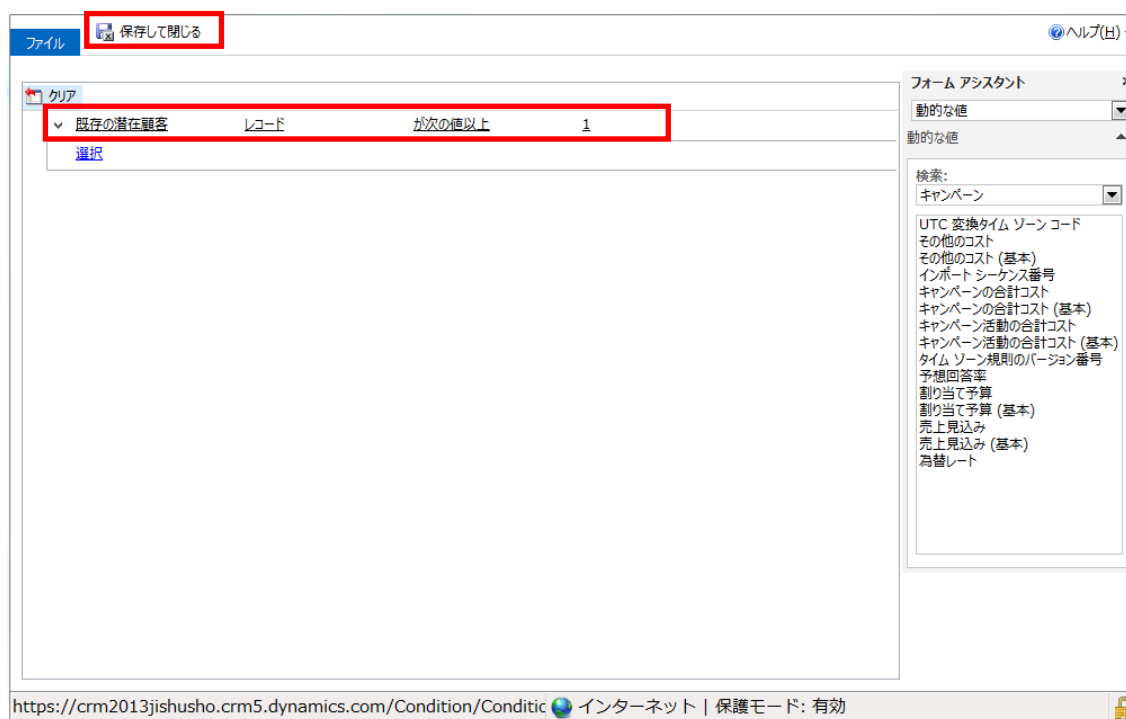
- ※ 選択されている Variable の名前などは画面の下部に表示されます。
- ※ これにてデータのクエリ自体は完了します。これ以降は、取得したデータによって、既存の潜在顧客として見つかったかどうかの分岐処理を実装します。

10. [既存の潜在顧客]ステップの次に、[条件の確認]ステップを追加します。[<condition>(くりりックして構成)]をクリックして、条件を構成します。



11. [条件の指定]ダイアログで、潜在顧客が存在する場合の条件を、以下のように構成します。
その後、[保存して閉じる]ボタンをクリックします。

既存の潜在顧客
レコード
が次の値以上
1



※ これ以降は既存の潜在顧客が存在する場合の処理を実装します。

12. [もし、既存の潜在顧客レコード >= [1]の場合には]の下を行を選択して、“既存顧客の選択ページ”という説明で[ページ]ステップを追加して、その[ページ]ステップに[プロンプトと応答]ステップを追加します。その後、[プロンプトと応答]ステップの[プロパティの設定]ボタンをクリックし、[プロンプトと応答]の設定を構成します。

ファイル | 保存して閉じる | アクティブ化 | 依存関係を表示します | 操作(A) | ヘルプ(H)

プロセス: キャンペーン問合せの入力ガイド | ソリューションの操作: 既定のソリューション

情報

共通

情報

監査履歴

プロセス セッション

プロセス セッション

全般 | 管理 | XERO

ステップの追加 | 挿入 | このステップを削除します。

入力引数

追加

変数

追加

ステップ

ページ: 顧客情報入力ページ

お客様の企業名

プロンプトと応答: プロパティの設定

プロンプト: お客様の企業名を入力します。

担当者の姓

プロンプトと応答: プロパティの設定

プロンプト: 担当者の姓を入力します。

電話番号

プロンプトと応答: プロパティの設定

プロンプト: お客様の電話番号を入力します。

既存の潜在顧客

クエリ: プロパティの設定

ここにステップの説明を入力します。

もし 既存の潜在顧客レコード >= [1]の場合には:

ページ: 既存顧客の選択ページ

ステップの説明をここに入力します

プロンプトと応答: プロパティの設定

状態: 下書き

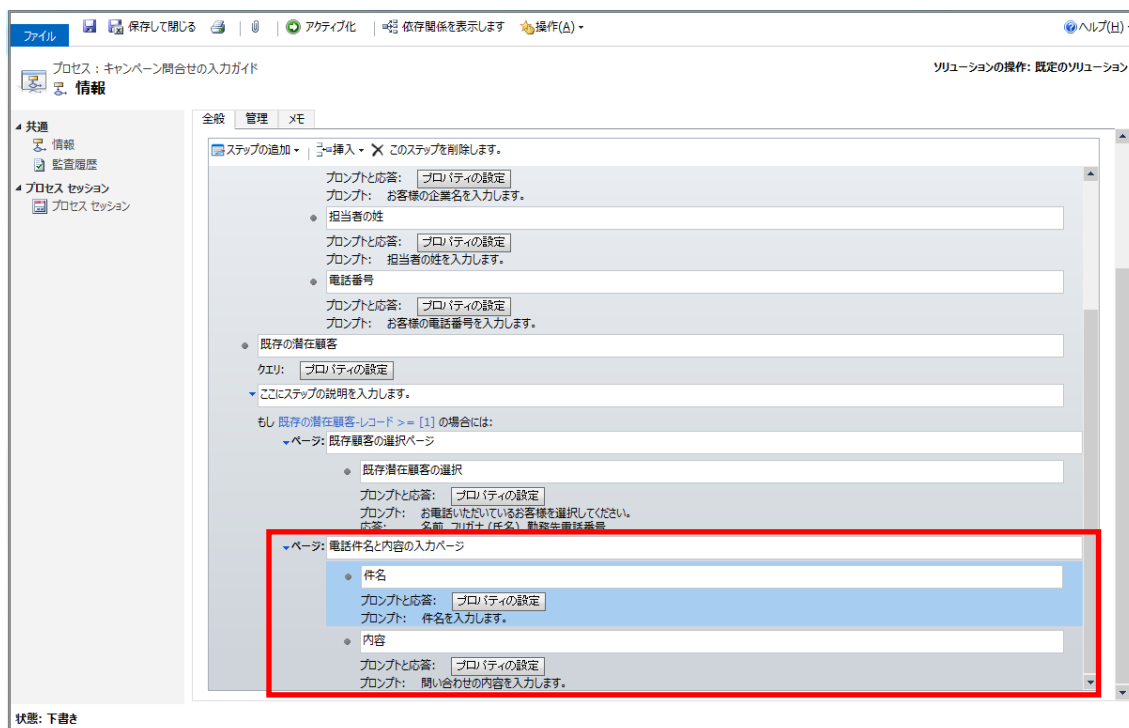
13. [プロンプトと応答の定義]ダイアログが表示されます。以下のデータを入力して、[保存して閉じる]ボタンをクリックします。

項目	値	説明
ステートメントのラベル	既存潜在顧客の選択	
プロンプトのテキスト	お電話いただいているお客様を選択してください。	
ヒントのテキスト	複数候補がある場合は、さらに質問したうえ1人のお客様に絞り込んでください。	
応答の種類	オプション セット(ラジオ ボタン)	
値の提供	CRM データのクエリ	以下から選択します。 ・値の定義 ・CRM データのクエリ
クエリ変数	既存の潜在顧客	[値の提供]は [CRM データのクエリ]と選択した場合、このダイアログの中で、設定してある [CRM データのクエリ]を選択します。
区切り記号	, (半角カンマと半角スペース)	複数の列を表示するときに、それらを区切る文字を設定します。
列	名前、フリガナ(氏名)、勤務先電話番号	表示する列を選択します。

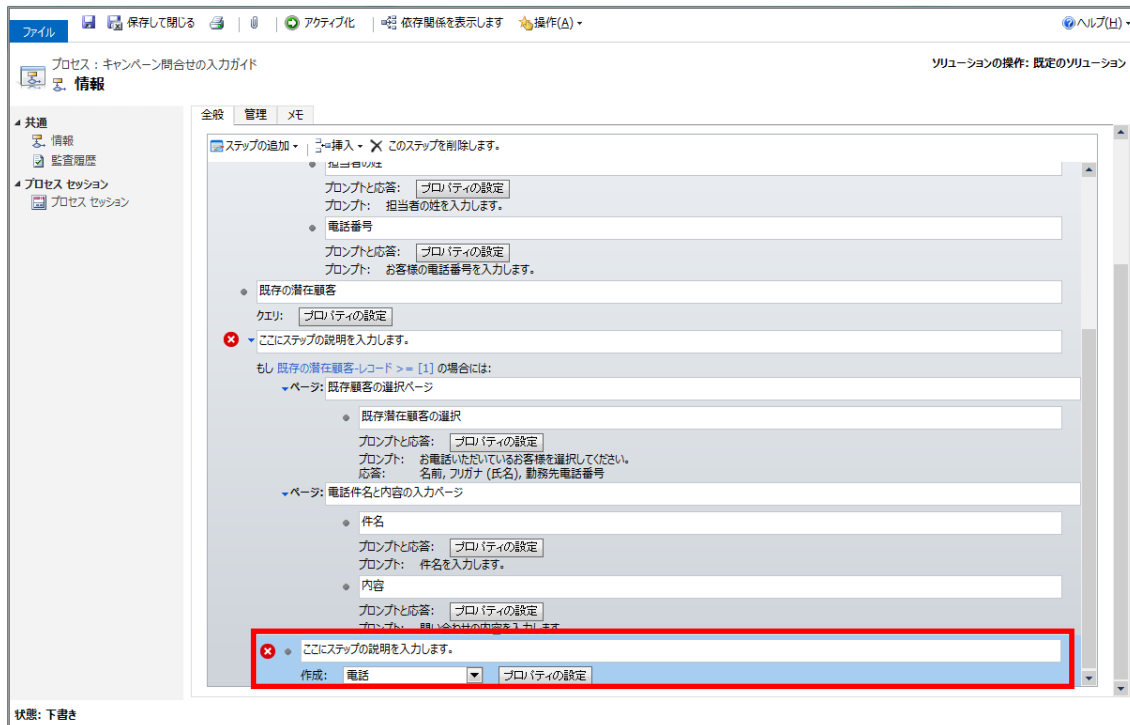
※ [列]で候補として表示される内容は、手順 8(159 ページ)の設定で、[CRM データのクエリ]で取得する[列]が表示されます。上記以外の列を利用したい場合は、手順 8 にて[列の編集]ボタンをクリックして、列を構成してください。

※ これにて既存顧客の選択が完了します。これ以降は既存顧客の情報と共に、[件名]と[内容]を入力して、[電話]レコードを作成する処理を実装します。

14. 既存顧客選択ページ全体をクリックして、[ページ]ステップを追加し、説明の内容は“電話件名と内容の入力ページ”と入力します。このページに[プロンプトと応答]のステップを2つ追加して、1つ目は件名を、2つ目は内容を入力します。ただし、2つ目のプロンプトと応答について[応答の種類]は[複数行のテキスト]を選択します。



15. “電話件名と内容の入力ページ”全体をクリックして、[レコードの作成]ステップを追加します。
[作成]は[電話]を選択した上、[プロパティの設定]をクリックします。



16. [電話]の[新規]ダイアログが表示されます。以下のデータを設定して、[保存して閉じる]ボタンをクリックします。

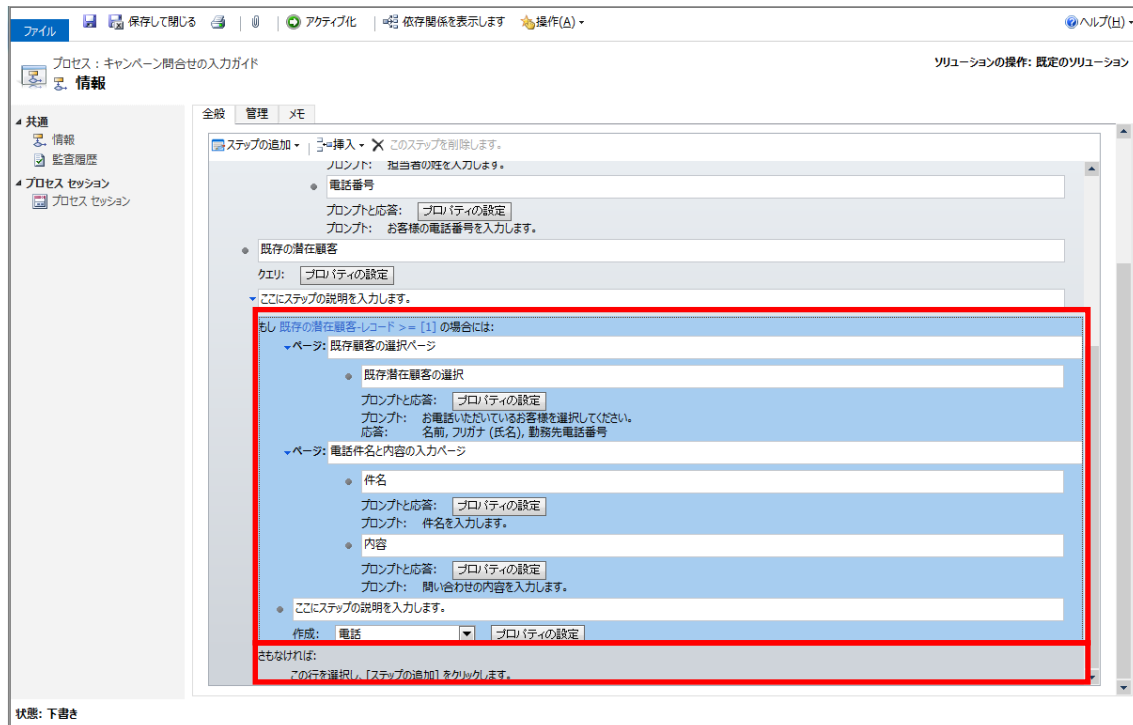
通話元	{潜在顧客(既存潜在顧客の選択(潜在顧客))}
通話先	{ユーザー(所有ユーザー(ユーザー))}
電話番号	{応答テキスト(電話番号)}
通信方向	着信
件名	{応答テキスト(件名)}
内容	{応答テキスト(内容)}

なお、[通信方向]以外の値はすべて[動的な値]として、[フォーム アシスタント]を使って入力します。以下、発信者を例に手順を説明します。

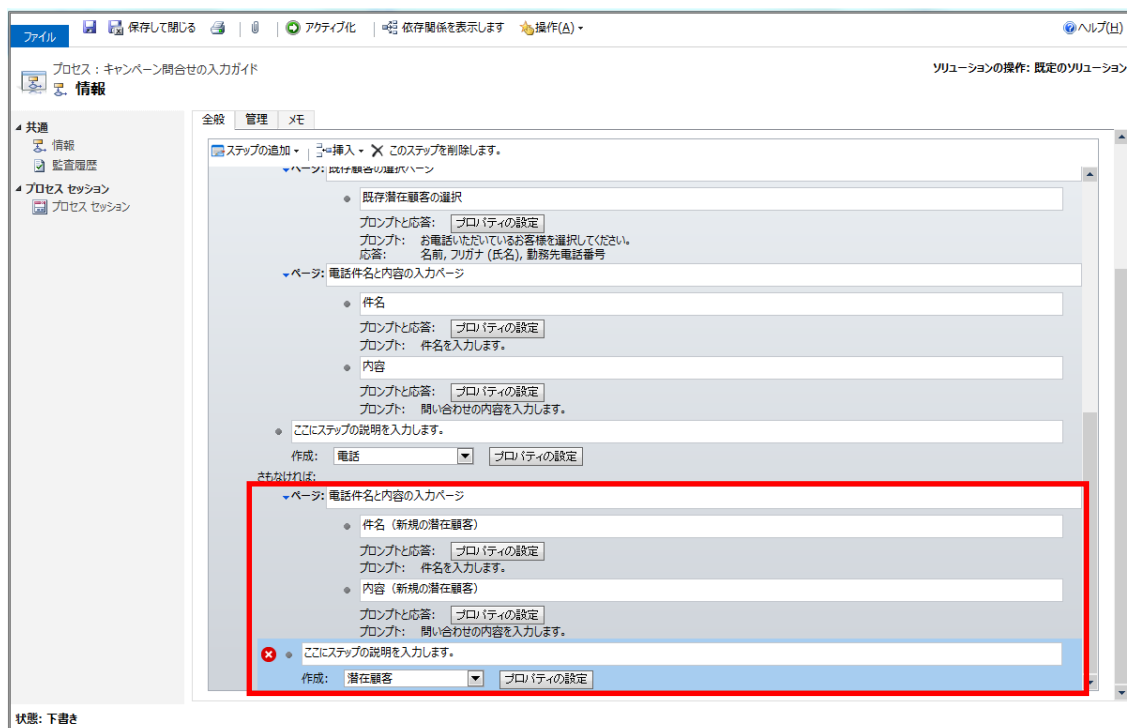
- (1) [発信者]フィールドをクリックします。
- (2) [フォーム アシスタント]の[検索]で[既存潜在顧客の選択(潜在顧客)]を選択します。
- (3) [検索]の2つ目のプルダウンメニューが[潜在顧客]になることを確認します。
- (4) [追加]ボタンをクリックして、候補として追加します。
- (5) [{潜在顧客(既存潜在顧客の選択(潜在顧客))}]を選択して、[OK]ボタンをクリックします。

- ※ これにて、既存の潜在顧客を選択した場合の電話登録が完了しました。これ以降は潜在顧客が見つからなかった場合として、新規に潜在顧客を登録した上で、電話レコードの登録を実装します。

17. [もし既存の潜在顧客 レコード >= [1]の場合には]のステップ全体をクリックして、[既定の操作]のステップを追加します。



18. [さもないば]の次の行をクリックして、[ページ]ステップを追加し、説明の内容は“電話件名と内容の入力ページ”と入力します。このページに[プロンプトと応答]のステップを2つ追加して、1つ目は件名を、2つ目は内容を入力します。ただし、2つ目のプロンプトと応答について[応答の種類]は[複数行(テキストのみ)]を選択します。



※ 手順 14 で追加した入力ページと同じページをもう一つ追加します。ただし、手順 14 で追加した入力名称と区別するため、今回は“件名（新規の潜在顧客）”と“内容（新規の潜在顧客）”とします。

19. [電話件名と内容の入カページ]全体をクリックして、[レコードの作成]ステップを追加します。
エンティティは[潜在顧客]と選択した上、[プロパティの設定]ボタンをクリックします。

ファイル | 保存して閉じる | アクティブ化 | 依存関係を表示 | 操作(A) | ヘルプ(H)

プロセス: キャンペーン問合せの入力ガイド | ソリューションの操作: 既定のソリューション

情報

全般 | 管理 | メモ

▼ プロセスのプロパティを非表示

プロセス名 * | キャンペーン問合せの入力ガイド | エンティティ | キャンペーン

次の種類としてアクティブ化: | プロセス | カテゴリ | ダイアログ

実行可能なワークフロー

☒ オンデマンド プロセスとして

☐ 子プロセスとして

ステップの追加 | 挿入 | このステップを削除します。

プロンプトと応答: | プロパティの設定

プロンプト: | 件名を入力します。

● 内容

プロンプトと応答: | プロパティの設定

プロンプト: | 問合せの内容を入力します。

● ここにステップの説明を入力します。

作成: | 電話 | プロパティの設定

最もなければ:

▼ ページ: 電話件名と内容の入カページ

● 件名 (新規の潜在顧客)

プロンプトと応答: | プロパティの設定

プロンプト: | 件名を入力します。

● 内容 (新規の潜在顧客)

プロンプトと応答: | プロパティの設定

プロンプト: | 問合せの内容を入力します。

● ここにステップの説明を入力します。

作成: | 潜在顧客 | プロパティの設定

状態: 下書き

20. [潜在顧客]の[新規]ダイアログが表示されますが、以下のデータを入力して、[保存して閉じる]ボタンをクリックします。

トピック	{応答テキスト(件名)}
姓	{応答テキスト(担当者の姓)}
会社名	{応答テキスト(お客様の企業名)}
勤務先電話番号	{応答テキスト(電話番号)}
説明	キャンペーンの問合せにて登録されました。
ソースキャンペーン	{キャンペーン(キャンペーン)}

- ※ トピック、姓、会社名、勤務先電話番号やソースキャンペーンの入力は[フォーム アシスタント]を利用して、[動的な値]として入力します。
21. 次に、この潜在顧客に紐付けて、電話レコードを登録します。この手順は 167 ページの 15 および 16 と同様です。
22. [保存して閉じる]をクリックしてプロセスの作成を終了します。

ファイル | **保存して開く** | | | アクティブ化 | 依存関係を表示します | 操作(A) | ヘルプ(H)

プロセス：キャンペーン問合せの入力ガイド ソリューションの操作：既定のソリューション

情報

共通
情報
監査履歴

プロセス セッション
プロセス セッション

全般 管理 メモ

ステップの追加 | 挿入 | このステップを削除します。

プロンプトと応答: [プロパティの設定]
 プロンプト: お電話いただいているお客様を選択してください。
 応答: 名前、フリガナ (氏名)、勤務先電話番号

▼ ページ: 電話件名と内容の入力ページ

- 件名
 プロンプトと応答: [プロパティの設定]
 プロンプト: 件名を入力します。
- 内容
 プロンプトと応答: [プロパティの設定]
 プロンプト: 問い合わせの内容を入力します。
- ここにステップの説明を入力します。
 作成: 電話 [プロパティの設定]

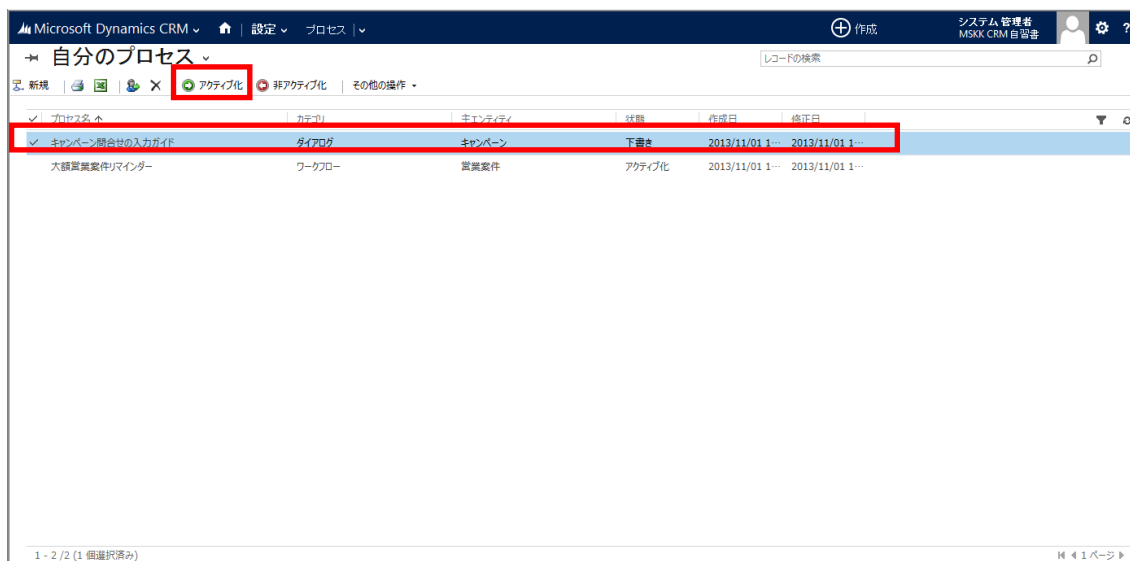
さもなければ:

▼ ページ: 電話件名と内容の入力ページ

- 件名 (新規の潜在顧客)
 プロンプトと応答: [プロパティの設定]
 プロンプト: 件名を入力します。
- 内容 (新規の潜在顧客)
 プロンプトと応答: [プロパティの設定]
 プロンプト: 問い合わせの内容を入力します。
- ここにステップの説明を入力します。
 作成: 電話 [プロパティの設定]
- ここにステップの説明を入力します。
 作成: 潜在顧客 [プロパティの設定]

状態: 下書き

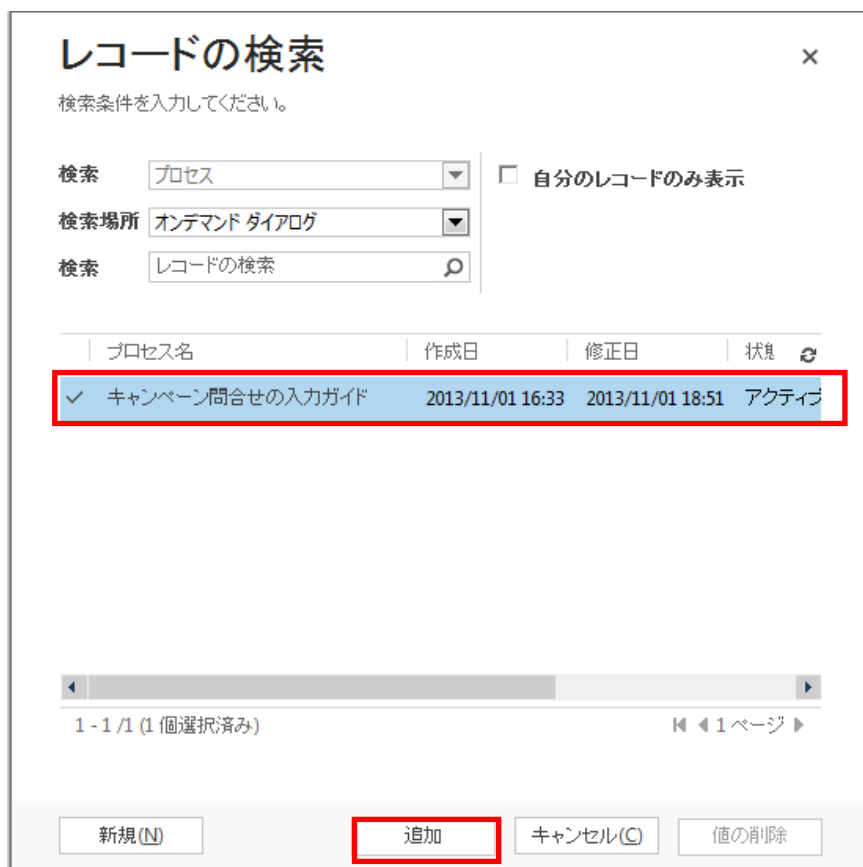
23. プロセスの一覧画面で、“キャンペーン問合せの入力ガイド”を選択して、[アクティブ化]ボタンをクリックします。



24. キャンペーンの画面から、コマンドバーの[ダイアログの開始]をクリックします。、[ダイアログ]の検索ダイアログから“キャンペーン問合せの入力ガイド”を選択して、ダイアログを起動します。



25. [レコードの検索]ダイアログから“キャンペーン問合せの入力ガイド”を選択して、[追加]をクリックします。



※ あるいはキャンペーンの一覧画面でいずれかのキャンペーンを選択状態にしたうえで、[ダイアログの開始]をクリックしてダイアログを起動することもできます。

26. ダイアログの“顧客情報入力ページ”

キャンペーン問合せの入力ガイド 顧客情報入力ページ	
<div><p>お客様の企業名を入力します。</p><input type="text" value="フォース コーヒー (サンプル)"/></div> <div><p>担当者の姓を入力します。</p><input type="text" value="早川"/></div> <div><p>お客様の電話番号を入力します。</p><input type="text" value="03-2232-019x"/></div>	<div><p>ヒント</p><p>電話をいただいている顧客が法人の場合、顧客名を聞き取ります。</p></div>
<p>クリックしてコメントを追加します</p>	
<div><div>ヘルプ(H)</div><div>概要(S)</div><div>次へ(N)</div><div>キャンセル(C)</div></div>	

27. ダイアログの“既存顧客の選択ページ”

キャンペーン問合せの入力ガイド 既存顧客の選択ページ	
<p>お電話いただいているお客様を選択してください。</p> <p><input checked="" type="radio"/> 早川 諭 (サンプル), 早川 諭 (サンプル), 03-2232-019x</p>	<p>ヒント ></p> <p>複数候補がある場合は、さらに質問したうえ1人のお客様に絞り込んでください。</p>
<p>クリックしてコメントを追加します</p>	
<p>ヘルプ(H) 概要(S) 前へ(P) 次へ(N) キャンセル(C)</p>	

28. ダイアログの“電話件名と内容の入力ページ”

キャンペーン問合せの入力ガイド

電話件名と内容の入力ページ

件名を入力します。

問い合わせの内容を入力します。

製品について、価格、最小発注単位、配送単位などについての問い合わせでした。
また、営業担当者からの詳細説明を希望されましたので、営業田中さんを紹介しました。

ヒント

クリックしてコメントを追加します

ヘルプ(H)

概要(S)

前へ(P)

次へ(N)

キャンセル(C)

29. ダイアログの完了ページ

キャンペーン問合せの入力ガイド

ダイアログの終了です。[終了] をクリックして、閉じてください。

クリックしてコメントを追加します

ヘルプ(H)

概要(S)

前へ(P)

完了(E)

キャンセル(C)

30. [活動]画面で、電話レコードが作成されたことを確認します。。

Microsoft Dynamics CRM | 営業 | 活動 | 製品価格に関する...

作成 システム 管理者 MSKK CRM 管理者

完了としてマーク 電話 のクローズ 交換先 削除 リンクを電子メールで送信

電話：電話

製品価格に関する問い合わせ

優先度 標準 期限 -- 状態* オープン 所有者* システム 管理者

Phone Call

件名* 製品価格に関する問い合わせ

通話元* 早川 諒 (サンプル)

通話先* システム 管理者

電話番号 03-2232-019x 通信方向 着信

説明

製品について、価格、最小発注単位、配送単位などについての問い合わせでした。
また、営業担当者からの詳細説明を希望されましたので、営業田中さんを紹介しました。

関連

期間 --

新風顧客ロイヤリティプログラム (サンプル)

オープン

3. 可視化

演習 5. Web リソース

この演習で、あなたがシステムカスタマイザとなって、画像ファイル、HTML ファイル、Silverlight アプリケーションなどの Web リソースの登録を実施します。

◆ 演習のゴール

Dynamics CRM の以下の機能を理解します。

- 登録できる Web リソースの種類
- Web リソースの登録手順

3. 可視化

演習5: Web リソース

演習6: ダッシュボード

演習7: レポート

演習8: 投稿



独自の画像を Dynamics CRM に登録して利用したい。



◆ 用語説明

演習 5 で使用する用語について説明します。

[Silverlight]

Web 上で動画やアニメーションを用いたリッチなメディア体験や、豊かな表現力を持ち、機能性や操作性に優れた Web アプリケーションを迅速に開発、配信するための、最も包括的で強力なマイクロソフトのアプリケーション開発フレームワークです。

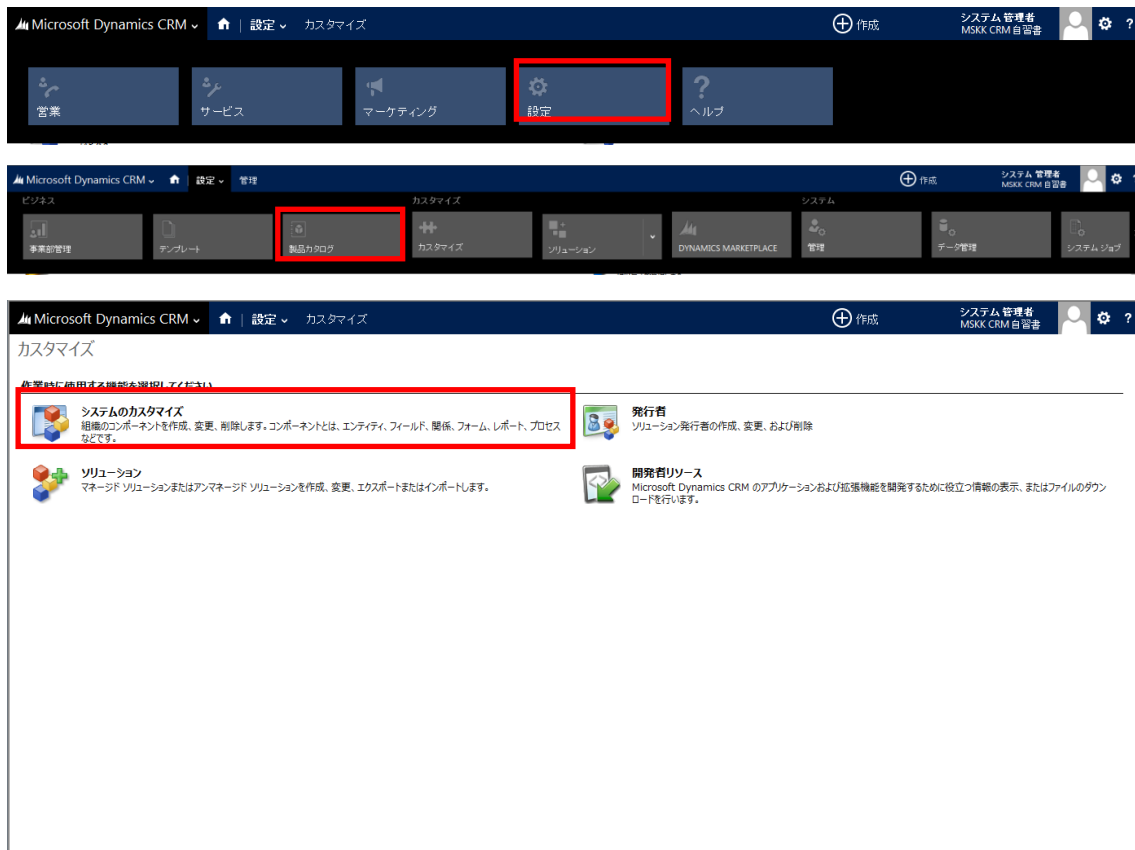
機能 1. Web リソース

画像ファイル、HTML ファイルなどを Dynamics CRM で利用することができます。そのために、これらのファイルを Web リソースとして Dynamics CRM に取り入れる必要があります。具体的に、下表に示される種類のファイルを登録することができます。

種類	説明
Web ページ (HTML)	独自に作成した静的 Web ページです。
スタイル シート (CSS)	Web ページの表示形式を定義したスタイルシートです。
スクリプト (JavaScript)	クライアント側スクリプトとして実行できるソースファイルです。
データ (XML)	XML 形式のデータです。
PNG 形式	画像ファイルです。
JPG 形式	画像ファイルです。
GIF 形式	画像ファイルです。
Silverlight (XAP)	Silverlight で作成されたクライアント側で実行出来るプログラムファイルです。
スタイル シート (XSL)	XML データの表示形式を定義したスタイルシートです。
ICO 形式	アイコンの画像ファイルです。

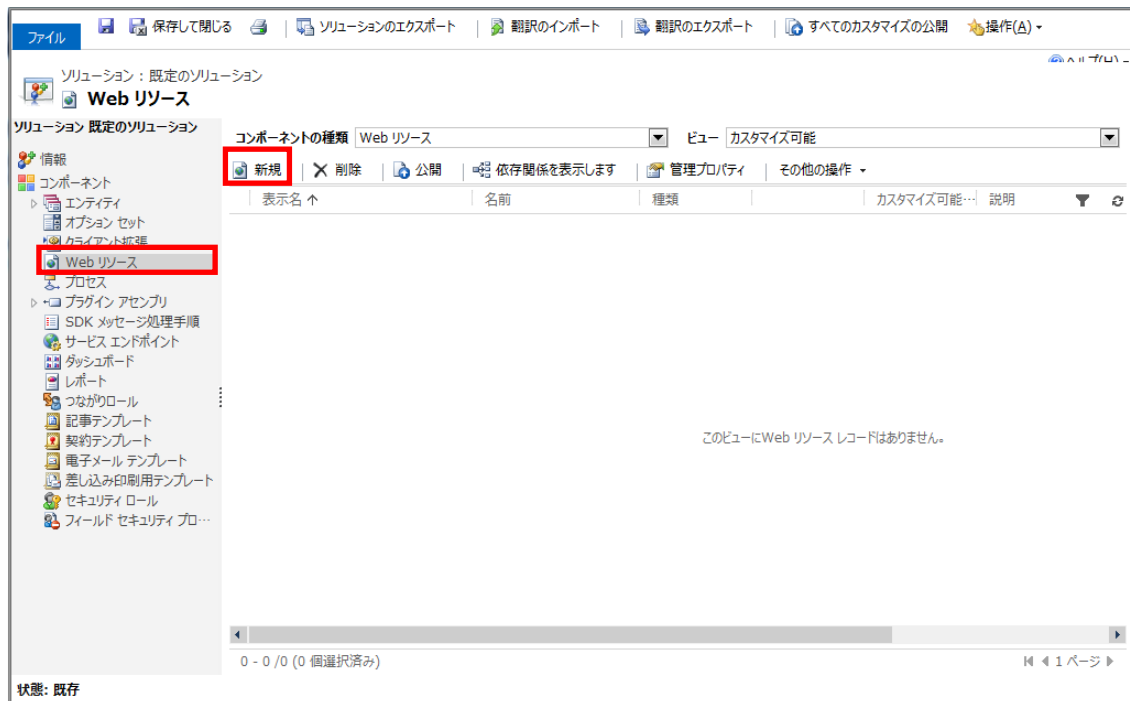
以下、[JPG 形式]の画像ファイルを例に、Web リソースを新規に追加する手順を確認していただきます。

1. [設定]→[カスタマイズ]の順にクリックして、右側に[システムのカスタマイズ]アイコンが表示されます。[システムのカスタマイズ]をクリックします。



※ システムのカスタマイズは、[システム管理者]または[システム カスタマイザ]のセキュリティロール、あるいはこれらと同等の特権をもつユーザーでログインした場合に表示されます。

2. [ソリューション：既定のソリューション]ダイアログが開きます。左のメニューにある [Web リソース]をクリックして、右側の画面が [Web リソース]の一覧が表示されます。[新規]ボタンをクリックして、[Web リソース]の新規作成画面を開きます。



※ すでに登録されている [Web リソース]をダブルクリックすることで、編集することもできます。

3. [Web リソース]の新規画面が開きます。以下のようにデータを入力して、[上書き保存] ボタンをクリックします。

名前	dynamics_crm_logo
表示名	Dynamics CRM ロゴ
説明	Dynamics CRM のロゴ画像です。
種類	JPG 形式
言語	日本語
ファイルのアップロード	(画像ファイルのパス)

ソリューション: 既定のソリューション
Web リソース : 新規

全般

名前 * new_ dynamics_crm_logo

表示名 Dynamics CRM ロゴ

説明 Dynamics CRM のロゴ画像です。

コンテンツ

種類 * JPG 形式

言語 日本語

ファイルのアップロード CRM_ロゴ.jpg 参照...

URL

URL

4. 保存処理が完了した後、[URL] が自動で生成されます。[公開]ボタンをクリックして、Web リソースを公開して、一般ユーザーも使えるようにします。

上書き保存 削除 プレビュー 依存関係を表示します 公開 ...

ソリューション: 既定のソリューション

Web リソース : Dynamics CRM ロゴ

全般

名前 * new_dynamics_crm_logo

表示名 Dynamics CRM ロゴ

説明 Dynamics CRM のロゴ画像です。

コンテンツ

種類 * JPG 形式

言語 日本語

ファイルのアップロード 参照...

URL

URL https://crm2013jishusho.crm5.dynamics.com/WebResources/new_dynamics_crm_logo

- ※ 直接この URL を入力することによって、登録した Web リソースを利用することができます。
- ※ ダッシュボードなど Dynamics CRM の他のコンポーネントでは、Web リソースを選択して、利用することができます。
- ※ 登録した [Web リソース]を利用する手順は、「演習 6 ダッシュボード」(190 ページ)をご参照ください。

演習 6. ダッシュボード

この演習で、あなたがシステムカスタマイザとなって、ダッシュボードに関わる項目のカスタマイズを実施します。

◆ 演習のゴール

Dynamics CRM の以下の機能を理解します。

- ダッシュボードのコンポーネント
- ダッシュボードの作成手順

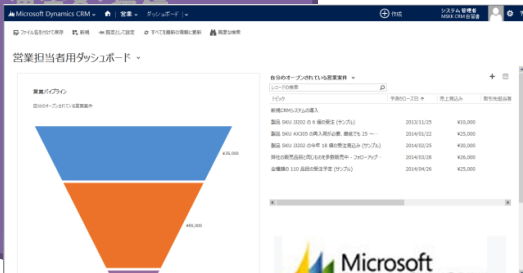
3. 可視化

演習5: Webリソース

演習6: ダッシュボード

演習7: レポート

演習8: 投稿



営業案件の進捗、重要な営業案件、自分の活動などを1画面で確認したい。



ユーザーの目標達成率を追跡し、本人がログインしたときに表示したい。



◆ 用語説明

演習 6 で使用する用語について説明します。

[ダッシュボード]

各種グラフやデータの一覧表などを一画面に複数配置して、ひとめで確認できるようにするものです。

[コンポーネント]

ダッシュボードに配置する各種項目のことを指します。

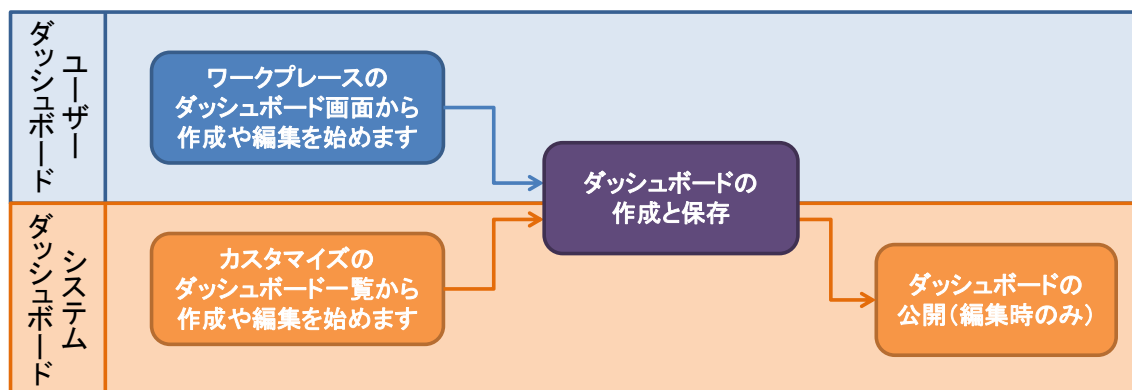
グラフ、データの一覧表、Web リソース(画像、HTML、Silverlight、etc.)などがあります。

機能 1. ダッシュボード

Dynamics CRM で、ダッシュボードは[ユーザーダッシュボード]と[システムダッシュボード]に分けられています。

ユーザーダッシュボードは既定で作成したユーザー自身しかアクセスすることができませんが、必要に応じて他のユーザーと共有することができます。システムダッシュボードは公開されると、全てのユーザーが利用することができます。

作成方法は似ておりますが、下記のイラストに示されているように相違点が 2 点あります。



1. スタートポイントが異なる

ユーザーダッシュボードの場合は、[ダッシュボード]画面から、新規作成または既存ダッシュボードの変更を行います。

一方のシステムダッシュボードは[設定]にある[システムのカスタマイズ]画面から、ダッシュボードの作成や編集などのメンテナンス作業を行います。

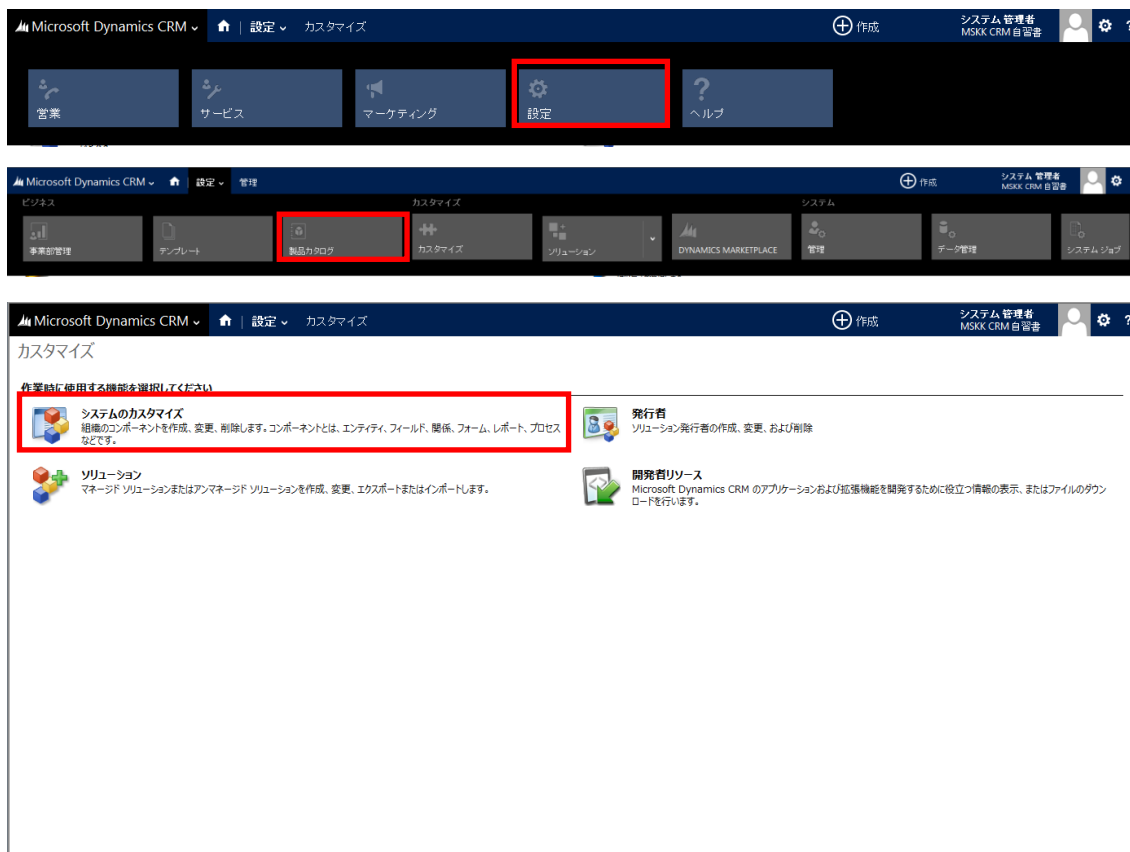
2. 公開が必要かどうか異なる

ユーザーダッシュボードの場合は公開が必要ありません。保存したならすぐに利用できます。

一方のシステムダッシュボードは既存のダッシュボードを編集した場合、公開して初めて組織の全員がその変更を利用出来るようになります。

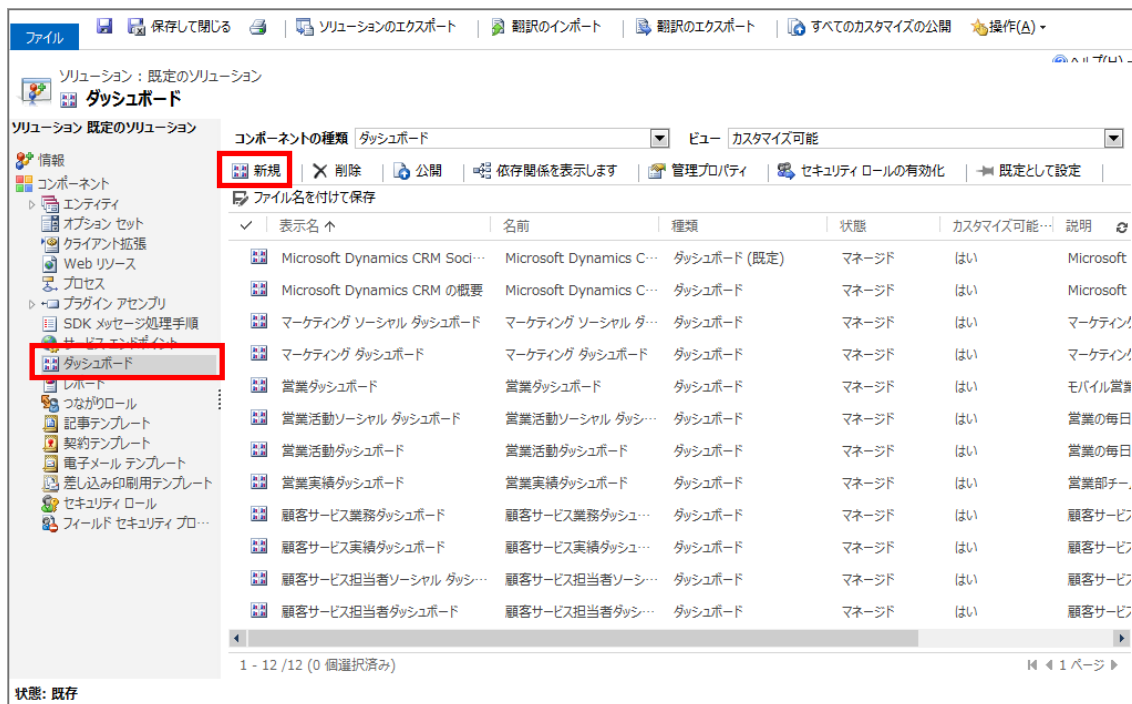
以下、システム用ダッシュボードを作成し、公開する手順を確認していただきます。左側に営業パイプラインを表示し、右側に営業案件の一覧と Dynamics CRM のロゴを表示するようなダッシュボードを作成します。

1. [設定]→[カスタマイズ]の順にクリックすると、[システムのカスタマイズ]アイコンが表示されます。それをクリックします。



※ システムのカスタマイズは、[システム管理者]または[システム カスタマイザ]のセキュリティロール、あるいはこれらと同等の特権をもつユーザーでログインした場合に表示されます。

2. [既定のソリューション]ダイアログが新たに表示されますが、[ダッシュボード]アイコンをクリックしますと、右側にダッシュボードの一覧が表示されます。[新規]ボタンをクリックして、ダッシュボードの新規作成画面を開きます。

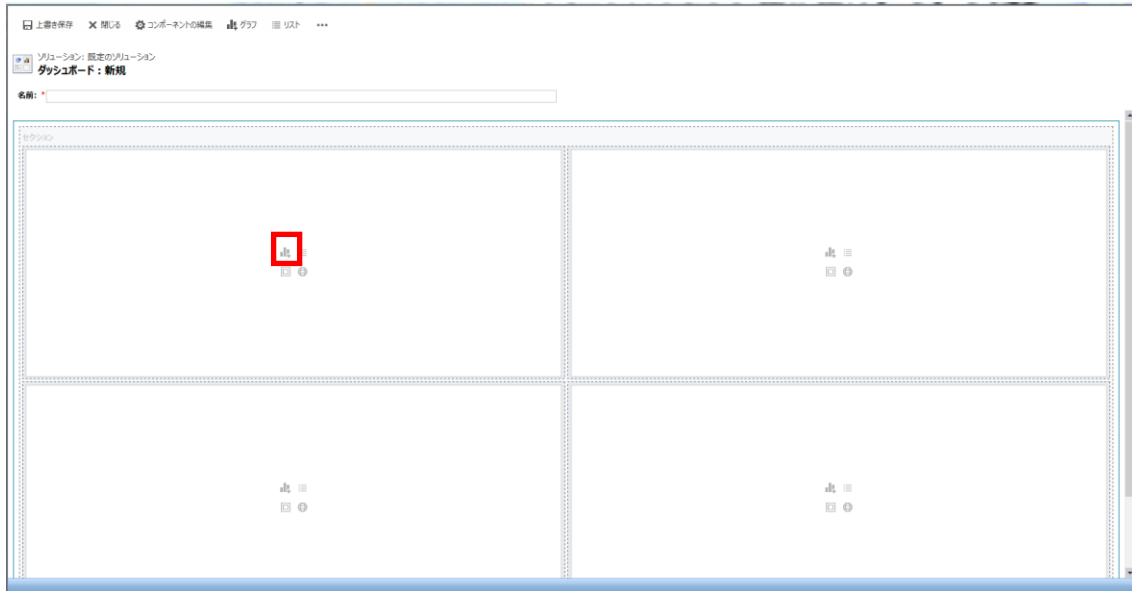


3. [ダッシュボードレイアウトの選択]画面が開きます。ここでダッシュボードの最初のレイアウトを選択します。左側からレイアウトを選択すると、右側にそのレイアウトのプレビューが表示されます。
[2列標準ダッシュボード]を選択して、[作成]ボタンをクリックします。







※ ここで選択するレイアウトは最初のレイアウトであり、ダッシュボードの編集画面から変更することができます。

4. 左上のコンポーネントにある[グラフの挿入]ボタンをクリックして、営業パイプラインのグラフを挿入します。



※ ダッシュボードに挿入できるコンポーネント

コンポーネント のタイプ	アイコン	説明
グラフ	 グラフ	グラフを表示します。 予め定義しておいたグラフの中から、ダッシュボードに表示するものを選択できます。
リスト	 リスト	レコードの一覧（ビュー）を表示します。 予め定義しておいたビューの中から、ダッシュボードに表示するものを選択できます。
Web リソース	 Web リソース	Web リソースを表示します。Web リソースとは、Dynamics CRM のカスタマイズの 1 つで、開発者が作成し Dynamics CRM 上に登録する追加機能です。ダッシュボードに表示できる Web リソースには以下のような種類があります。 <ul style="list-style-type: none"> ・ HTML ・ Silverlight (.xap ファイル) ・ PNG (画像) ・ GIF (画像) ・ JPEG (画像) ・ ICO (アイコン) 予め登録しておいた Web リソースの中から、ダッシュボードに表示するものを選択できます。
IFRAME	 IFRAME	既存の Web ページをダッシュボードに表示します。その際、Web ページの URL を指定します。 なお、Dynamics CRM からパラメータを渡し、それに応じた内容の Web ページを表示させることができます。これには Web ページ側での開発が必要となります。

5. グラフを選択するダイアログが表示されます。以下のように選択して、[OK] ボタンをクリックします。

項目	値	説明
レコードの種類	営業案件	表示するエンティティを選択します。
ビュー	自分のオープンされている営業案件	指定のビューにある条件にて、グラフを生成するときに利用されるレコードを絞り込みます。
グラフ	営業パイプライン	保存されているグラフの中から、表示したいものを選択します。

コンポーネントの追加

ダッシュボードに追加するコンポーネントを選択します。

レコードの種類
営業案件

ビュー
自分のオープンされている営業案件

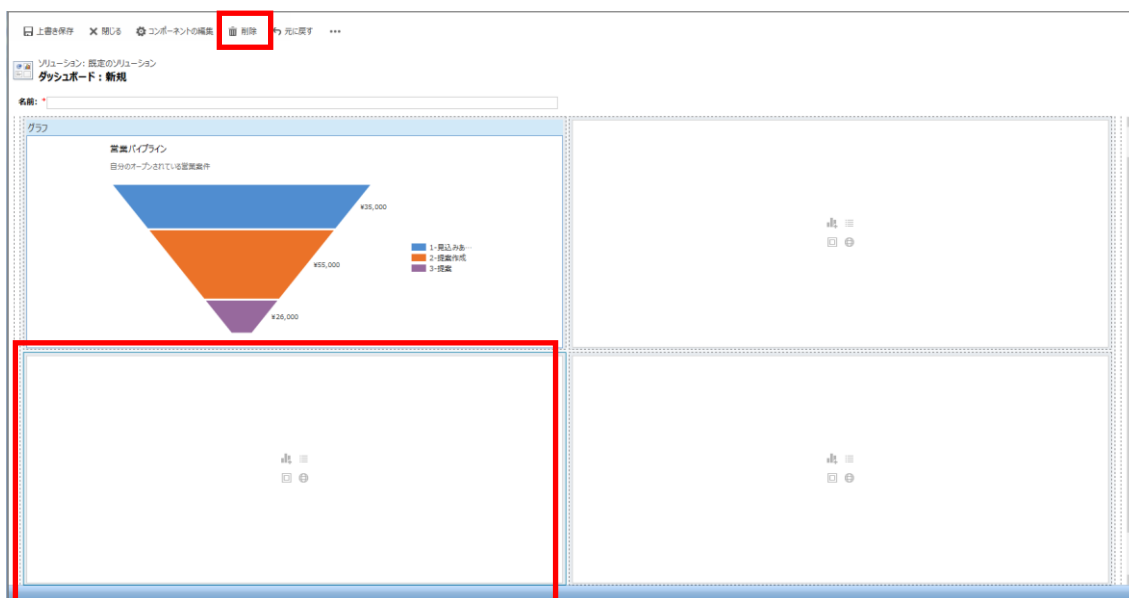
グラフ
営業パイプライン

営業パイプライン
自分のオープンされている営業案件

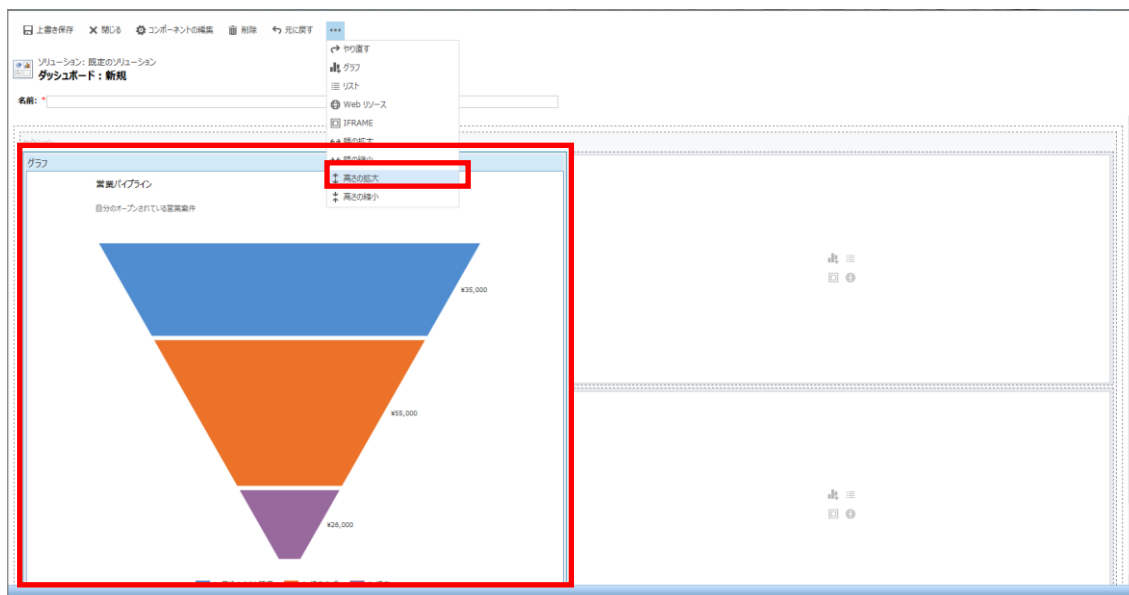
1-見込みありと評価
2-提案作成

追加
キャンセル

- 左上のコンポーネントに営業パイプラインが追加されます。営業パイプラインを下まで伸ばすために、左下のコンポーネントをクリックした上で、[削除]ボタンをクリックしてそのコンポーネントを削除します。



- 営業パイプラインのコンポーネントをクリックして、[高さの拡大]を繰り返してクリックして、営業パイプラインのコンポーネントを大きくします。



※ これにて営業パイプラインの追加が完了しました。これ以降のステップでは営業案件一覧のコンポーネントを追加します。

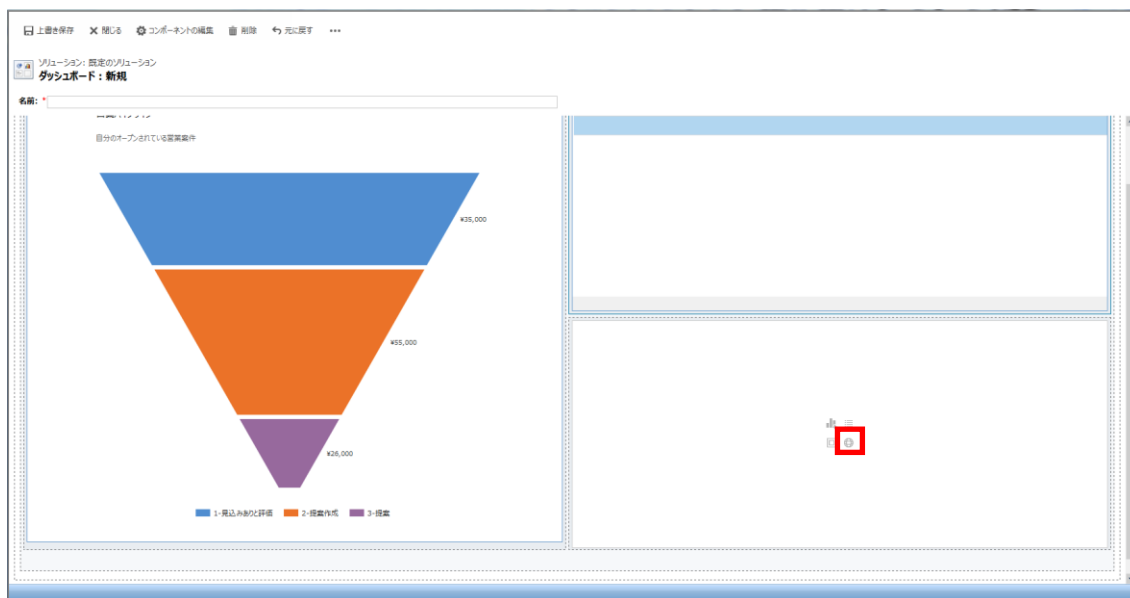
※ [高さの拡大]の他、[高さの縮小]、[幅の拡大]と[幅の縮小]ができます。

8. 右上のコンポーネントにある[リストの挿入]をクリックして、リストを挿入するダイアログを表示します。下記の情報を選択した上、[OK] ボタンをクリックして、リストを追加します。

項目	値	説明
レコードの種類	営業案件	表示するエンティティを選択します。
ビュー	自分のオープンされている営業案件	指定のビューに沿って、レコードの絞り込みや表示する列が決まります。

※ これにて営業案件一覧のコンポーネントの追加が完了しました。これ以降のステップでは Dynamics CRM のロゴを表示するコンポーネントを追加します。

9. ダッシュボードの右下にあるコンポーネントの [Web リソースの挿入] をクリックして、Web リソースとして登録された Dynamics CRM ログを挿入します。



10. [Web リソースの追加]ダイアログが表示されます。下記の情報を入力して [OK] ボタンをクリックして、Web リソースを挿入します。

項目	値	説明
Web リソース	new_dynamics_crm_logo	虫眼鏡ボタンをクリックして、登録されている Web リソースから該当のものを選択します。
名前	_dynamics_crm_logo	Web リソースの名前です。ダッシュボードの中で、一意である必要があります。
ラベル	Dynamics CRM ロゴ	ダッシュボードに表示されるラベル名です。

Web リソースの追加

既存の Web リソースをダッシュボードに追加します。

Web リソース

Web リソース * new_dynamics_crm_logo

フィールド名とプロパティ

名前 * WebResource:_dynamics_crm_logo

ラベル * Dynamics CRM ロゴ

☐ ラベルをダッシュボード 上に表示

表示

☒ 既定で表示する

Web リソースのプロパティ

カスタムパラメーター (データ)

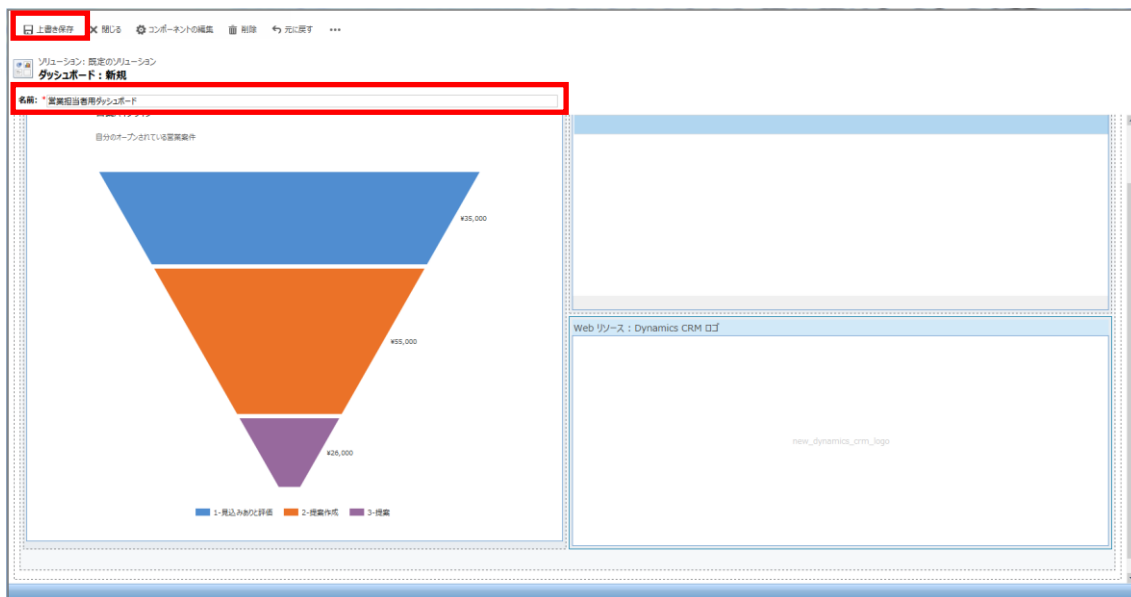
代替テキスト

OK キャンセル

※ Web リソース自体の登録は「演習 5 Web リソース」(183 ページ)をご参照ください。

11. ダッシュボードの[名前]を入力して、[上書き保存]ボタンをクリックします。

名前	営業担当者用ダッシュボード
----	---------------



12. 作成したダッシュボードを[設定]→[ダッシュボード]画面から選択して表示します。

The first screenshot shows the Microsoft Dynamics CRM home page with the '営業' (Sales) tab highlighted in the top navigation bar. The second screenshot shows the 'ダッシュボード' (Dashboard) dropdown menu in the '営業' section, with the 'ダッシュボード' option highlighted. The third screenshot shows the '営業担当者用ダッシュボード' (Sales Representative Dashboard) with a funnel chart and a table of recent sales.

営業担当者用ダッシュボード

自分のオープンされている営業案件

トピック	予定日	金額
新規CRMシステムの導入	2013/11/25	¥10,000
製品 SKU JJ202 の 6 個の受注 (サンプル)	2014/01/22	¥25,000
製品 SKU AX305 の再入荷が必要、最低でも 25 個...	2014/02/25	¥30,000
製品 SKU JJ202 の今年 18 個の受注見込み (サンプル)	2014/03/28	¥26,000
弊社の販売品目と同じものを多数販売中 - フォローアップ...	2014/04/26	¥25,000

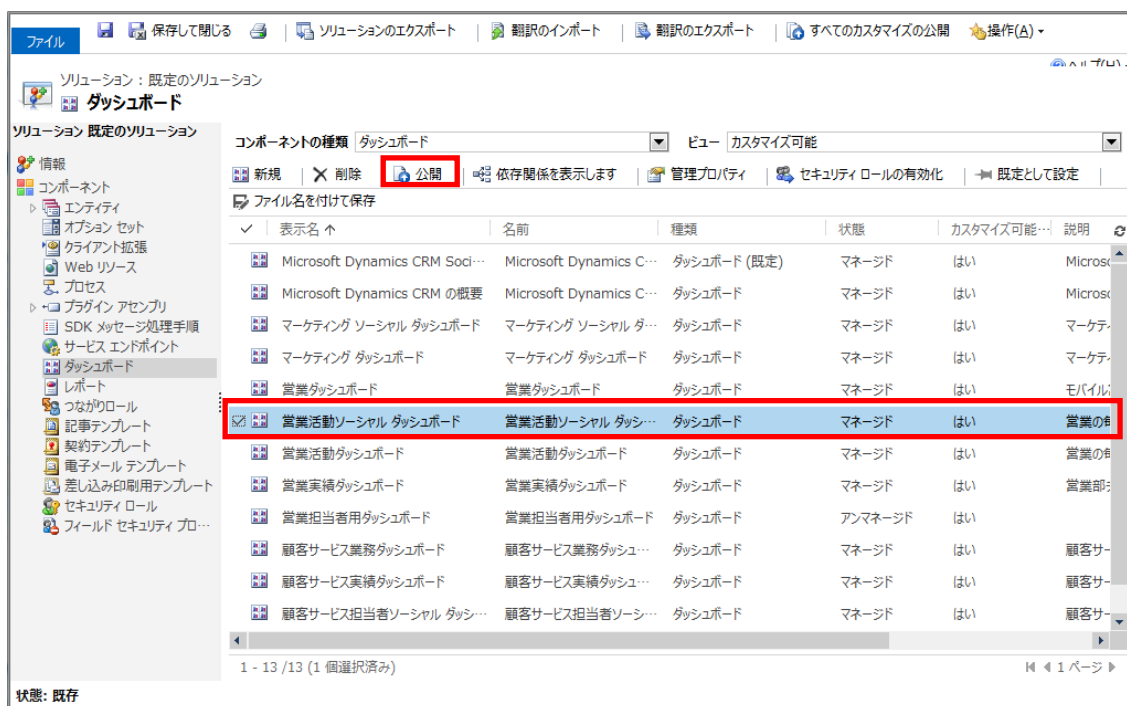
Microsoft Dynamics CRM

※ [ユーザー]ダッシュボードの場合は、それを他のユーザーまたはチームと共有することができます。その場合、[ダッシュボードを共有]アイコンをクリックします。

The screenshot shows the Microsoft Dynamics CRM interface. The top navigation bar includes 'Microsoft Dynamics CRM', '営業' (Sales), and 'ダッシュボード' (Dashboard). The main area is titled '自分の営業状況' (My Sales Status). On the left, there is a bar chart titled '上位の顧客' (Top Customers) showing sales volume for various customers. On the right, there is a table of sales records. A red box highlights the 'ダッシュボードを共有' (Share Dashboard) button in the top right corner of the dashboard area.

トピック	予測クローズ日	売上見込み	取引先担当者	取引先企業	確率
新規CRMシステムの導入				ストアー (サン...	
製品 SKU JJ202 の 6 個の受注 (サンプル)	2013/11/25	¥10,000		ファブリカム (サ...	90
製品 SKU AX305 の再入荷が必要、最低でも 25 個...	2014/01/22	¥25,000		フォース コーヒ...	
製品 SKU JJ202 の今年 18 個の受注見込み (サンプル)	2014/02/25	¥30,000		アルバインスキ...	
弊社の販売品目と同じものを多数販売中 - フローアッブ...	2014/03/28	¥26,000		コントソ製菓 (...	95
全種類の 110 品目の受注予定 (サンプル)	2014/04/26	¥25,000		コーホー ワイナ...	80

※ 既存の[システムダッシュボード]を編集した場合、その変更をエンドユーザーが利用出来るようにするため、[公開]が必要です。



※ [公開]はシステムダッシュボードの場合は必須ですが、個人用ダッシュボードの場合は必要ありません。個人用ダッシュボードの場合は保存した時点から使えるようになります。

演習 7. レポート

この演習で、あなたがシステムカスタマイザとなって、レポートを作成します。

◆ 演習のゴール

Dynamics CRM の以下の機能を理解します。

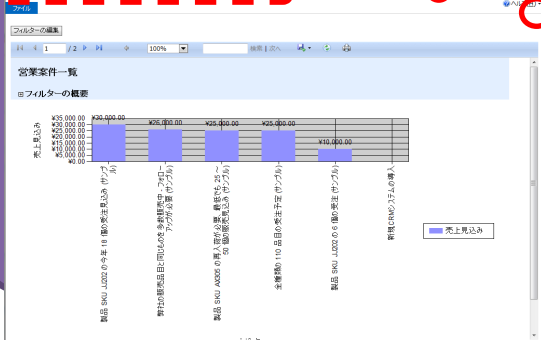
- レポート
- レポート ウィザード

3. 可視化


演習5: Webリソース

演習6: ダッシュボード


演習7: レポート



営業案件を売上見込みが
高い順に棒グラフに
表示したい。



サポート案件を満足度別に
件数を集計し、円グラフに
表示したい。



※ Dynamics CRM で管理されているデータを一旦 Excel にエクスポートした上で、Excel にて分析を実行することで、より高度なレポートを作成することができます。

※ SQL Server Business Intelligence Development Studio を利用して、さらに高度なレポートを作成することができます。その際、クラウド型 Dynamics CRM Online 独自の FetchXML を利用することによって、データ取得やレポート生成が高速に実行できます。また、設置型 Dynamics CRM 2013 の場合には、SQL Server のビューにアクセスしてレポートを作成頂けます。

※ 高度なレポートを作成する方法が MSDN Blogs に記載されています。詳細はこちらをご参照ください。

タイトル	Dynamics CRM Online レポートカスタマイズのすすめ
URL	http://blogs.msdn.com/b/crmjapan/archive/2012/12/27/dynamics-crm-online-report-customization.aspx

◆ 用語説明

演習 7 で使用する用語について説明します。

[レポートウィザード]

Dynamics CRM に付属されており、ステップ・バイ・ステップでレポートの作成を案内するツールです。

[テーブル]

データを一覧形式で表示する表です。

機能 1. レポート

本節では Dynamics CRM に実装されたレポートウィザードを利用して、レポートを作成する機能を確認していただきます。

以下、営業案件をリストアップするレポートを作成する手順を例に、レポートウィザードの利用方法を確認していただきます。このレポートでは営業案件を売上見込み金額が大きい順にソートした上で、棒グラフとともに表示します。

1. [営業]→[レポート]の順にクリックすると、コマンドバーに[新規]アイコンが表示されます。[新規]アイコンをクリックし、レポートの新規作成画面を開きます。

The screenshot shows the Microsoft Dynamics CRM interface. The top navigation bar includes '営業' (Sales), 'サービス' (Service), 'マーケティング' (Marketing), '設定' (Settings), and 'ヘルプ' (Help). The '営業' tab is selected, and the 'レポート' (Reports) icon is highlighted in the right-hand pane. Below this, the '新規' (New) button is highlighted in the command bar. The main area displays a list of available reports under the heading '使用可能なレポート'.

名前	レポートの種類	修正日	説明
キャンペーンの成果	Reporting Se...	2013/10/23 1...	キャンペーンの進行状況や状態を過...
キャンペーン活動の状態	Reporting Se...	2013/10/23 1...	キャンペーン活動を追跡します。
キャンペーン比較	Reporting Se...	2013/10/23 1...	2 つのキャンペーンを比較します。
サービス活動の規模	Reporting Se...	2013/10/23 1...	サービス活動の規模の/ターンを表示...
サポート案件の概要テーブル	Reporting Se...	2013/10/23 1...	サポート案件の/ターンを表示します。
ユーザーの概要	Reporting Se...	2013/10/23 1...	ユーザーの取引先担当者およびセ...
営業パイプライン	Reporting Se...	2013/10/23 1...	予想される売上高の期待値を表示し...
営業履歴	Reporting Se...	2013/10/23 1...	過去の営業実績を把握します。
活動	Reporting Se...	2013/10/23 1...	活動の一覧を表示します。
競合企業との勝敗分析	Reporting Se...	2013/10/23 1...	自社の営業部チームの業績を競合...
見積もり	Reporting Se...	2013/10/23 1...	見積もりとその品目を表示します。
取引先企業の概要	Reporting Se...	2013/10/23 1...	取引先企業の概要を 1 ページで表...
取引先企業の説明	Reporting Se...	2013/10/23 1...	取引先企業の説明を時系列に表示...
取引先企業分布	Reporting Se...	2013/10/23 1...	上位の売り上げをもたす取引先企...
取引先企業別製品	Reporting Se...	2013/10/23 1...	取引先企業が使用する製品を表示...
取引先担当者別製品	Reporting Se...	2013/10/23 1...	取引先担当者使用する製品を表...
受注	Reporting Se...	2013/10/23 1...	受注とその品目を表示します。

2. [レポート]の新規画面で、以下のデータを確認した上、[レポート ウィザード]ボタンをクリックして、レポートウィザードを立ち上げます。

項目	値	説明
レポートの種類	レポート ウィザード レポート	以下から選択します。 ・レポート ウィザード レポート ・既存のファイル ・Web ページへのリンク



ファイル 保存して閉じる ヘルプ(H)

レポート: 新規レポート ソリューションの操作: 既定のソリューション

全般 管理

ソース

レポートの種類 * レポートウィザードレポート

レポートを作成または変更するには、[レポート ウィザード] をクリックします。

レポート ウィザード

詳細

名前 *

説明

親レポート

親レポート

分類

カテゴリ

関連するレコードの種類

表示形式 レポート領域

言語 日本語

状態: 新規

3. [レポート ウィザード]を立ち上げると、[はじめに]画面が表示されます。[新しいレポートを開始する]を選択し、[次へ]をクリックします。

はじめに ヘルプ(H)

レポートを開始する方法を選択します。

レポートの開始地点の選択

☒ 新しいレポートを開始する

☐ 既存のレポートから開始する

☐ 既存のレポートを上書きする

列名、レコードの種類、およびウィザードが生成するテキストの言語の指定

言語: 日本語

戻る(B) 次へ(N) キャンセル(C)

- ※ [既存のレポートから開始する]をクリックすると、既存のレポートを選択した上で、既存レポートをコピーして新しいレポートを作成することができます。
- ※ [既存のレポートから開始する]を選択した上、[既存のレポートを上書きする]にチェックして、既存レポートを編集することができます。

4. [レポート プロパティ]の画面に遷移します。以下のデータを入力したうえ、[次へ]をクリックします。

項目	値	説明
レポート名	営業案件一覧	レポートの名前です。レポート一覧に表示されます。
レポートの説明	オープンな営業案件を売上見込金額順にソートして表示します。	レポートの説明を入力します。
プライマリレコードの種類	営業案件	レポートを生成するときに利用するエンティティを選択します。

ヘルプ(H)

レポートのプロパティ

レポートの名前と説明を入力し、レポートで使用するレコードの種類を指定します。

レポートの名前と説明の指定

レポート名: *

営業案件一覧

レポートの説明:

オープンな営業案件を売上見込金額順にソートして表示します。

このレポートに含めるレコードの種類

プライマリレコードの種類を選択によって、レコードに含めることができる関連したレコードの種類が決定されます。

プライマリレコードの種類: *

営業案件

関連するレコードの種類:

戻る(B)

次へ(N)

キャンセル(C)

213

5. [レポートに含めるレコードの選択]の画面に遷移します。既定で[営業案件]のレコードが、30日以内に更新されたデータを抽出するような条件が設定されています。[状態]が[オープン]であることを条件として追加した上で、[次へ]をクリックします。

レポートに含めるレコードの選択 ヘルプ(H)

ビューを選択するか、条件を定義します。これは、レポートの既定のフィルターになります。

レポートの抽出条件

営業案件

保存されているビューの使用: [新規]

☒ グループ AND ☐ グループ OR

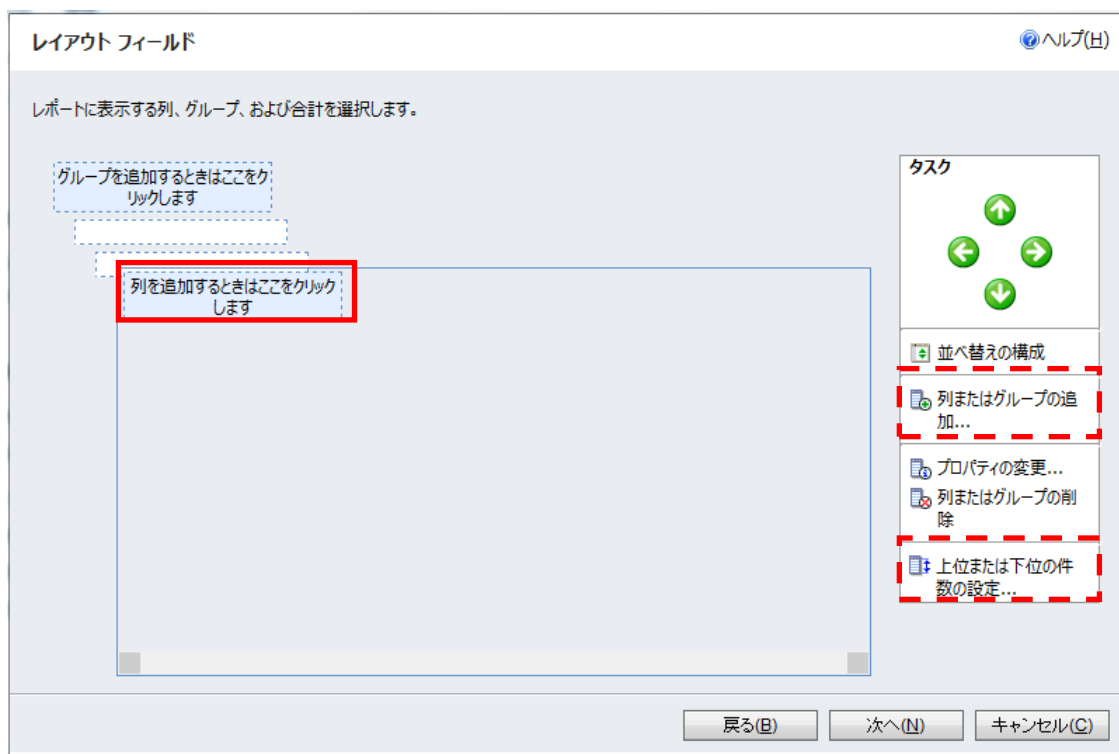
修正日	が過去 X 日間	30
状態	が次の値と等しい	オープン

選択

戻る(B) 次へ(N) キャンセル(C)

※ [保存されているビューの使用]を利用することによって、そのビューに設定されている抽出条件を活用することができます。

6. [レイアウト フィールド]の画面に遷移します。[列を追加するときはここをクリックします]をクリックして、列を追加します。



- ※ [列またはグループの追加...]をクリックして、列を追加することができます。
- ※ [上位または下位の件数の設定...]をクリックして、表示するレコードの件数を制限することができます。

7. [列の追加]ダイアログが表示されます。下記の情報を選択して、[OK] ボタンをクリックします。

項目	値	説明
レコードの種類	見込み顧客(取引先企業)	エンティティを選択します。[プライマリ レコードの種類]として指定したエンティティ、及びその関連エンティティを選択することができます。
列	取引先企業名	[レコードの種類]で選んだエンティティの表示したい列を選択します。
列幅	200 ピクセル	列の幅を選択します。

列の追加

この列のデータのソースを選択します。要約情報を表示する場合は、要約の種類を選択します。

レコードの種類: *
見込み顧客 (取引先企業)

列: *
取引先企業名

データの種類: 1 行テキスト

名前: name

列幅: *
200 ピクセル

要約の種類: なし

☐ 書式のない値の列を含めます。

OK
キャンセル

[要約の種類]について

数値レコードを選択した場合、[要約の種類]の値を、下記の選択肢から選択できます。

選択肢	説明
なし	要約をしません。
合計	対象として抽出したレコードの値を集計します。
最小値	対象として抽出したレコードから、最小値を抽出します。
最大値	対象として抽出したレコードから、最大値を抽出します。
全体に対する割合	対象として抽出したレコードの合計値における割合を計算します。^
平均	対象として抽出したレコードから、平均値を計算します。

8. 下記の四つのフィールドが必要なので、一つずつ追加します。その後、[並べ替えの構成]をクリックして、レコードのソート順を選択します。

レコードの種類	列	列幅	要約の種類
見込み顧客(取引先企業)	取引先企業名	200 ピクセル	なし
営業案件	トピック	300 ピクセル	なし
営業案件	売上見込	125 ピクセル	合計
所有ユーザー(ユーザー)	氏名	100 ピクセル	なし

レイアウト フィールド ヘルプ(H)

レポートに表示する列、グループ、および合計を選択します。

グループを追加するときはここをクリックします

取引先企業名 (見込み顧客)

トピック

売上見込み

氏名 (所有ユーザー)

列を追加するときはここをクリックします

タスク

並べ替えの構成

列またはグループの追加...

プロパティの変更...

列またはグループの削除

上位または下位の件数の設定...

戻る(B)
次へ(N)
キャンセル(C)

- ※ 追加した列を選択した上、タスクの矢印をクリックして表示順番を調整することができます。
- ※ これにて、表示するデータの設定が完了しました。これ以降は並べ順を設定します。

9. [並べ替え順の構成]ダイアログが表示されます。以下のように設定して、[OK]ボタンをクリックします。

並べ替えの基準	売上見込み
並べ替えの第2基準	降順

並べ替え順の構成

列を選択して、既定の設定で列を並べ替えます。

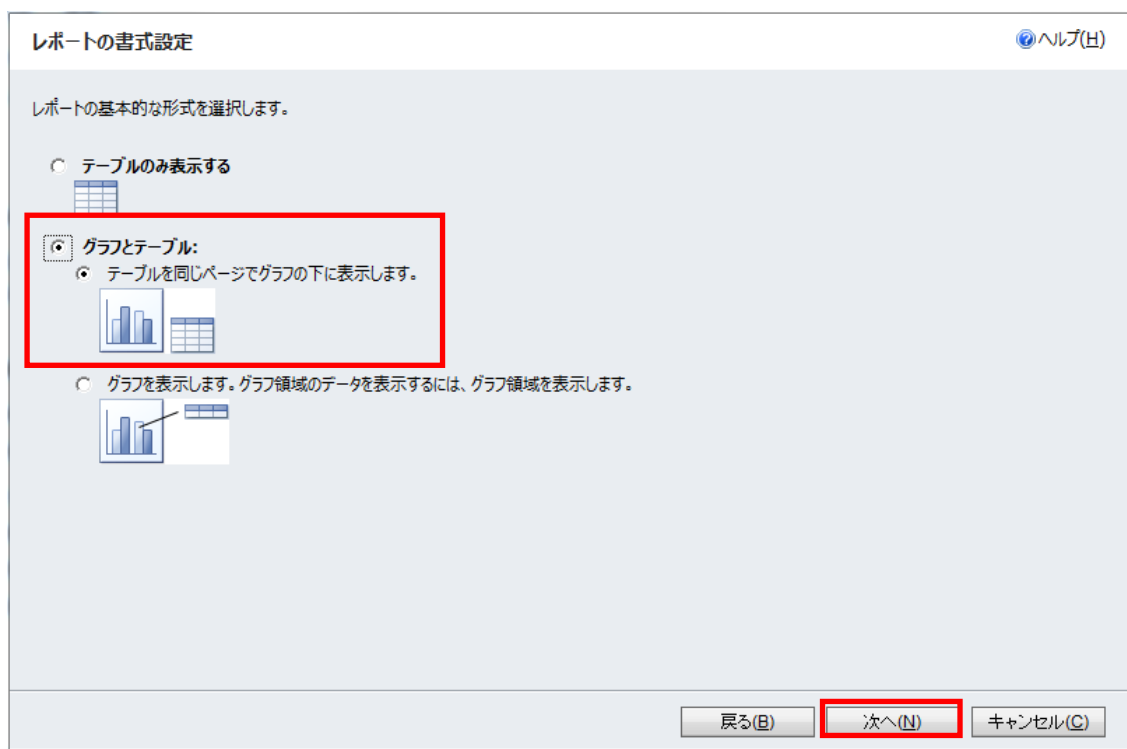
並べ替えの基準 売上見込み

並べ替えの第2基準 ☐ 昇順 ☒ 降順

OK キャンセル

※ これにて、並べ順の設定が完了しました。これ以降は、グラフの設定を行います。

10. 並べ替えを設定した後、[レイアウト フィールド]の画面にある[次へ]ボタンをクリックして[レポートの書式設定]画面に進みます。[グラフとテーブル]を選んだ上で、[テーブルを同じページでグラフの下に表示します。]を選択します。







※ 選択されているフィールドによって、[グラフとテーブル]は選べないことがあります。その場合、少なくとも1つの数値フィールドを表示するように選択されていることをご確認ください。

11. [グラフの種類を選択]画面に遷移します。[縦棒グラフ]が選択された状態で[次へ]ボタンをクリックします。

グラフの種類を選択 ヘルプ(H)

レポートに含めるグラフの種類を選択してください。

	<input checked="" type="radio"/> 縦棒グラフ
	<input type="radio"/> 横棒グラフ
	<input type="radio"/> 折れ線グラフ
	<input type="radio"/> 円グラフ

戻る(B) 次へ(N) キャンセル(C)

12. [グラフの書式設定のカスタマイズ]画面に遷移します。下記の項目を設定して、[次へ]ボタンをクリックします。

列(X)軸の書式設定 フィールド	トピック
列(X)軸の書式設定 ラベル	トピック
数値(Y)軸の書式設定 第1数値のデータ	売上見込み
数値(Y)軸の書式設定 第1数値のラベル	売上見込み

ヘルプ(H)

グラフの書式設定のカスタマイズ

グラフの X 軸と Y 軸、ラベル、および凡例を指定します。

列 (X) 軸の書式設定

フィールド: *

トピック

ラベル: *

トピック

数値 (Y) 軸の書式設定

第 1 数値のデータ: *

売上見込み

第 1 数値のラベル: *

売上見込み

第 2 数値のデータ:

第 2 数値のラベル:

ラベルと凡例の書式設定

☒ データ ラベルを表示

☒ 凡例を表示する

グラフのプレビュー

売上見込み

トピック

戻る(B)

次へ(N)

キャンセル(C)

221

13. [レポートの要約]画面に遷移します。内容を確認して、問題がなければ[次へ]をクリックします。

レポートの要約

ヘルプ(H)

レポートの要約を確認してください。レポートを保存するには、[次へ] をクリックします。

レポート名:	営業案件一覧
レポートの説明:	オープンな営業案件を売上見込金額順にソートして表示します。
プライマリレコードの種類:	営業案件

戻る(B)

次へ(N)

キャンセル(C)

14. しばらく処理した後、[レポートは正常に作成されました]画面が表示されます。[完了]をクリックして、レポートウィザードを閉じます。



15. レポートが作成された後、レポートの詳細画面に戻ります。[レポートの実行]をクリックして、レポートの出力結果を確認します。

ファイル | 保存して閉じる | **レポートの実行** | 操作(A) | ヘルプ(H)

レポート: 営業案件一覧 | ソリューションの操作: 既定のソリューション

レポートが保存されました。レポートのプロパティを編集するか、このフォームを開いてください。

全般 | 管理

ソース

レポートの種類: レポートウィザードレポート
レポートを作成または変更するには、[レポートウィザード]をクリックします。
レポートウィザード

詳細

名前*: 営業案件一覧
説明: オープンな営業案件を売上見込金額順にソートして表示します。

親レポート

親レポート: [検索]

分類

カテゴリ: [検索]

関連するレコードの種類: 営業案件

表示形式: レポート領域;関連するレコードの種類のフォーム;関連するレコードの種類のリスト

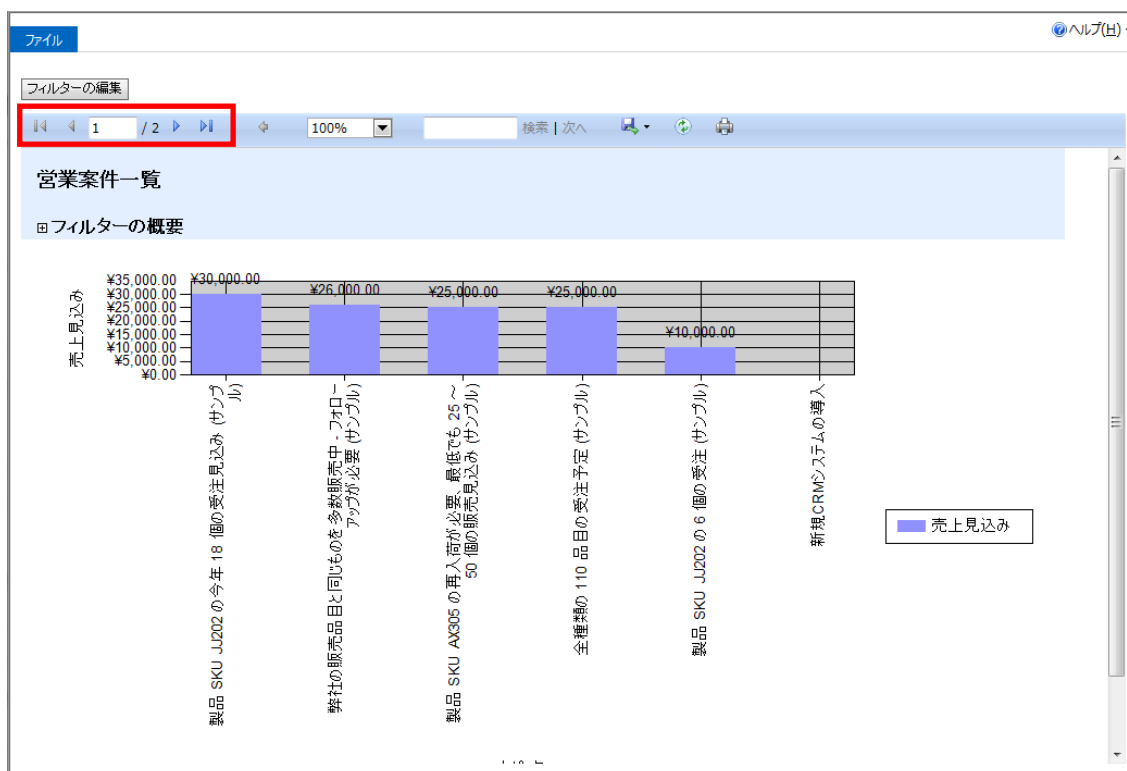
言語: 日本語

状態: 既存

※ [分類]の[表示形式]には使用可能なものすべてが選択された状態になっています。必要に応じて表示形式を調整して、どこからそのレポートを利用できるかを設定することができます。

- ◆ レポート領域
[営業]→[レポート]にて、本レポートが表示され利用できるようになります。
- ◆ 関連するレコードの種類のフォーム
この例では[営業案件]の詳細画面(フォーム)にて、本レポートが[レポートの実行]から利用できるようになります。
- ◆ 関連するレコードの種類のリスト
この例では[営業案件]の一覧にて、本レポートが[レポートの実行]から利用できるようになります。

16. [レポートを生成しています]の画面がしばらく表示された後、レポートが表示されます。設定通り、1 ページ目にグラフが表示され、2 ページ目にテーブル形式でデータが表示されます。



※ 表示されるレポートは、レポートの表示を実行した時点での最新情報に基づきます。

※ サンプルデータの状態などによって、表示の結果は、上記イメージとは異なります。

17. 2 ページ目にテーブル形式でデータが表示されます。



取引先企業名 (見込み顧客)	トピック	売上見込み	氏名 (所有ユーザー)
アルパイン スキー ハウス (サンプル)	製品 SKU JJ202 の今年 18 個の受注見込み (サンプル)	¥30,000	システム 管理者
コンソリ製菓 (サンプル)	弊社の販売品目と同じものを多数販売中 - フォローアップが必要 (サンプル)	¥26,000	システム 管理者
フォース コーヒー (サンプル)	製品 SKU AX305 の再入荷が必要、最低でも 25 ~ 60 個の販売見込み (サンプル)	¥25,000	システム 管理者
コーホー ワイナリー (サンプル)	全種類の 110 品目の受注予定 (サンプル)	¥25,000	システム 管理者
ファブリカム (サンプル)	製品 SKU JJ202 の 6 個の受注 (サンプル)	¥10,000	システム 管理者
ストアーク (サンプル)	新規CRMシステムの導入		システム 管理者
		¥116,000.00	

2013/11/01 21:49 作成者: システム 管理者 2/2 ページ

※ Dynamics CRM で管理されているデータを一旦 Excel にエクスポートした上で、Excel にて分析を実行することで、より高度なレポートを作成することができます。

※ SQL Server Business Intelligence Development Studio を利用して、さらに高度なレポートを作成することができます。その際、Dynamics CRM Online 独自の FetchXML を利用することによって、データ取得やレポート生成が高速に実行できます。また、設置型 Dynamics CRM 2013 の場合には、SQL Server のビューにアクセスしてレポートを作成頂けます。

※ 高度なレポートを作成する方法が MSDN Blogs に記載されています。詳細はこちらをご参照ください。

タイトル	Dynamics CRM Online レポートカスタマイズのすすめ
URL	http://blogs.msdn.com/b/crmjapan/archive/2012/12/27/dynamics-crm-online-report-customization.aspx

演習 8. 投稿

この演習で、あなたがシステムカスタマイザとなって、自動投稿のルールを設定します。

◆ 演習のゴール

Dynamics CRM の以下の機能を理解します。

- 投稿の構成
- 投稿規則の構成

3. 可視化

演習5: Web リソース

演習6: ダッシュボード

演習7: レポート

演習8: 投稿



取引先企業に対して新たな
タスクが発生した場合に
即座に共有したい。



グループ内での情報共有を
効率的に行いたい。



◆ 用語説明

演習 8 で使用する用語について説明します。

[アクティビティフィード]

Dynamics CRM に付属されており、相互情報共有ツールです。

[投稿]

アクティビティフィードに対して行うメッセージの登録です。

[いいね!]

アクティビティフィードへの投稿に対して、ユーザーが好意や指示を示す機能です。

[フォロー]

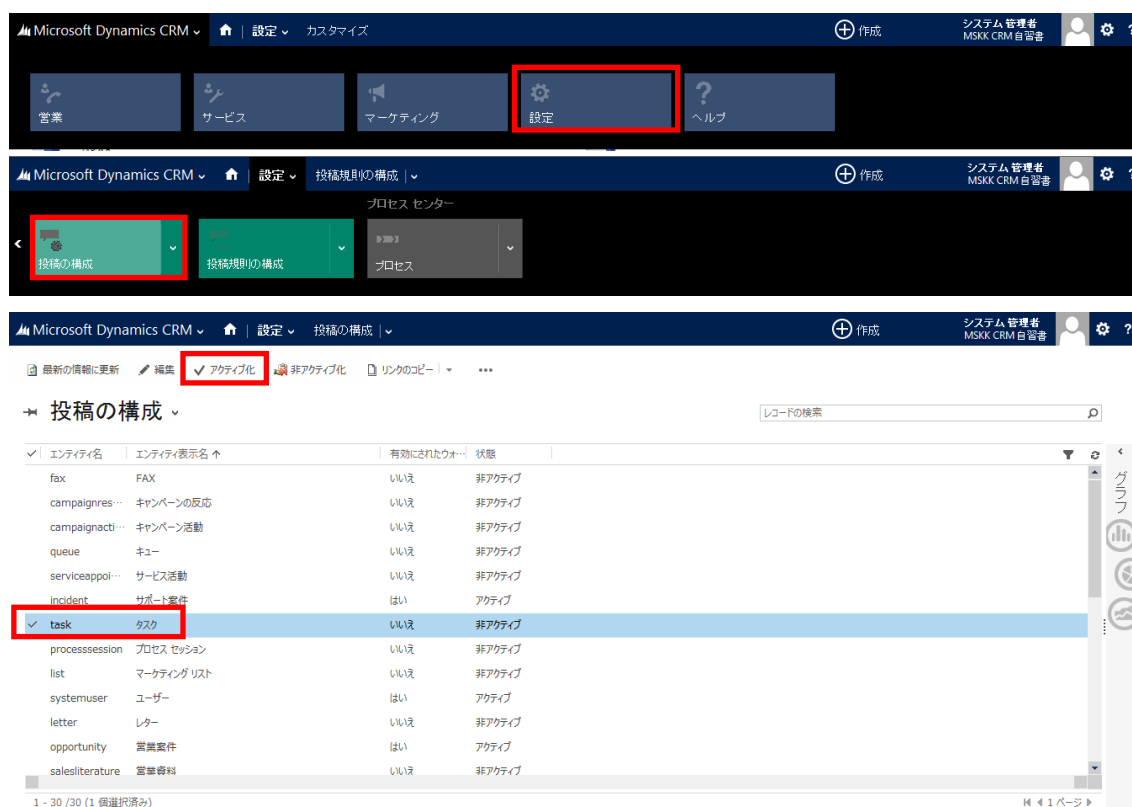
特定の営業案件、取引先企業、ユーザーなどに対して、情報を見つけやすくするためにマークする機能です。

機能 1. 投稿の構成

本節では Dynamics CRM に実装された投稿の構成、投稿規則の構成を利用して、投稿のルールを設定する機能を確認していただきます。

以下、取引先企業に関する新しいタスクが発生した際に自動的に投稿を行うよう設定する手順を例に、投稿の構成、投稿規則の構成の利用方法を確認していただきます。

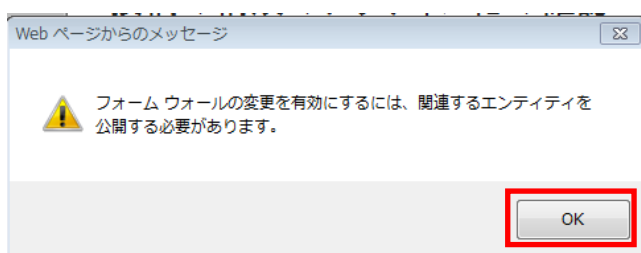
1. タスクで自動投稿を行えるようにするため、[設定]→[投稿の構成]の順にクリックし、[タスク]を選択して[アクティブ化]をクリックします。



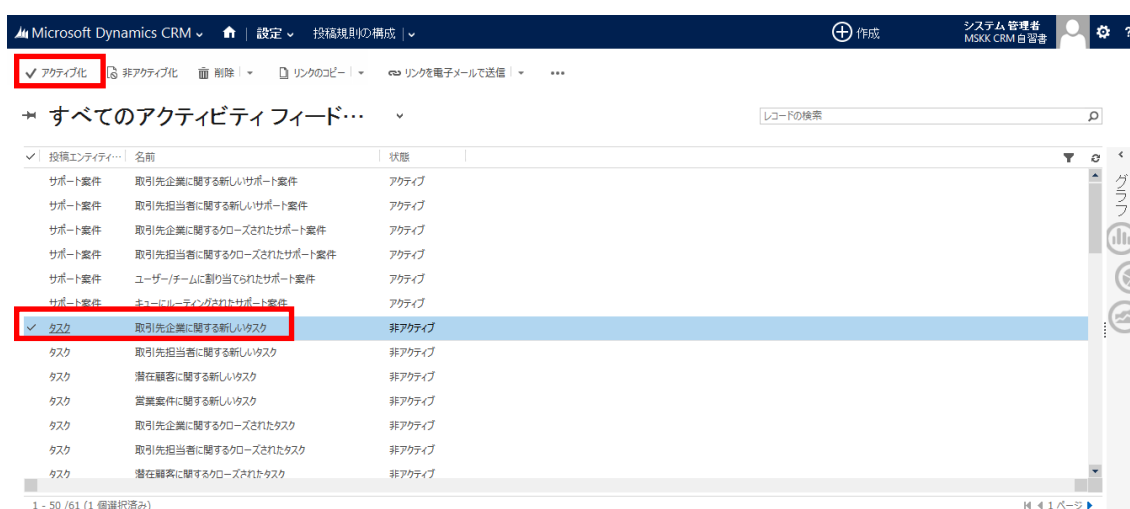
2. [アクティブ化]をクリックし、投稿の構成を使用可能とします。



3. 下記のメッセージが表示されるため、[OK]をクリックします。



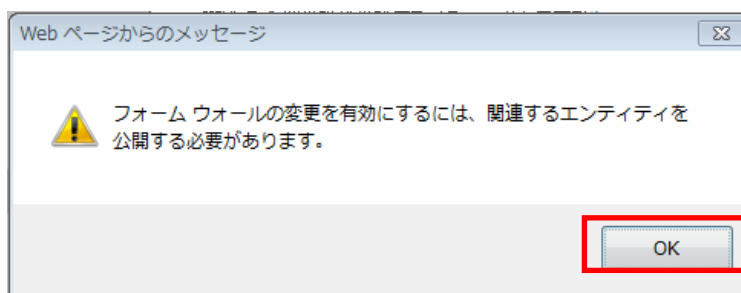
4. [設定]→[投稿規則の構成]の順にクリックし、[取引先企業に関する新しいタスク]を選択して [アクティブ化]をクリックします。



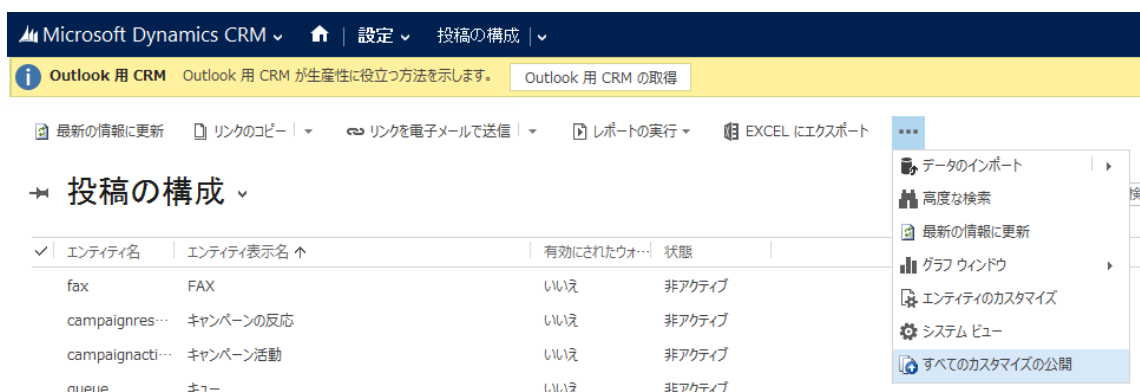
5. [アクティブ化]をクリックし、投稿の構成を使用可能とします。



6. 下記のメッセージが表示されるため、[OK]をクリックします。



7. [設定]→[投稿の構成]へ遷移し、コマンドバーより[すべてのカスタマイズの公開]をクリックして公開します。



※ 新規の投稿規則の構成を登録することはできません。既に登録済みのルールで設定することができます。

以上で設定は完了となります。次に、投稿が自動的に行われることを確認するため、下記の手順を行います。

8. [+作成]をクリックし、一番左のタスクアイコンをクリックします。



9. 下記の情報を入力して、[上書き保存] ボタンをクリックします。

項目	値
件名	インドネシア支店への訪問予定の計画
説明	インドネシア支店へ訪問するための下記用意を行う。 ・飛行機の予約 ・宿泊先の予約 ・輸出管理
関連	アドベンチャー ワークス (サンプル)
期間	2 時間
優先度	高
期限	2013/11/11 18:00

10. [営業]→[新着情報]の順にクリックし、新しいフィードに登録したタスクの投稿が行われていることを確認します。



- ※ 表示対象は、自動投稿のみ、ユーザーによる投稿のみ、自分に関連する投稿のみといった絞り込みが行えます。

機能 2. ユーザー間コミュニケーション

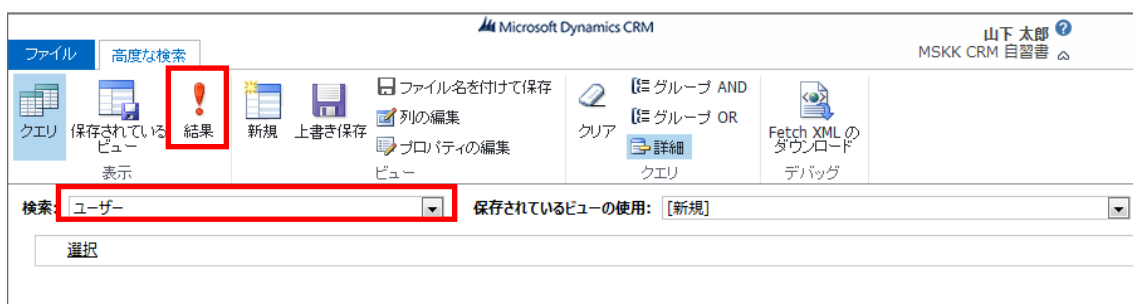
本節では アクティビティフィードが用意する[フォロー]、[いいね!],[返信]機能を利用して、ユーザー間のコミュニケーションを行う機能を確認していただきます。

以下、ユーザーをフォローして自動投稿された投稿に対して[いいね!][返信]を行い、手順を例に、Dynamics CRMにおけるユーザー間コミュニケーションの利用方法を確認していただきます。また、以下の手順では、別ユーザ[山下 太郎]でログインして行います。

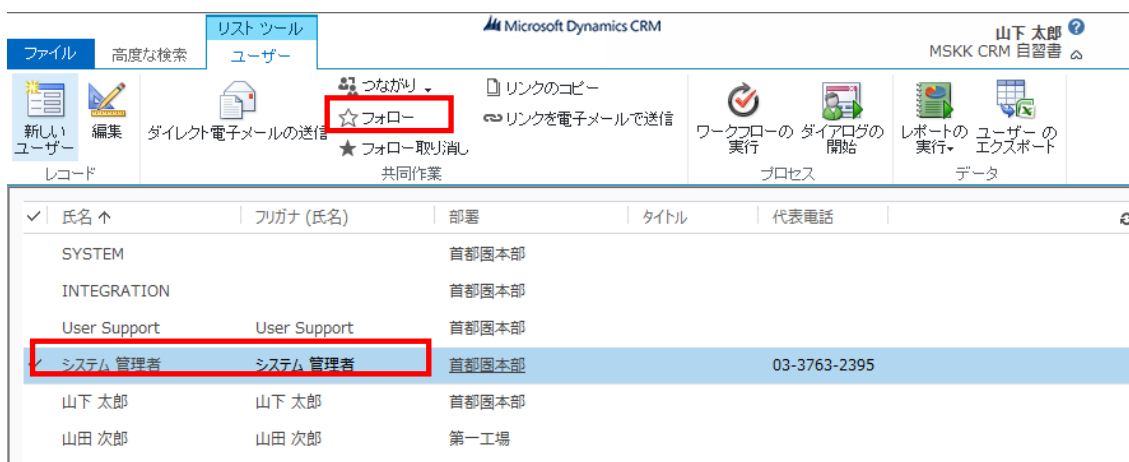
1. [営業]→[新着情報]の順にクリックし、コマンドバーより[高度な検索]をクリックします。



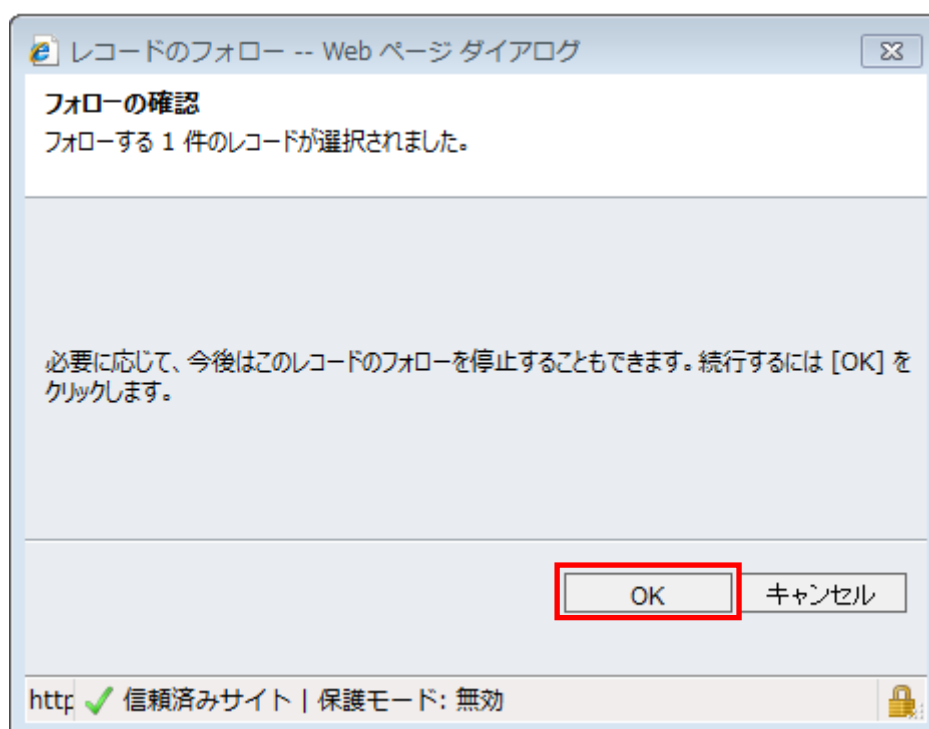
2. 検索で[ユーザー]を選択し、[結果]をクリックします。



3. [システム管理者]を選択し、[フォロー]をクリックします。



4. [OK]をクリックします。これで、山下 太郎さんはシステム 管理者さんをフォローを対象とするため、システム管理者さんの投稿が表示されるようになります。



5. [営業]→[新着情報]をクリックし、システム管理者さんが登録したタスクの自動投稿が表示されていることを確認します。確認後、[いいね!]をクリックし、さらに[返信]よりメッセージを投稿します。投稿を完了するにはキーボードの Enter キーで投稿を完了させます。

The screenshot shows the Microsoft Dynamics CRM interface. At the top, there's a navigation bar with 'Microsoft Dynamics CRM', '営業', and '新着情報'. Below this, a '新しいフィード' (New Feed) section is visible. A red box highlights a post titled 'インドネシア支店への訪問予定の計画' (Plan for visit to Indonesian branch). The post content mentions a system manager's task. To the right of the post, there are buttons for 'いいね!' (Like) and '返信' (Reply). Below the post, a reply is shown, also highlighted with a red box. The reply text is '業務多忙ですが、重要な訪問ですので必ず私も同行させていただきます。' (Although I am very busy with work, since this is an important visit, I will definitely accompany you).

- ※ [ここに投稿を入力して下さい]と記載されたテキストボックスに返信同様メッセージを投稿することで、自動投稿ではないユーザー自身による投稿を行うことができます。

Tips

- Dynamics Marketplace について

Dynamics Marketplace にて、Microsoft のパートナーが Dynamics CRM を強化するソリューションを公開しています。キーワード検索、ビジネスニーズからの検索、業種からの検索などの方法で、自社に必要なソリューションを見つけ出すことができます。下記のリンクから詳細をご確認ください。

タイトル	Dynamics Marketplace
URL	http://dynamics.pinpoint.microsoft.com/ja-JP/default.aspx

- ソリューションについて

Microsoft パートナーなどの独立ソフトウェアベンダー(Independent Software Vendor: ISV)より Dynamics CRM の拡張プログラムを購入した場合、それが管理ソリューションの形で配布されることが多いと思われます。

管理ソリューションを利用いただくことによって、拡張プログラムを簡単にインストールしたり、アンインストールしたりできます。その時に、ソリューションの仕組み上2つの注意点があります：

- (1) 複数のソリューションを同時にインストールする場合、同じオブジェクトに対するカスタマイズは、最後のソリューションの内容となります。例えば、最初に[取引先企業]エンティティの表示名を[顧客企業]に変更したソリューションをインストールした場合があります。その後、[取引先企業]エンティティの表示名を[カスタマー]に変更したソリューションをインストールした場合、[取引先企業]エンティティの表示名が[カスタマー]となります。
 - (2) 新たにインストールしたソリューションにしか存在しないエンティティまたはフィールドについては、そのソリューションをアンインストールするとデータが消失します。例えば、[取引先企業]エンティティに[ランク]フィールドを追加したソリューションをインストールした場合があります。しばらく利用した後に、そのソリューションをアンインストールすれば、今まで入力してきた[取引先企業]の[ランク]データは全て消失します。
- (2)** 既に存在しているエンティティに対してフィールド削除のカスタマイズしたソリューションをインストールする場合、インストールを行ってもフィールドは自動的に削除されません。フィールドの削除は手動で行う必要があります。

まとめ

この自習書では、Dynamics CRM で可能なカスタマイズをご確認していただきました。

演習を通して、カスタマイズ機能を確認していただくことにより、Dynamics CRM を評価する材料になったのでしょうか？

今回の演習のように、お客様が独自にカスタマイズを実施する他、Dynamics Marketplace に Microsoft パートナーが開発した Dynamics CRM 用の拡張プログラムが公開されています。これらのプログラムを利用して、一層業務効率やユーザーの使用体験を高めることができます。

さらに、Dynamics CRM は SDK (Software Development Kit) による API (Application Programming Interface) を使ったプログラミング開発をサポートしております。この方法を利用すれば、お客様企業の細かなカスタマイズニーズにも対応可能です。

SDK (英語) は下記のリンクからダウンロード可能です。

タイトル	Microsoft Dynamics CRM 2013 Software Development Kit (SDK)
URL	http://www.microsoft.com/en-us/download/details.aspx?id=40321